

○要旨

- 一 漢城府尹が其ノ所轄外ノ土地ニ付與ヘタル立旨又ハ完文モ有效ナリ
- 二 完文立旨立案等ニ於テ墳墓龍虎内ノ入葬ヲ禁シタルトキハ其ノ區域が大典所定ノ歩數ヲ超ユル場合ト雖慣例上有效ナリ
- 三 立旨又ハ完文ヲ以テ定メタル墳墓ノ界限分明ナラザルカ又ハ甚ダ廣大ナルトキハ實地ニ就キ其ノ記載ニ照シ又ハ山勢ヲ參酌シテ決定シタルモノトス
- 四 墳墓ノ限界ヲ測ルニハ歩ヲ以テ算シ周尺六尺ヲ一步トシタリ而シテ周尺一尺ハ曲尺六寸六分ニ當ル

○照會

- 一 大正五年貴院回答中第二七號ニ依レハ「從前漢城府尹ハ其ノ所轄外ノ土地ニ對シ立旨(證明)ヲ與ヘタル事例アルモ素ヨリ越權ノ處分ナリ隨テ右立旨ト當該觀察使又ハ郡守ノ與ヘタル立旨ト符合セサルトキハ當該觀察使又ハ郡守ノ與ヘタル立旨ヲ真正ノモノトスヘキコト勿論トス」トアル然ルニ若シ單獨ニ漢城府尹ノ立旨(又ハ完文)ノミ存スルトキハ御回答前段ノ趣旨ニ依リ之ヲ無効ト認ムヘキモノナリヤ
- 二 埋葬ヲ禁セサル山野ニ設置シタル墳墓ノ定限ニ付テハ大典會通卷三、同卷五等ニ規定スル所ニ從フヘキモノト思惟セラルルニ完文、立旨、立案等ニハ往々ニシテ單ニ或ル區域カ或ル墳墓ノ龍虎内ナルノ理由ノミヲ以テ其ノ區域ニ其ノ

墳墓ノ管理者以外ノ者ノ埋葬ヲ禁スル旨記載スルコトアリ如斯場合ニハ右完文等ノ記載ハ右定限以外ノ區域ニ付テハ無効ナリト認ムヘキモノナリヤ

- 三 賜牌以外ノ方法(立旨、完文等)ヲ以テ墳墓ノ四山局内ノ所有ヲ確認セラレタルモノアル場合實地ニ就キ其ノ區域分明ナラサルカ又ハ分明ナルモ甚タ廣大ナル區域ナルトキハ如何ニ認定スル規定(又ハ慣例)ナリシヤ
- 四 墳墓測定ニ用フル周尺一尺ハ現今ノ曲尺ノ何尺ニ當ルヤ

○回答

- 一 漢城府尹カ所轄外ノ土地ニ付單獨ニ與ヘタル立旨又ハ完文ハ之ヲ有效ト認メタリ
- 二 完文立旨立案等ニ於テ墳墓龍虎内ノ入葬ヲ禁シタルトキハ其ノ區域カ大典所定ノ歩數ヲ超ユル場合ト雖慣例上之ヲ有效ト認メタリ
- 三 立旨又ハ完文ヲ以テ定メタル墳墓ノ界限分明ナラサルカ又ハ甚タ廣大ナルトキハ實地ニ就キ其ノ記載ニ照シ又ハ山勢ヲ參酌シテ決定シタルモノトス
- 四 墳墓ノ限界ヲ測ルニハ歩ヲ以テ算シ周尺六尺ヲ一步トシタリ而シテ周尺一尺ハ曲尺六寸六分ニ當ル



### 【二七六】妾ノ遺産相續ニ關スル件

(大正十年六月二十七日京城覆審法院照會  
同年九月十九日朝樞第二九九號政務總監回答)

#### ○要旨

- 一 妾ノ收養子ハ慣習上認メズ而シテ妾ノ遺産ハ子子ナケレバ孫夫戸主ノ順位ニ依リ之ヲ承繼ス

#### ○照會

一 妾ニ收養子アリ夫死シテ子ナク本妻戸主タル場合ニ於テ妾ノ遺産ヲ相續スル者ハ本妻ナリヤ收養子ナリヤ

#### ○回答

一 妾ノ收養子ハ慣習上認メズ而シテ妾ノ遺産ハ子子ナケレハ孫子孫共ニナケレハ夫子孫及夫ナケレハ戸主之ヲ承繼スル慣習ナリ

### 【二七七】養子タル戸主ノ祭祀權ニ關スル件

(大正十年七月一日京城覆審法院照會  
同年十月八日朝樞第三〇八號政務總監回答)

#### ○要旨

- 一 戸主トナリタル養子が不行跡ノ故ヲ以テ其ノ祭祀權ヲ奪ヒ他ノ親族ヲシテ之ヲ行ハシムルコトヲ得ル慣習ナシ

#### ○照會

一 養子相續シテ戸主トナリタル後ニ於テモ不行跡アリ祖先ノ祭祀ヲ奉行セシムルニ適セサルモノト認ムルトキハ官廳又ハ門會ニ於テ祭祀權ノミヲ褫奪シ他ノ親族ヲシテ之ヲ行ハシムル慣習アリヤ

#### ○回答

一 養子カ戸主トナリタル後不行跡アリ祖先ノ祭祀ヲ爲サシムルニ適セサルトキト雖モ其祭祀權ヲ奪ヒ他ノ親族ヲシテ之ヲ行ハシムルコトヲ得ル慣習ナシ

### 【二七八】遺産ニ關スル件

(大正十年四月二十九日釜山地方法院居昌支廳照會  
同年十月十八日朝樞第二三一號政務總監回答)

#### ○要旨

- 一 未婚ノ庶子死亡シ兄ガ戸主タル場合ニ其ノ家ニ實母アル時ハ遺産ハ實母ニ



於テ承繼ス

二 右ノ場合ニ戸主及死者ガ嫡子ナルトキハ戸主其ノ遺産ヲ承繼ス

○照 會

一 戸主ノ弟(妻子ヲ有セサルモノ)大正九年中死亡セリ其遺産タル不動産ハ兄タル戸主ニ歸屬スヘキモノニシテ庶母ニ相續ノ權利ナキヤ(民法第九六條・慣習調査報告書三五六丁參照)

二 前記ノ場合ニ於テ庶母ナク實母アル場合モ同様ナリヤ

○回 答

一 未婚ノ庶子死亡シ兄カ戸主タル場合ニ其ノ家ニ實母(戸主ノ庶母)アルトキハ遺産ハ實母ニ於テ承繼ス

右ノ場合ニ戸主及死者カ嫡子ニシテ其ノ家ニ實母アルトキハ戸主其ノ遺産ヲ承繼ス

### 【二七九】灌漑用水權ニ關スル件

(大正十年七月七日大邱地方法院照會  
同年十一月二十六日朝樞第三一八號政務總監回答)

○要 旨

一 上流沢所有者ハ新墾地灌漑ノ爲ニ既設下流沢所有者ノ水ノ使用ヲ妨グルコトヲ得ズ

○照 會

一 從來公有河川ニ流下シタル私設堰水ヲ該河川ニ流下セシメス之ヲ他ニ移導シタル結果該河川ノ水量減退シ爲ニ其下流地域ニ於ケル灌漑用水ノ缺乏ヲ來サシメタル時ハ下流地域ノ所有者ハ右堰水ノ移導ヲ制止シ得ル慣習アリヤ

事實ノ要領

從來甲所有地ヲ流ルル私設堰水(水源ハ一部甲所有地内ニ湧出シ一部ハ第三者ノ所有地内ニ湧出シテ甲所有地ニ流入ス)甲所有地ノ灌漑ヲ滿シタル上其餘水ハ甲所有地ノ一端ニ於テ公有河川ニ流出シ該水ハ其直接下流ニ於テ乙所有地ニ設ケタル沢ニ流入シテ乙所有地ノ灌漑ニ供セラレタリ

甲ハ後日他ニ新墾シタル其所有地ノ灌漑ニ供センカ爲メ右堰水ノ餘水ヲ公有河川ニ流出セシメシテ該流出箇所ヨリ之ヲ右新墾地ニ移導シタルニ依リ公有河川ノ水量著シク減退シ爲ニ乙所有地ニ設ケアリタル前示沢ニ流入セス從來ノ如ク乙所有地ノ灌漑ヲ爲ス能ハサルニ至リタリ仍テ乙ハ甲ニ對シテ從來公有河川ニ流出シタル右堰水ノ移導ヲ制止セムトスルニアリ

○回 答

一 甲所有地灌漑ノ爲ニ設ケタル沢ノ餘水カ公流ニ流下シ其流水カ乙所有地ニ設ケタル沢ニ流入シ乙所有地灌漑ノ用ニ供セラレタル場合ニ於テ甲カ新墾地灌漑ノ用ニ供スル爲右ノ餘水ヲ公流ニ流出セシメス新墾地ニ引導シタル結果著シク公流ノ



水量ヲ減シ乙所有地ニ設ケタル沢ニ流入セス乙所有地ノ灌溉ヲ爲ス能ハサルニ至ラシメタルトキハ乙ハ甲ニ對シ右ノ餘水ヲ新墾地ニ引導スルコトヲ制止シ得ル慣習ニシテ假令甲所有地ニ設ケタル沢ノ水源カ一部分ハ甲所有地内ヨリ湧出シ一部分ハ他人ノ所有地内ヨリ湧出スル場合ト雖モ敢テ異ルコトナシ

【二八〇】墓地所有權ノ取得及墳墓ノ掘移ニ關スル件

(大正十年十一月一日光州地方法院全州支廳照會  
同年十二月六日朝樞第四三〇號政務總監回答)

○要旨

- 一 他人所有ノ山地ニ墳墓ヲ設ケ長年月ヲ經過スルモ之ニ因リテ其ノ敷地ノ所有權ヲ取得スル慣習ナシ
- 二 平穩且公然ニ他人所有ノ山地ニ墳墓ヲ設置シタル後土地所有者ニ變更ヲ生シタルトキ新所有者ヨリ其ノ墳墓ノ掘移ヲ請求スルコトヲ得ズトノ慣習ナシ

○照會

一 自今凡三十年以前ニ他人ノ所有山地ニ墳墓ヲ設置シ爾來他ヨリ何等異議ナカリシ時ハ其子孫ニ於テ該墓ノ周圍約四間

ノ敷地ノ所有權ヲ取得スルノ慣習アリヤ

二 他人ノ所有山地ニ墳墓ヲ設置シ公然且平穩ニ其墓地ノ占有ヲ持續シ來リタル場合ニ於テハ該墳墓設置カ數年ヲ經過セサルモノナリト雖モ其後ニ於テ該山地ノ所有權ヲ得タル者ハ該墳墓ノ掘移ヲ請求スルヲ得サル慣習アリヤ

○回答

- 一 他人所有ノ山地ニ土地所有者ノ承諾ヲ得シテ墳墓ヲ設ケ何人ヨリモ異議ヲ受ケスシテ三十年以上ヲ經過シタル場合ト雖其ノ子孫ニ於テ其ノ墳墓ノ所在及周圍約四間ノ敷地ニ付所有權ヲ取得スルカ如キ慣習ナシ
- 二 他人所有ノ山地ニ墳墓ヲ設置シ公然且平穩ニ其ノ墓地ヲ占有シタル場合ニ於テ未タ幾年ヲモ經過セス且土地所有者ニ變更アリタルトキト雖モ土地ノ新所有者ヨリ其ノ墳墓ノ掘移ヲ請求スルコトヲ得サルカ如キ慣習ナシ

【二八一】同本同姓ノ婚姻ニ關スル件

(大正十年九月二十八日釜山地方法院民事部裁判長照會  
同年十二月十二日朝樞第三六六號政務總監回答)

○要旨

- 一 同本同姓間ノ婚姻ハ無効トス



○照 會

一 朝鮮人間ニ於テ同姓同本間ノ婚姻ヲ禁スル慣習ハ現時尙一般的ニ存續スルヤ否ヤ若シ存續スルモノトセハ其間ニ行ハレタル婚姻ハ無効ナリヤ

○回 答

一 朝鮮ノ慣習ニ於テハ同本同姓間ノ婚姻ヲ認メス此ノ如キ者ノ間ニ爲シタル婚姻ハ之ヲ無効トス

【二八二】 夫ヲ殺害シタル妻ノ養子選定權ニ關スル件

(大正十年十一月二十二日 光州地方法院 長照會) (同 十一年一月十二日 朝樞第一一號 政務總監 回答)

○要 旨

一 長男子ナクシテ死亡シ後父ガ母ニ殺害セラレタル場合ニ於テハ母ハ養子又ハ次養子ヲ選定スル權ナシ

○照 會

一 甲男ト其ノ妻乙女トノ間ニ長男丙アリテ丁女(明治二十八年生)ヲ妻トセシカ子ナクシテ丙男死亡シタル後甲男ハ其

妻乙女ニ殺害セラレタリ

右ノ場合ニ於ケル朝鮮一般ノ慣習上

(1) 甲男ノ死後養子トシテ乙女カ養子縁組ヲ爲スモノナリヤ將タ丙男ノ死後養子トシテ丁女カ養子縁組ヲ爲スモノナリヤ

(2) 乙女ハ次養子ヲ爲スコトヲ得ルヤ

(3) 乙女カ其夫ヲ殺害シタル罪ニテ刑ノ言渡ヲ受ケタルトキハ死後養子又ハ次養子ヲ爲ス權能ヲ喪失スルモノナリヤ 又其ノ權能ノ喪失ハ該刑ノ輕重若クハ判決確定未確定ニ依リ區別アリヤ

(4) 乙女ニ於テ若シ死後養子又ハ次養子ヲ爲ス權能ヲ喪失シタルモノトセハ門會ニ於テ之ヲ選定スルモノナリヤ

(5) 次養子ニハ年齢ノ制限ナキヤ假令ハ一、二歳ノ幼男ニテモ差支ナキヤ

追テ全羅南道谷城郡地方ニ朝鮮一般ノ慣習ニ異リタル慣習アラハ其ノ慣習ヲモ御回示相煩シ度候

○回 答

一 甲男ト其妻乙女トノ間ニ長男丙アリ丙ハ丁女ヲ妻トシ子ナクシテ死亡シ其ノ後甲カ乙ニ殺害セラレタル場合ニハ丁ニ於テ丙ノ爲ニ養子ヲ爲スヘキモノニシテ乙ニ於テハ甲ノ養子又ハ次養子ヲ爲スコトヲ得ス  
右ハ全羅南道谷城郡地方ニ於テモ慣習ヲ異ニセス



### 【二八三】元漢城府尹ノ職務權限ニ關スル件

(大正十一年二月六日林野調査委員會照會  
同年六月七日朝樞第三二號中樞院書記官長回答)

#### ○要旨

- 一 漢城府ノ所轄區域ハ漢城内ニ限ラレ現今ノ京城府ノ區域ト略同一ナリ
- 二 土地ニ關スル事件ニ付テハ漢城府ハ其ノ區域ニ拘ハラズ立旨立案ヲ給スル權限ヲ有シタリ
- 三 漢城府尹ノ立旨立案ハ當該觀察使又ハ郡守ノ完文立旨等ヲ根據トシタル場合ニ限り之ヲ有效トセシニハ非ズ

#### ○照會

- 一 元漢城府尹ノ所管ハ行政區域ノ如ク一定ノ區域ニ限ラレタルヤ果シテ然ラハ其ノ所管區域ハ現今行政區域ノ何レニ該當スルヤ
- 二 若シ漢城府尹ノ所管權限ハ地域ニ制限ナシトセハ其ノ職務權限ノ種類及範圍如何

#### ○回答

- 一 漢城府ノ所轄區域ハ漢城内ニ限ラレ現今ノ京城府ノ區域ト略ホ同一ナリ

- 二 土地ニ關スル事件ニ付テハ漢城府ハ其ノ區域ニ拘ハラズ立旨立案ヲ給スル權限ヲ有シタリ

- 三 漢城府尹ノ立旨立案ハ當該觀察使又ハ郡守ノ完文立旨等ヲ根據トシタル場合ニ限り之ヲ有效トセシニ非ス

### 【二八四】墳墓ノ移葬ニ關スル件

(大正十一年五月一日林野調査委員會委員長照會  
同年六月七日朝樞第一六五號中樞院書記官長回答)

#### ○要旨

- 一 王陵設置ノ場合ニ其ノ内壕字ノ區域内ニ在ル人民ノ墳墓ハ當然移葬スベキ慣例ニシテ此等ノ者ニハ國有山ニ入葬ヲ許シ且賜牌ヲ給シタルモ他人ノ所有山ニ移葬ヲ許シタルコトナシ

#### ○照會

- 一 今ヲ距ル約二十年前揚州郡羨金面谷里ニ王陵設營ノ際金谷里所在人民ノ墳墓ニ對シ政府ヨリ移葬ヲ命シタルコトアリヤ



二 右命令ニ依リ移葬スル者ニハ他人ノ所有山ニモ入葬スルコトヲ許シタルヤ  
 三 右命令ニ基キ移葬スル者ニ對シ傳教ヲ以テ其ノ區域ヲ賜牌セラレタルコトアリヤ

○同 答

一 朝鮮ニテハ王陵設置ノ場合ニ其ノ内垓字ノ區域内ニ在ル人民ノ墳墓ハ當然移葬スヘキ慣例ナリシヲ以テ二十二年前(明治三十三年)楊州郡漢金面金谷里ニ山陵封標ノ際ニモ政府ヨリ其ノ内垓字ノ區域内ニ在ル墳墓ノ所有者ニ對シ移葬ヲ命シタリ而シテ移葬ヲ爲シタル者ニハ國有山ニ入葬ヲ許シ且賜牌ヲ給シタルモ他人ノ所有山ニ移葬ヲ許シタルコトナシ

【二八五】宗家相續及宗孫資格消滅ニ關スル件

(大正十一年五月十一日林野調査委員會委員長照會)  
 (同 年六月七日朝樞第一八五號中樞院書記官長回答)

○要 旨

一 宗孫タル直系卑屬ナキ場合ニハ男系ノ血族中子ノ列ニ當ル男子ヲ養子ト爲ス慣例ナリ

- 二 男戸主生存中ニ親族會ニ依リ相續人ヲ選定スルコトナシ戸主死亡後ニ於テモ近親ナキ場合ニ限ル
- 三 相續人廢除ノ慣習ナキモ相續人が養子ニシテ家名ヲ汚スベキ重大ナル罪ヲ犯シ事情止ムヲ得ザル場合ハ之ヲ罷養スルコトヲ得
- 右ノ場合ニ被相續人ノ死後近親ナキトキハ親族會ニ於テ罷養ヲ爲スコトヲ得
- 四 絶家ノ遺産ハ近親ニ歸屬ス近親ナキトキハ親族會之が歸屬ヲ定ムルコトアリ

○照 會

- 一 宗孫タル直系卑屬ナキ場合ニ於テ宗家戸主ハ傍系血族中ヨリ相續人ヲ指定スルコトヲ得タル舊慣アリシヤ
- 二 右ノ場合ニ於テ宗中會議ヲ開キ相續人ヲ選定シタル舊慣アリシヤ又右宗中會議ノ選定ハ被相續人カ指定ヲ爲サスシテ死亡シタル場合ニ限リタルモノナルヤ將又被相續人生存中ニモ之ヲ爲シタルモノナリヤ若シ生存中ニモ之ヲナシタルモノトセハ指定ト選定トハ何レカ優ルモノナリシヤ
- 三 宗孫カ宗家ノ名譽ヲ損スルカ如キ行爲ヲナシタルトキ宗中會議ニ於テ宗孫タル資格ヲ剝奪セシ舊慣アリシヤ(其ノ宗中會議ノ議決ノ效力ハ指定又ハ選定ニ依リテ宗家ニ入りタル者ノミニ限リ及フモノナリヤ否ヤ)若アリシトセハ其身分上及財産上ニ及ホセシ效力如何
- 四 若右宗中會議ノ議決カ有效ナリトセハ宗中會議ニ於テ更ニ其ノ相續人ヲ選定スルモノナリヤ或ハ右議決ノ效力ハ其直系卑族ニ及ハスシテ右宗孫ノ子カ宗家ヲ相續スルモノナリヤ若直系卑族モナク宗中會議ニ於テ選定モナサスシテ宗家



カ絶家トナリシトキハ其ノ財産權ノ歸屬如何

四一〇

○ 回 答

- 一 問ノ如キ場合ニハ男系ノ血族中子ノ列ニ當ル男子ヲ養子ト爲ス慣例ナリ
- 二 男戸主ノ生存中ニ親族會ヲ開キ相續人ヲ選定スルカ如キ慣習ナシ而シテ男戸主ノ死亡後親族會ニ於テ其ノ養子ヲ選定スルコトアルモ是ハ之ヲ選定スヘキ近親ナキ場合ニ限レリ
- 三 朝鮮ニハ相續人廢除ノ慣習ナシ但シ相續人カ養子ナルトキハ家名ヲ汚スヘキ重大ナル罪ヲ犯シ事情止ムヲ得サル場合ハ之ヲ罷養スルコトヲ得ヘク而シテ被相續人ノ死後罷養ヲ爲スコトヲ得ル近親ナキトキハ親族會ニ於テ之ヲ罷養スルコトアリ
- 四 絶家ノ場合ニ於テハ戸主ノ遺産ハ近親ニ歸屬シ歸屬スヘキ近親ナキトキハ親族會ニ於テ其歸屬ヲ決定スルコトアリ

【二八六】僧侶特有財産ニ關スル件

(大正十一年一月二十五日成興地方法院民事部照會  
同 年六月八日朝樞第二六號政務總監回答)

○ 要 旨

- 一 僧侶死亡ノ場合其ノ遺産ハ上佐之ヲ承繼シ上佐數人アルトキハ得度ノ前後ニ依リ上佐ナキトキハ寺有ニ歸ス但シ法師ヨリ承繼シタル財産ハ此ノ限ニ在ラズ
- 法師ヨリ承繼シタル財産ハ法弟之ヲ承繼シ法弟數人アル時ハ得度ノ前後ニ依リ法弟ナキトキハ寺有ニ歸ス
- 僧侶還俗ノ場合ニ於テハ恩師又ハ法師ヨリ承繼シタル財産ノ承繼ハ死亡ノ場合ト異ルコトナク其ノ他ノ財産ハ依然其ノ僧侶ノ所有タリ
- 二三 上佐ノ承繼シタル財産ガ祭位土ナルトキト雖其ノ承繼ニ付異リタル慣習ナシ

○ 照 會

- 一 朝鮮ニ於ケル或寺院所屬ノ僧侶カ從來所有シ來レル特有財産タル土地ハ該僧侶ノ死亡若ハ還俗ニ依リ當然所屬寺院ノ所有ニ歸屬スル慣習アリヤ
- 二 或ハ然ラスシテ還俗スルト同時ニ自己ノ所有トシテ之ヲ寺外ニ持出スコトヲ得ル慣習アリヤ

四一一



三 還俗若ハ死亡ニ因リ寺院所屬ノ僧侶ニ於テ之ヲ相續スル慣習アリヤ若シアリトセハ其ノ順位又ハ相續人選定・指定等ノ方法如何

四 叙上ノ相續財產カ舊僧侶ノ位土ナル場合ニ於テ特別ノ慣習アラハ其ノ内容

五 前記第一ノ場合ニ於テ位土タル相續財產カ寺有二歸屬ストセハ寺院カ祭祀者ヲ定ムルニ付特別ノ慣習アリヤ

○回 答

- 一 僧侶死亡ノ場合ニ於テハ其ノ恩師ヨリ承繼シタル財產ハ上佐之ヲ承繼シ上佐數人アルトキハ得度ノ前後ニ依リテ其ノ順位ヲ定ム然レトモ若シ上佐ナキトキハ寺有二歸ス而シテ此ノ關係ハ其ノ僧侶カ恩師又ハ法師ヨリ承繼セサル財產ニ付テモ同一ナリ次ニ法師ヨリ承繼シタル財產ハ法弟之ヲ承繼シ法弟數人アルトキハ得度ノ前後ニ依リテ其ノ順位ヲ定ムルコト上佐ノ場合ト異ナルコトナシ又法弟ナキトキハ其ノ財產ハ寺有二歸ス
- 僧侶還俗ノ場合ニ於テハ恩師又ハ法師ヨリ承繼シタル財產ノ承繼ハ死亡ノ場合ト異ルコトナク唯其ノ他ノ財產ハ依然其ノ僧侶ノ所有タルモノトス
- 二 前項ニ依リ上佐ノ承繼シタル財產カ其ノ收益ヲ或僧侶ノ祭祀ノ費用ニ充ツヘキ位土ナルトキト雖其ノ承繼ニ付異リタル慣習ナシ

三 或僧侶ノ祭位土タル財產ト雖之ヲ承繼スヘキ上佐アルトキハ寺有二歸スルコトナク唯上佐ナキ場合ニ於テ始メテ寺有トナルコトアルニ過キス而シテ別ニ祭祀者ヲ定ムルカ如キ慣習ナシ

【二八七】再嫁シタル者ノ親權行使ニ關スル件

(大正十一年五月十日大邱覆審法院刑事第一部照會 同年六月二十六日朝權第一八四號政務總監回答)

○要 旨

一 夫ノ死亡後子ヲ殘シテ再嫁シ又ハ他人ノ妾ト爲リタル婦女ハ亡前夫ノ家ニ復歸シタル場合ニ於テモ子ニ對シテ親權者タルコトヲ得ザル慣習ナリ

○照 會

一 朝鮮ニ於テハ妻カ夫ノ死亡後自己ノ出生兒ヲ殘シテ他家ニ妻若ハ妾トシテ再嫁シタル後更ニ他家ノ夫ト離婚シ若ハ夫妾關係ヲ絶テ亡夫ノ家ニ復歸シタル場合ニハ自己ノ出生兒ニ對シテ親權ヲ有セサルヲ慣習トスルカ

○回 答

一 妻カ夫ノ死亡ニ因リ其ノ夫トノ間ニ生レタル子ヲ殘シテ他家ニ妻若ハ妾トナリ



後日ニ至リ更ニ其ノ夫ト離婚ヲ爲シ若ハ妾タル關係ヲ絶チテ亡前夫ノ家ニ復歸シタル場合ニハ其ノ前夫トノ間ニ生レタル子ニ對シテ親權ヲ有セサル慣習ナリ

【二八八】戸主ノ權利義務ニ關スル件

(大正十一年六月二十三日咸興地方法院民事部裁判長照會) 同年七月十七日朝樞第二四〇號政務總監回答

○要旨

- 一 戸主ハ家族ニ對シ居所ヲ指定シ得ル慣習アリ但シ家族が卑族ナル場合ニ限ル
- 二 家族が戸主ノ意ニ反シ其ノ指定シタル居所ニ在ラザル場合ト雖戸主ハ之ニ對シテ扶養ノ義務ヲ免カルル慣習ナシ
- 三 扶養義務者ハ其ノ選擇ニ依リ或ハ扶養權利者ヲ引取リテ扶養シ或ハ引取ラズシテ生活ノ資料ノミヲ給付スルコトヲ得ル慣習ナリ

○照會

一 鮮人間ノ慣習トシテ戸主ハ家族ニ對シ居所ヲ指定シ得ル慣習アリヤ家族ノ尊屬タルト卑屬タルトニ依リ區別アリヤ

- 二 若シ戸主ニ指定權アリトセハ家族カ戸主ノ意ニ反シ戸主ノ指定セル居所ニ在ラサル間ハ戸主ハ之ニ對シ扶養ノ義務ヲ免ルル慣習アリヤ
- 三 扶養義務者ハ自己ノ選擇ニ從ヒ扶養權利者ヲ引取テ之ヲ養ヒ又ハ之ヲ引取ラスシテ生活ノ資料ヲ給付シ得ル慣習アリヤ

○回答

- 一 戸主ハ家族ニ對シ居所ヲ指定シ得ル慣習アリ但シ此ノ權利ハ家族カ卑屬ナル場合ニノミ行ハルルモノトス
- 二 家族カ戸主ノ意ニ反シ其ノ指定シタル居所ニ在ラサル場合ト雖戸主カ之ニ對シ扶養ノ義務ヲ免カルル慣習ナシ
- 三 扶養義務者ハ自己ノ選擇ニ從ヒ扶養權利者ヲ引取リテ之ヲ養ヒ又ハ之ヲ引取ラスシテ生活ノ資料ヲ給付シ得ル慣習ナリ

【二八九】漁業者間ノ貸借ニ關スル件

(大正十一年六月二十一日釜山地方法院統督支廳照會) 同年八月二十五日朝樞第二四五號政務總監回答

○要旨



一 船主が共同シテ漁業ヲ營ム格軍ニ對シ金錢ヲ前貸シタル場合ニ事業が損失ヲ見ルモ格軍ハ前借金返濟ノ義務ヲ免カルルコトナシ

○照 會

一 慶尙南道沿岸各地方殊ニ統營郡地方ニ於テ漁業者ニシテ資本家ハ船主トシテ金錢ヲ勞働者ハ格軍トシテ勞務ヲ各出資シテ鰹漁業ヲ共同經營スルニ際シ貧困ナル格軍ハ漁業從事中ノ生活ニ充當スル爲メ船主ヨリ金品ヲ借用スルコトアリ(金額ハ格軍ノ能率ヲ推認シテ定メルト云フ)此ノ場合ニ於テ該漁業經營ノ結果利益無ク損失ヲ生シタル時ハ右貸借關係ハ全ク消滅シ船主ハ格軍ニ對シ其貸金ノ辨濟ヲ請求スルコトヲ得サル慣習アリヤ

○回 答

一 統營地方ニ於テ船主ト格軍トカ共同シテ漁業ヲ營ム場合ニ船主ヨリ格軍ニ對シ金錢ノ前貸ヲ爲スコトアリ而シテ其ノ事業カ損失ヲ見ルニ至リタルトキト雖格軍ハ當然其ノ前借金返濟ノ義務ヲ免カルルカ如キ慣習ナシ

【二九〇】離婚ノ效果ニ關スル件

(大正十一年九月十九日公州地方法院照會) 同年十月十二日朝樞第三六五號政務總監回答

○要 旨

一 實家ニ歸養中ノ妻ニ對シ理由ナク夫ヨリ離婚狀ヲ發シ妻ノ所有品ヲ送付スルモ妻ノ承諾ナキ限り離婚ノ效力ヲ生ズルコトナシ

○照 會

一 朝鮮人間ニ於テ夫カ單純ナル里歸リノ趣旨ヲ以テ實家ニ歸養中ノ妻ニ對シ突然離婚狀並ニ妻所屬ノ荷物ヲ送還シ妻カ之ヲ受領シタルママ何等ノ異議ヲ爲サスシテ六個月以上ノ期間默過スル時ハ假令妻カ内實離婚承諾ノ意思ナキニ拘ラス夫ノ右一方の意思表示ニ依リ離婚ノ效果發生スル慣習アリヤ尙民度ノ階級ニヨリ差別アリヤ

○回 答

一 朝鮮人間ニ於テ實家ニ歸養中ノ妻ニ對シ何等ノ理由ナク夫カ離婚狀ヲ送り同時ニ妻ノ所有品ヲ返還シ妻カ之ヲ受ケテ何等ノ異議ヲ爲サス六ヶ月以上ヲ經過シタルトキト雖モ妻カ離婚ヲ承諾スル意思ヲ表示セサルトキハ慣習上離婚ノ效力ヲ生スルモノト認メス  
右ハ階級ニ因リ異ルコトナシ

【二九一】小作料取立契約解除ニ關スル件

(大正十一年八月二十三日平壤覆審法院長照會) 同年十月二十一日朝樞第三二二號政務總監回答



○要旨

一 地主が期間ヲ定メテ他人ニ小作料ノ取立ヲ委託シ相手方ハ取立費用ヲ負擔シ且豊凶ニ拘ラズ一定ノ賭租ヲ納メシムルコトヲ契約シタル場合ニ於テ其ノ相手方ニ契約違反ノ行爲ナキニ拘ラズ何時ニテモ任意ニ解約ヲ爲シ得ルガ如キ慣習ナシ

○照會

一 地主甲カ一定ノ期間ヲ定メテ乙ニ對シ甲所有ノ土地ヨリ生スル秋收ヲ乙ノ費用ヲ以テ取立ヲ爲サシメ乙ハ甲地主ニ對シ其年ノ豊凶如何ニ拘ラス一定ノ賭租ヲ納メ其ノ餘ノ秋收ハ總テ乙ノ所得ト爲スヘキコトヲ約定シタル場合乙ニ於テ契約違反ノ行爲ナキニ拘ラス地主甲ハ自己ノ任意ニ何時ニテモ右契約ヲ解除シ得ル慣習アリヤ

○回答

一 地主カ期間ヲ定メテ其所有地ノ小作料ヲ相手方ノ費用ヲ以テ取立ヲ爲サシメ年ノ豊凶ニ拘ラス一定ノ賭租ヲ納メシムルコトヲ契約シタル場合ニ其ノ相手方ニ契約違反ノ行爲ナキニ拘ハラス何時ニテモ任意ニ解約ヲ爲シ得ルカ如キ慣習存セス

【二九二】遺言ニ關スル件

(大正十一年十一月九日法務局(中樞院回答))

○要旨

- 一 遺言ニハ定マリタル方式ナク自筆ノ書面、代筆ノ書面或ハ口頭等ヲ以テスルコトアリ
  - 二 遺言書ハ遺言者自ラ之ヲ保管スルカ又ハ他人ニ其ノ保管ヲ託シ若ハ保管者ヲ指定ス指定ナキ時ハ遺言執行者之ヲ保管ス
  - 三 遺言執行ノ時期ニ就テハ其ノ趣旨ニ從ヒ遺言者ノ死後遲滞ナク執行スベキモノナルモ遺産ノ分配ニ付テハ或ル時期ノ到來ヲ待ツコトアリ
  - 四 遺言執行者ハ長男之ニ當ル長男死亡シ長孫アレバ長孫之無キトキハ次男以下順次之ニ當ル此等皆無キトキハ父祖父妻母祖母長子婦女等順次之ニ當ルモノトス
- 妻ノ遺言ハ夫之ヲ執行シ夫無キトキハ近親門長里長ノ順位ニ依リ之ヲ執行ス

○回答



一 遺言ノ方法

定マリタル方式ナク或ハ自筆ノ書面ヲ以テスルコトアリ或ハ代筆ノ書面ヲ以テスルコトアリ或ハ口頭ヲ以テスルコトアリ口頭ヲ以テスル場合ニハ家族其ノ他近親ノ面前ニ於テ之ヲ爲スヲ普通トシ自筆又ハ代筆ノ書面ヲ以テスル場合ニハ其ノ書面ニ捺印又ハ花押ヲ爲シ尙代筆ノ場合ニハ筆者及證人ノ捺印又ハ花押ヲ具フルヲ通例トス又遺言者ニ近親ナキトキハ里長其ノ他ノ者ヲ證人トシテ遺言ヲ爲スコトアリ

二 遺言書ノ保管

遺言書ハ遺言者自ラ之ヲ保管シ又ハ他人ニ其ノ保管ヲ託シ若ハ保管者ヲ指定スルコトアリ若シ遺言者カ保管者ヲ定メサルトキハ其ノ遺言ノ執行ヲ爲スヘキ者之ヲ保管ス

三 遺言執行ノ時期

遺言執行者ハ遺言ノ趣旨ニ從ヒ遺言者ノ死後遲滯ナク其ノ遺言ヲ執行スヘキモノナルモ遺産ノ分配ニ關スル遺言ノ執行ニ付テハ或ル時期ノ到來スルヲ待ツコトアリ例ヘハ父母三年ノ喪ノ畢ルヲ待チ或ハ次子以下ニ對スル財産ノ分割ハ分家ノ時

ヲ待チ未嫁女ニ對スル財産ノ贈與等ハ出嫁ヲ待テ之ヲ執行スルカ如キ是ナリ

四 遺言執行者

遺言ノ執行ハ長男之ニ當ル慣例ニシテ長男死亡シ長孫(長男ノ長男)アルトキハ長孫之ニ當リ長男長孫共ニナキトキハ次男以下ノ者順次之ニ當リ此等ノ者皆ナキトキハ父祖父妻母祖母長子婦女等順次之ニ當ルヘキモノニシテ以上ハ皆其ノ家ニ在ル場合ニ限ル又妻ノ遺言ハ夫之ヲ執行シ此等ノ者總ヘテナキトキハ其ノ他ノ近親之ニ當リ近親ナキトキハ門長之ニ當リ門長ナキトキハ里長ニ於テ之ヲ執行スルコトアリ

【二九三】墳墓界限ノ規定ニ關スル件

(大正十一年十二月八日林野調査委員會委員長照會) 同年十二月二十八日朝樞第四八三號中樞院書記官長回答

○要旨

一二 大典會通刑典聽理條中墳墓ノ界限ニ關スル規定ハ入葬地ガ何人ノ所有ニ屬スル場合ト雖適用アリシモノトス



刑法大全中ノ墳墓ノ限界ニ關スル規定モ亦同シ

○照 會

- 一 大典會通刑典中墳墓ニ關スル(一)士大夫ノ墳墓ハ其ノ品秩ニ隨ヒ各步數有リ冒禁偷葬シタル者ハ法ニ依リ掘移ス(二)有主山及人家ノ近處ニ偷葬スル者ハ禁斷ス等ノ規定ハ其ノ入葬地カ他人ノ所有ニ屬スル場合ニハ適用ナカリシヤ又ハ其ノ入葬地カ他人ノ所有地ナルト否トヲ問ハス又國有タルト民有タルトヲ論セス適用アリシヤ
- (例ヘハ甲者ノ墳墓ニ接近シ乙者カ境界ヲ犯シ偷葬シタル場合其ノ偷葬場所カ乙者若ハ丙者ノ所有又ハ國有ナル場合ニ於テ甲者ハ乙者ニ對シ掘移ヲ請求スルコトヲ得サリシヤ)
- 二 刑法大全施行後墳墓界限ニ關スル規定ハ入葬地カ他人ノ所有ニ屬スル場合ニ適用ナシト雖モ入葬地カ國有ナル場合ニハ當然適用アリシヤ

○回 答

- 一 大典會通刑典聽理條(一)「士大夫墳墓、隨其品秩、各有步數、冒禁偷葬者、依法掘移」(二)「有主山及人家近處偷葬者禁斷」等ノ規定ハ入葬地カ何人ノ所有ニ屬スル場合ト雖適用アリシモノナリ
- 二 刑法大全中墳墓ノ界限ニ關スル規定モ亦葬地ノ所有如何ヲ問ハサリシモノナリ

【二九四】書院ニ關スル件

(大正十一年十一月三日成鏡南道知事照會) 同十二年一月十八日朝樞第四二八號中樞院書記官長回答

○要 旨

- 一 書院ノ設立廢止ニ關シ全道儒林代表者全部ノ合議ヲ要ストスル慣習ナシ
- 二 書院ノ財産ヲ處分スルニハ關係儒林ノ決議ヲ要シタルモ被祭祀者ノ子孫ノ同意又ハ決議加入ノ要無カリシモノトス、但シ子孫が書院ノ設立又ハ維持ノ爲ニ財産ヲ寄附シタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
- 三 書院ニハ院長副院長掌議有司其ノ他ノ職員ヲ置クヲ例トスルモ其ノ地位職務權限等ニ付テハ書院ニ依リ必シモ同一ナラズ
- 書院ノ職員が書院ノ基本財産ヲ處分スル決議ヲ爲スモ關係儒林ノ承認ナキトキハ無効ナリ
- 四 書院ハ碩儒ヲ祀リ經學ヲ講ズル學舎トシテ公認セラレ賜額書院ニ在リテハ學田三結ヲ給セラレタリ

○照 會

- 一 各道所在書院ノ設立又ハ廢止ニ關シ全道儒林代表者全部ノ合議ヲ經ルヲ要スルト爲セシ舊慣アリシヤ又事實斯ル手續ヲ履行シタル實例アリシヤ否ヤ



二 書院財産(主トシテ基本財産)ノ處分ヲ爲スニ當リ當該書院關係儒林ノミナラス被祭祀者ノ子孫ノ同意又ハ決議ニ加ハルコトヲ要スト爲セシ舊慣アリシヤ若シアリトセハ右ハ子孫ニ於テ書院設立又ハ維持ノ爲財物ヲ寄附セシ場合ニ限リタルモノナリヤ否ヤ又財産處分ニモ全道儒林代表者ノ合議ヲ要ストナセシ慣習アリシヤ

三 書院管理職トシテ院長、副院長、祭祀執行者及管理事務處理者トシテ掌議、有司、院監等ノ職員アリヤ竝ニ其ノ地位、職務權限如何、是等職員ニ於テ爲シタル書院基本財産處分ノ決議ハ有效ナルモノナリヤ否ヤ

四 書院ハ舊韓國時代ニ於テ如何ナル地位待遇ヲ與ヘラレシヤ李朝ト雖民意ニ反シテ之カ廢止ヲ命スルコトヲ得サリシ事實又理由アリシヤ

○ 回 答

- 一 書院ノ設立廢止ニ關シ全道儒林代表者全部ノ合議ヲ要スルカ如キ慣習ナシ又斯ル手續ヲ履行シタル實例アルヲ聞カス
- 二 書院ノ財産ヲ處分スルニハ關係儒林ノ決議ヲ必要トセシモ被祭祀者ノ子孫ノ同意又ハ決議ニ加ハルコトヲ必要トスル慣習ナシ但シ其ノ子孫カ書院ノ設立又ハ維持ノ爲メ財産ヲ寄附シタル場合ニハ其ノ同意又ハ決議ニ加ハルコトヲ必要トシタリ而シテ全道儒林代表者ノ合議ヲ要スルカ如キ慣習ナシ
- 三 書院ニハ院長、副院長掌議、有司其ノ他ノ職員ヲ置クヲ例トスルモ其ノ地位、職務、權限等ニ付テハ書院ニ依リ必スシモ同一ナラス書院ノ職員カ書院ノ基本財産ヲ處分

スル決議ヲ爲スモ關係儒林ノ承認ヲ經ルニ非サレハ效力ナシ

四 書院ハ碩儒ヲ祀リ經學ヲ講スル學舍トシテ公認シ賜額書院ニ在リテハ學田三結ヲ給シタリ而シテ政府ハ民意ノ如何ニ拘ハラヌ必要アル場合ニハ之カ廢止ヲ命シタリ

【二九五】祭祀相續ニ關スル件

(大正十二年五月十九日釜山地方法院晉州支廳裁判長照會)  
 (同年七月十四日朝樞第二六九號政務總監回答)

○ 要 旨

- 一 嫡長男ハ宗家ニ非ザル生家相續ノ爲ニ養子トナルコトヲ得ズ
- 二 養子ノ妻子ハ養子ニ隨ヒテ養家ニ入家シ其ノ嫡長男ハ其ノ家ノ祭祀相續人トナルベキ慣習ナリ

○ 照 會

一 朝鮮ニ於テ長嫡男ハ宗家相續ノ外生家(父又ハ祖父ノ實家)相續ノ爲メニモ他家ノ養子トナリ其家ノ祭祀相續人ト爲ルコトヲ得ヘキ慣習ナリヤ



二 右ノ如キ慣習ナリトセハ其生家相續ヲ認ムル範圍如何例ヘハ父又ハ祖父ノ實家ニ止マルヤ又ハ曾祖父以上幾代マテモ及フヘキモノナリヤ

三 朝鮮ニ於テ長嫡男ヲ連レテ他家ノ養子トナリタルトキ其長嫡男ハ父ト共ニ入家シタル家ノ祭祀相續人ト爲ルコトヲ得ヘキヤ

○回 答

一 朝鮮ノ慣習ニ於テハ嫡長男ハ宗家相續ノ外生家(父又ハ祖父ノ實家)相續ノ爲他家ノ養子トナルコトヲ得サルモノトス

二 朝鮮ニ於ケル養子ハ妻子アルモノハ常ニ其ノ妻子ヲ連レテ入家スヘキモノニシテ其ノ嫡長男ハ其ノ家ノ祭祀相續人トナルヘキ慣習ナリ

【二九六】家督及遺産相續順位ニ關スル件

(大正十二年四月十六日簡易保險局照會  
同 年七月二十一日朝樞第二八〇號中樞院回答)

○要 旨

一 朝鮮ノ相續ニハ祭祀相續戸主相續及財産相續ノ三種アリ

二 祭祀相續ノ順位ハ子ハ孫ニ先子嫡子ト庶子トノ間ニ在リテハ嫡子ヲ先ニシ

(但シ女子ハ相續權ナシ)同一順位ニ在ル者相續開始前ニ死亡シタルトキハ其ノ子子ナキトキハ亡相續人ノ爲ニ養子ヲ爲シテ相續人トス

三 戸主相續ノ順位ニ就テハ祭祀者之ヲ爲ス場合ハ祭祀相續ノ順位ト同一ナルモ祭祀者ナキ場合或ハ未定ノ場合ニ於テハ其ノ家ニ在ル女子ノ内祖母母妻女等ノ順位ニ於テ之ヲ爲スモノトス

四 戸主死亡ノ場合ニ於ケル財産相續人ノ順位ハ祭祀相續人其ノ他ノ祭祀者及其ノ弟弟二人以上アルトキハ同時ニ相續人ト爲ルモ其ノ家ニ在ル者ニ限ル孫ハ相續人タル父既ニ死亡セルトキハ其ノ相續分ヲ受ケ亡相續人ノ子ナキトキハ妻又ハ其ノ養子ニ於テ之ヲ受ク其ノ他ハ戸主相續ノ場合ト異ルコトナシ

五 家族タル既婚ノ男子死亡セル場合ノ財産相續人ハ長男及次男以下ノ男子孫之ヲ承繼シ以上ノ者ナク死者が長男ナル場合ハ父之ヲ承繼シ次男以下ノ衆子ナル時ハ其ノ妻之ヲ承繼ス

六 家族タル未婚ノ男子又ハ女子死亡セル場合ハ父父ナキトキハ戸主之ヲ承繼ス

七 妻ノ遺産ハ夫之ヲ承繼ス



八 寡婦ノ遺産ハ子孫子孫ナキトキハ戸主之ヲ承繼ス

○照 會

一 左記地方ニ於ケル朝鮮民事令第十一條第二項ニ所謂慣習ニ依ル相續順位(家督及遺産ノ區別ニ從ヒ夫々)乍御手數當局保險金受取人取調上要用ニ付御回報相煩度及御依頼候也

○回 答

朝鮮ノ相續ニハ祭祀相續・戸主相續及財産相續ノ三種アリ民法ニ用ヒタル家督相續及遺産相續ノ語ハ其ノ内容ニ於テ朝鮮ニ行ハルル相續ト多少異ナル所アルヲ以テ今相續順位ヲ説明スルニ當リテ先ツ相續ノ種類ヲ述フルノ必要ヲ認メ左ニ略述セン

一 祭祀相續 朝鮮ニ於テハ祖先ノ祭祀ヲ最大重要事ト爲シ長子孫(長男又ハ長男系ノ長男孫)祭祀者タル地位ニ立チ若シ其ノ地位ニ立ツヘキ子孫ナキトキハ養子(限男子ニ)ヲ爲シテ其ノ斷絶ヲ防クコトトセリ之ヲ奉祀ト稱ス

祭祀者タル地位ノ相續ハ戸主タル地位ノ相續ヲ伴フヲ普通トスルモ家族カ祭祀者タル地位ヲ承繼スル場合(父祖ノ奉祀者タル家族死亡シ其ノ子カ奉祀者トナルトキノ如シ)ハ否ラス又祭祀者タル地位ノ相續ハ常ニ財産ノ相續ヲ伴フモノトス

二 戸主相續 朝鮮ニ於テハ戸主ノ死亡其ノ他ノ事由ニ因リ家ニ戸主ナキニ至リタルトキハ其ノ家ニ於ケル祖先ノ祭祀者タル地位ヲ承繼スル者(限男子ニ)戸主ノ地位ヲ承繼シ若シ祭祀者タル地位ヲ承繼スル者ナキトキハ特別ノ場合(次養子ナ)ヲ除キ其ノ家ニ在ル女ノ中最モ先順位ニ在ル者戸主ノ地位ヲ承繼スルモノトス

民法ノ家督相續ノ如ク朝鮮ニ於ケル戸主相續モ亦戸主ノ地位ヲ承繼スルト同時ニ戸主ノ有セシ財産ヲ承繼スルモノナリト雖或場合ニハ其全財産ヲ承繼シ(獨子又ハ女ノ場合)或場合ニハ二分ノ一ヲ承繼シ(相續人カ長男ニシテ男以下ニ)或ハ三分ノ二ヲ承繼(相續人カ長男ニシテ女)スル等區々ニシテ民法ノ家督相續カ財産ニ付全産相續ノ主義ヲ採レルニ對シ朝鮮ノ戸主相續ハ財産ニ付分割相續ノ主義ニ依レルヲ以テ全然之ヲ同一ニ視ルコトヲ得ス隨テ其ノ名稱ニ付テモ家督相續ノ稱ヲ用フルハ内容ニ付誤解ヲ惹クノ虞ナシトセス

三 財産相續 朝鮮ニ於ケル戸主カ死亡其ノ他ノ事由ニ因リ變更シタルトキハ前戸主ニ屬セシ財産ハ其ノ全部又ハ幾分ヲ新戸主ニ於テ承繼シ又家族ノ死亡・離縁等ノ場合ニ於テモ相續人其ノ遺産ヲ承繼スル例ニシテ祭祀相續ノ場合ニ在リテハ常ニ財産相續ヲ伴フモノトス然レトモ財産相續ハ祭祀相續又ハ戸主相續ト全然別箇ノ



相續人ニ於テ其ノ相續ヲ爲スコトアリ例ヘハ長男カ祭祀相續ヲ爲シタル場合ニ於テ次男以下ノ者亡父ノ遺産ニ就キ幾分ヲ承繼スル場合ノ如キハ次男以下ノ者ハ財産ノミヲ相續シ祭祀ノ相續ヲ爲スコトナシ故ニ財産相續ハ全然祭祀相續ニ包含セラルルモノト云フコトヲ得ス又家族死亡ノ場合ニ於ケル遺産ノ相續ノ如キハ戸主相續ト關係ナキヲ以テ財産相續ト戸主相續トハ之ヲ區別シテ觀察セサルヘカラス相續ノ順位

一 祭祀相續ノ順位

祭祀相續ノ場合ニハ戸主相續及財産相續ヲ併セ行ハルルヲ普通トシ家督相續ニ相當ス其ノ相續人トナルヘキ地位ニアルモノハ被相續人ノ(1)實子又ハ養子タル男ニシテ女子ハ祭祀相續人タルコトヲ得ス(2)其ノ家ニ在ル者ニ限ル(3)嫡出ノ長男ヲ本則トスルモ若シ長子カ婚姻前ニ死亡シ又ハ其家ニ在ラサルトキハ衆子即チ次子以下ノ男子ハ其ノ長幼ノ序次ニ依リ相續人トナル(4)嫡子ナク若クハ嫡子カ婚姻前ニ死亡シ又ハ他家ニ在ルトキハ庶子カ相續人トナル(5)長子カ婚姻後ニ死亡セシモノナルトキハ假令衆子アルモ衆子ハ祭祀相續人トナルコトヲ得ス長子ノ子(男)ヲシテ祭祀相續ヲ爲サシメ又其子(男)ナキトキハ亡長子ニ養子ヲ爲シ以テ祭祀相續ヲ爲サ

シム而シテ尊屬ニハ直系ト傍系トヲ問ハス祭祀相續人トナルコトナシ故ニ順位ハ

- (1) 子ハ孫ニ先チ
  - (2) 男子ニ限ル(女子ニ祭祀相續ヲ認メス)
  - (3) 嫡子ト庶子トノ間ハ嫡子ヲ先ニス
  - (4) 嫡子女ト庶子男トノ間ニ在リテハ女子ノ相續ヲ認メサルヲ以テ庶子男
  - (5) 同一順位ニ在ル者ノ間ニ於テハ年長者
  - (6) 先順位ニアル者相續開始前ニ死亡シタルトキハ其ノ子相續人ト爲ル若シ其ノ子カ女子ナルトキハ亡相續人ノタメニ養子ヲ爲シ之ヲ相續人トス
- 祭祀相續人ナキ者ハ養子ヲ爲シ之ヲ相續人ト爲スコトヲ得ルヲ以テ別ニ祭祀相續人ノ指定ヲ認メス又相續人ナクシテ死亡シタルトキハ死後ノ養子ヲ爲シ之ヲ相續人ト爲ス即チ相續人選定ニ該當シ此選定ハ妻母門會等ノ順序ニ於テ之ヲ行フ慣例ナリ

二 戸主相續ノ順位

祭祀者戸主相續ヲ爲ス場合ハ祭祀相續ノ順位ト同一ナリ唯祭祀者ナキ場合或ハ祭祀者未定ノ場合ニ於テハ其ノ家ニ在ル女子ノ内左ノ順位ニ於テ戸主相續ヲ爲スモ



ノトス

(1) 祖母

(2) 母

(3) 妻

(4) 女、嫡子女ハ庶子女ヨリ先ニシ相同シキモノノ間ニ在リテハ年長者ヲ先ニス

三 財産相續ノ順位

甲 戸主死亡ノ場合ニ於ケル財産相續人

(1) 祭祀相續人其ノ他ノ祭祀者並ニ其ノ弟(此場合女ニハ相續權ナシ)

第二人以上アルトキハ同時ニ財産相續人トナル

(2) 其ノ家ニ在ル者ニ限ル

(3) 孫ハ相續人タル父既ニ死亡セルトキハ其ノ相續分ヲ受ク若シ亡相續人ノ子ナ

キトキハ妻又ハ其ノ養子ハ其相續分ヲ相續スルモノトス

(4) 其ノ他戸主相續ノ場合ニ同シ

乙 家族死亡ノ場合ニ於ケル財産相續人

(1) 家族カ既婚ノ男子ナルトキ

長男子及次男以下ノ男子孫之ヲ承繼シ若シ之ニ男子ナキ場合ニ其ノ死者カ長  
男ナルトキハ其遺産ハ父之ヲ承繼シ次男以下ノ衆子ナルトキハ其ノ妻之ヲ承  
繼ス

(2) 家族カ未婚男子ナルトキ若クハ女子ナルトキハ父其ノ遺産ヲ承繼シ父ナキト

キハ戸主之ヲ承繼ス

(3) 妻ノ遺産ハ夫之ヲ承繼ス

(4) 寡婦ノ遺産ハ子孫、子孫ナキトキハ戸主之ヲ承繼ス

右慣習ハ慶尙南道達城郡地方ニ於テモ同様ナリ

【二九七】宗中有財産ニ關スル件

(大正十二年八月二日全羅北道照會  
同 年八月二十一日朝樞第三六八號中樞院書記官長回答)

○要 旨

一 宗中有財産ノ處分ハ宗中ノ協議ニ依ルモノニシテ宗孫單獨ノ處分ヲ許サズ

○照 會



- 一 朝鮮宗中有財産ハ宗孫ノ單獨ニテ處分シ得ルヤ
- 二 若シ單獨ニテ處分シ得サルトセハ其處分ニ關スル習慣

○回 答

- 一 宗中有財産ハ宗孫ノ單獨ニテ處分シ得サルモノトス
- 二 其ノ處分スルニハ宗中ノ協議ニ依ルヲ慣例トス

【二九八】庶子ノ祭祀權ニ關スル件

(大正十二年三月九日大邱覆審法院長照會  
同年九月六日朝樞第一二四號政務總監回答)

○要 旨

- 一 二百年前ノ慣習ニ於テ庶子ノ祭祀相續權ヲ否定シタルコトナシ
- 二 宗孫ガ庶子ナル爲次孫ガ宗孫家ノ養子トナリ又ハ門中等ノ承認ヲ得テ祭祀權ヲ獲得スルガ如キ慣習ナシ
- 三 右ハ其ノ家祖ガ參奉軍資主簿其ノ他ノ官ニ歷任シ死後文廟ニ從祀サレタルトキト雖異ルコトナシ

○照 會

- 一 約二百年以前ニ於テ庶子ハ祭祀者トシテ祭祀權ヲ相續スルコトヲ得サル慣習アリヤ否ヤ
- 二 左記事例ノ如ク宗孫丁カ庶子ナル場合ニ於テ次孫己カ宗孫家ノ養子トナルコトナクシテ儒林門中ノ承認ヲ得テ祭祀權ヲ取得シタル上爾後次孫己ノ子孫ニ於テ之ヲ承繼スル慣習アリヤ

例 始祖…甲…丙…丁(庶子)  
乙…戊…己

- 三 始祖カ南部參奉、軍資主簿、司憲府監察、刑曹佐郎ノ官ニ歷任シ死後贈通政大夫承政院都承旨兼經筵參贊官尙瑞院正、加贈大匡輔國崇祿大夫議政府右議政兼領經筵監春秋館事、謚文敬公文廟ニ從祀セラレタルモノナルトキハ第二項ノ如キ慣習アリヤ

○回 答

- 一 約二百年前ニ於ケル朝鮮ノ慣習トシテ庶子ノ祭祀相續權ヲ否定シタルコトナシ
- 二 宗孫カ庶子ナルタメ次孫カ宗孫家ノ養子トナルコトナク儒林門中等ノ承認ヲ得テ祭祀權ヲ獲得スルカ如キ慣習存セシコトナシ
- 三 右ハ其ノ家ノ始祖カ參奉軍資主簿司憲府監察刑曹佐郎等ノ官ニ歷任シ死後ニ贈職セラレ文廟ニ從祀セラレタル者ナリト雖敢テ異ナルコトナシ



### 【二九九】完文成給ノ權限ニ關スル件

(大正十二年八月一日林野調査委員會委員長照會  
同年九月十八日朝樞第三六二號中樞院書記官長回答)

#### ○要旨

- 一 忠勤府ハ功臣墳墓所在ノ山地ニ對シテ公證力ヲ有スル完文ヲ發給スルコトヲ得タリ

#### ○照會

- 一 忠勤府ハ忠臣勳臣ノ墳墓所在山地ニ對シ完文ヲ發給スル權限アリシヤ
- 二 該完文ハ他官廳其ノ他一般ニ對シ效力ヲ有セシヤ

#### ○回答

- 一 忠勤府ハ功臣墳墓所在ノ山地ニ對シテ完文ヲ發給スルコトヲ得タリ
- 二 忠勤府ノ完文ハ公證力ヲ有ス

### 【三〇〇】人的役權ニ關スル件

(大正十二年八月二十三日海州地方法院瑞興支廳照會  
同年十月一日朝樞第四一五號政務總監回答)

#### ○要旨

- 一 土地ヲ目的トスル人的役權ヲ認ムル慣習ナシ

#### ○照會

- 一 朝鮮ニ於ケル慣習トシテ人的役權ニ相當スル物權アリヤ  
例ヘハ土地所有者カ家族ノ分家者又ハ自己ノ親族ノ死亡ニ至ル迄所有地ノ使用收益ヲ爲サシムルカ如シ
- 二 右人的役權ノ慣習存在ストセハ其ノ設定ハ土地所有者ノ一方ノ意思表示ノミニテ成立シ又ハ所有者、受益者間ノ合意ニ依リ成立スル慣習アリヤ

#### ○回答

- 一 朝鮮ノ慣習ニ於テハ土地ヲ目的トスル所謂人的役權ヲ認メス  
土地ノ所有者カ家族ノ分家者又ハ自己ノ親族ノ死亡ニ至ルマテ其ノ所有地ノ使用收益ヲ爲サシムルカ如キ事例ナキニアラサルモ斯カル場合ニ於ケル權利關係ハ慣習上人的役權ト認メス

### 【三〇一】墳墓敷地ノ所有權ニ關スル件

(大正十二年九月十三日咸鏡南道知事照會  
同年十月十五日朝樞第四六〇號中樞院書記官長回答)



○要旨

一 祖先ノ墳墓アル林野ノ賣渡證書ニ特ニ墳墓ノ區域ヲ除外スル旨ヲ明示セザル場合ハ右區域ハ當然賣買地域中ニ包含スルモノト視ル慣習ナリ、但シ該墳墓ハ依然存置シ得ベク買受人ハ之ガ掘移ヲ強要スルコトヲ得ザルモノナリ

○照會

一 甲ハ祖先ノ墳墓ヲ設ケタル自己所有ニ係ル一籠ノ林野ヲ乙ニ賣渡シタリ其ノ場合ニ於ケル賣渡證書ニ墳墓ノ區域ヲ除外スル旨明示ナシト雖甲ハ慣習ニ依リ自己祖先ノ墳墓區域即チ莎草地内ノ土地所有權ヲ主張シ得ルモノナリヤ  
 二 前項ノ場合ニ於テ乙カ買受ノ當時甲ノ祖先ノ墳墓ノ存在ヲ認知セル實認(賣買文記外ニ)アル場合ニ於ケル甲ノ主張如何

○回答

一 甲カ其ノ祖先ノ墳墓アル林野ヲ乙ニ賣買シタル場合ニ於テ其ノ賣渡證書ニ特ニ墳墓ノ區域(莎草内)ヲ除外スル旨ヲ明示セサル場合ニ於テハ該墳墓ノ區域ハ當然賣買地域中ニ包含サレタルモノト視ル慣習ニシテ甲ハ莎草地内ノ土地所有權ヲ主張スルコトヲ得ス然レ共甲ハ慣習ニ依リ依然墳墓ヲ存置スルコトヲ得ヘク乙ハ甲ニ

對シ墳墓ノ掘移ヲ強要シ又ハ其區域ヲ侵害スルコトヲ得サル慣習ナリ  
 右ハ乙カ買受ノ當時甲ノ祖先ノ墳墓ノ存在セルコトヲ知レル場合ト否トニ因リ異ル所ナシ

【三〇二】宗中ノ代表者ニ關スル件

(大正十二年九月十四日全羅北道知事照會) 同年十月二十三日朝樞第四五七號中樞院書記官長回答

○要旨

一 宗中ノ代表ハ門長之ニ當リ祭祀ニ就テハ宗孫之ヲ代表シ宗中財産ニ關シテハ特ニ代表者ヲ定ムルヲ普通トス  
 二 宗中財産ニ關スル代表者ノ選任ハ宗中會議ヲ以テ多數決ニ依リ之ヲ爲ス

○照會

一 朝鮮慣習上宗中ニ關スル代表者ハ全然宗孫之ニ當ルモノナルヤ  
 二 右代表者ニ對シ宗中間ニ異議アル場合ハ宗中ニ於テ選任スルモノナルヤ選任スルコトヲ得ルトセハ之カ方法ハ選舉ニヨリ決定スルモノナルヤ



○ 回 答

- 一 朝鮮ノ慣習ニ於テ宗中ニ關スル代表者ハ宗孫之ニ當ルニ限ルモノニアラス  
宗中ノ代表ハ門長之ニ當ルモ祭祀ニ付テハ宗孫之ヲ代表シ宗中財産ニ關シテハ特  
ニ代表者ヲ定ムルヲ普通ノ慣例トス
- 二 宗中財産ニ關スル代表者ニ對シ異議アルトキハ宗中協議ヲ以テ選任スルコトア  
リ選任ノ方法ハ宗中會議ヲ爲シ多數決ニ依リ之ヲ定ムルモノトス

【三〇三】 沢ノ所有權ニ關スル件

(大正十二年九月十三日京城地方法院鐵原支廳照會  
同 年十一月十六日朝樞第四五八號政務總監回答)

○ 要 旨

- 一 築沢者が蒙利地所有者ヨリ築沢ニ對スル報酬トシテ築沢ニ因リ新ニ番トナ  
リタル土地ノ二分ノ一ノ分給ヲ受ケタル場合其ノ沢ノ歸屬ニ付キ別段ノ定メ  
ナキトキハ其ノ沢ハ蒙利地所有者全員ノ共有ニ歸シタルモノト視ルヲ一般ノ  
觀念トス

○ 照 會

- 一 朝鮮ニ於テ沢ヲ築造シタル者ニ對シ蒙利地ヲ開番シタル蒙利地所有者ヨリ開番ノ二分ノ一ヲ提供シタル場合ニ其ノ沢  
ハ蒙利地主ノ所有ニ歸スル慣習アリヤ

○ 回 答

- 一 築沢者カ蒙利地所有者ヨリ築沢ニ對スル報酬トシテ築沢ニ因リ新ニ番トナリタ  
ル土地ノ二分ノ一ノ分給ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ沢ノ歸屬ニ付別段ノ定メナキ  
トキハ其沢ハ爾後蒙利地所有者等ノ共有ト視ルヲ一般ノ觀念トス而シテ右ノ場合  
ニ於テ築沢者モ亦蒙利地ノ所有者トナルヲ以テ共有者ノ一員タルモノナリ

【三〇四】 里有財産ノ處分ニ關スル件

(大正十三年一月三十一日林野調査委員會委員長照會  
同 年二月二十九日朝樞第四六號中樞院書記官長回答)

○ 要 旨

- 一 里有財産ノ處分ハ里ノ住民或ハ重立チタル者ノ協議ニ依リ代表者タル里長  
若ハ里長及重立チタル住民ノ名義ヲ以テ爲スヲ通例トス



二 右ノ方法ニ依ラザル里長專斷ノ處分ハ無効ナリトス

○照 會

一 舊時里有財產(不動産)ハ里長專斷ヲ以テ之ヲ處分スルヲ得タリシヤ或ハ里民ノ協議ヲ經タル上里長名義ヲ以テ處分シタリシヤ

二 若シ里民ノ協議ヲ要シタリトセハ其ノ協議ヲ經スシテ專行シタル里長ノ處分ハ當然無効ナリシヤ

○回 答

- 一 里有財產(不動産)ノ處分ハ里ノ住民或ハ重立チタル者ノ協議ニ依リ代表者タル里長若クハ里長及重立チタル住民ノ名義ヲ以テ處分スルヲ通例トス
- 二 第一項ノ慣習ニ據リ里長專斷ノ處分ハ無効タルヘシ

【三〇五】 夫ヲ殺害シタル妻ノ養子選定權ニ關スル件

(大正十三年二月十五日大邱覆審法院民事第二部裁判長照會) 同年五月十九日朝樞第八二號政務總監回答

○要 旨

一 夫ヲ殺害シタル妻ハ養子選定權ナク又他人ノ選定ニ對シテモ異議ヲ述ブル

權利ナシ

二 夫ヲ殺害シタル者ハ親族會員タル資格ナシ

○照 會

一 夫ヲ殺害シタル妻ハ亡夫ノ爲ニ次養子或ハ子ナクシテ死亡シタル既婚長男ノ爲ニ養子選定權ヲ有スルヤ

二 夫ヲ殺害シタル妻ハ子ナクシテ死亡シタル既婚長男ノ養子選定又ハ亡夫ノ次養子選定ニ對シ異議ヲ申述フル權利ヲ有スルヤ

三 夫ヲ殺害シタル者ハ親族會員タル資格ヲ有スルヤ

四 右事項ニ關スル全羅南道地方ノ慣習

○回 答

一 夫ヲ殺害シタル妻ハ亡夫ノ爲メニ次養子或ハ子ナクシテ死亡シタル既婚長男ノ爲メニ養子選定權ヲ有セス又是等ノ養子選定若クハ次養子選定ニ對シ異議ヲ述フル權利ヲ有セス

二 夫ヲ殺害シタル者ハ親族會員タル資格ヲ有セス

三 右ニ關スル慣習ハ全羅南道地方ニ於テモ異ナル所ナシ



### 【三〇六】離縁ト相續財産ニ關スル件

(大正十三年八月一日京城覆審法院民事第一部裁判長照會) 同年十一月二十九日朝樞第三七九號中樞院議長回答

#### ○要旨

- 一 他家ノ養子トナリタル者離縁ニ因リ又ハ縁組ノ無効ニ因リ其ノ家ヲ去ル場合ニ於テハ其ノ戸主ノ地位ヲ相續シタルニ因リ取得シタル財産ハ其ノ家ニ残留スベキモノトス
- 二 祖先祭祀ノ資ニ充ツル爲親族一門ノ者ヨリ表見相續人ニ贈與シタル財産ハ相續財産ト同一視スル慣習ナリ

#### ○照會

一 朝鮮ニ於テハ他家ニ養子トナリタル者カ離縁ニ因リ其ノ家ヲ去ル場合及無効ノ養子縁組ニ因リ又ハ養子ト冒稱シテ他家ニ入りタル者カ其ノ無効又ハ冒稱ノ事實判明シ其ノ家ヲ去ル場合ニ於テハ其ノ養子カ事實上其ノ家ノ戸主ノ地位ヲ相續シタルニ因リ取得シタル其ノ家ノ財産(相續財産)ハ勿論事實上其ノ家ノ戸主タリシ間ニ取得シタル財産ハ其ノ一身ニ專屬スヘキモノヲ除キ總テ之ヲ其ノ家ニ残留スルコトヲ要シ斷シテ之ヲ持去ルコトヲ許サス此等残留財産ハ當然新ニ其ノ家ノ戸主トナリタル者ノ所有ニ歸スル慣習ノ有無

二 表見相續人カ事實上戸主タル間ニ其ノ家ノ親族一門ノ者ヨリ表見相續人ニ贈與セシモノニアラスシテ其ノ家ノ祖先祭祀ノ資ニ充ツル爲祭位土トシ表見相續人カ事實上戸主タル資格ヲ有スル爲同人ニ贈與シタル財産ハ相續財産ト同一視セララル慣習ノ有無

#### ○回答

- 一 朝鮮ノ慣習ニ於テハ他家ノ養子トナリタル者カ離縁ニ因リ其ノ家ヲ去ル場合及無効ノ養子縁組ニ因リ又ハ養子ト冒稱シテ他家ニ入りタル者カ其ノ無効又ハ冒稱ノ事實判明シ其ノ家ヲ去ル場合ニ於テハ其ノ養子カ事實上其ノ家ノ戸主ノ地位ヲ相續シタルニ因リ取得シタル其ノ家ノ財産(相續財産)ハ其ノ家ニ残留スヘキモノニシテ事實上其ノ家ノ戸主タリシ間ニ取得シタル財産ニシテ其ノ一身ニ專屬スヘキモノハ其ノ者ニ屬シ其ノ他ノ財産ニ就テハ慣習一定セルモノナシ
- 二 表見相續人カ事實上戸主タル間ニ其ノ家ノ親族一門ノ者ヨリ表見相續人ニ贈與セシモノニアラスシテ其ノ家ノ祖先祭祀ノ資ニ充ツル爲祭位土トシ表見相續人カ事實上戸主タル資格ヲ有スル爲同人ニ贈與シタル財産ハ相續財産ト同一視セララル慣習ナリ



### 【三〇七】相續ニ關スル件

(大正十四年四月二十三日光州地方法院長照會) 同年六月十六日朝樞第三三二號政務總監回答)

#### ○要旨

- 一 男戸主養子ヲ爲シタル後出生シタル男子ヲ分家セシメタルモ其ノ後養子ヲ罷養シ他ニ男子ナクシテ死亡シタル場合ニ於テハ分家シタル男子當然亡戸主ノ地位ヲ承繼シ家督相續ヲ爲スモノトス

#### ○照會

- 一 朝鮮人間ニ於テ戸主カ男子ナキ爲養子ヲ爲シタル後男子出生シ其ノ男子カ分家ヲ爲シタル後該養子ヲ廢罷シタル儘他ニ男子ナクシテ右戸主カ死亡シタル場合ニ於テハ分家シタル男子ニ於テ當然死亡シタル戸主ノ家督相續ヲ爲スヘキ慣習アリヤ

#### ○回答

- 一 朝鮮人タル男戸主男子ナク養子ヲ爲シタル後男子出生シ之ヲ分家セシメ其ノ後又養子ヲ罷養シ他ニ男子ナクシテ死亡シタル場合ニ於テハ分家シタル男子ハ當然亡戸主ノ地位ヲ承繼シ家督相續(戸主祭祀財産ノ相續)ヲ爲ス慣習ナリ

### 【三〇八】遺産相續ノ效力ニ關スル件

(大正十四年七月十一日逕信局長照會) 同年八月三日朝樞第三八七號中樞院書記官長回答)

#### ○要旨

- 一 家族タル弟ノ遺産ヲ相續シタル戸主ハ相續ニ因リテ得タル財産ノ限度ニ於テノミ被相續人ノ債務ヲ負擔スル慣習ナリ
- 二 前項ノ場合亡弟ガ消極的財産ノミヲ殘シタルトキハ戸主タル兄ハ之ヲ承繼スル義務アリトスル慣習ナシ

#### ○照會

- 朝鮮人戸主 甲 同 弟 乙 (大正九年二月二十日死亡)
- 一 乙ノ遺産相續人甲ハ相續ニ因リテ得タル財産ノ限度ニ於テノミ被相續人ノ債務ヲ負擔スヘキモノナリヤ
- 二 乙カ消極的財産ノミヲ殘シタル場合甲ハ之ヲ承繼スル義務ナキヤ

#### ○回答

- 一 家族タル乙男死亡シ他ニ相續人ナキ爲メ兄タル甲戸主其ノ遺産ヲ相續シタル場



合ニ於テハ甲ハ相續ニ因リ得タル財産ノ限度ニ於テノミ被相續人ノ債務ヲ負擔スル慣習ナリ

二 右ノ場合乙カ消極的財産ノミヲ殘シタルトキハ甲ニ於テ之ヲ承繼スル義務アリトスル慣習ナシ

【三〇九】祭祀・家督相續ニ關スル件

(大正十五年六月二十一日大邱覆審法院民事第二部裁判長照會)  
 (同年八月六日朝樞第二六六號中樞院議長回答)

○要旨

- 一、二 長男ハ宗家相續ノ爲ニスル場合ノ外他家ノ養子ト爲ルコトヲ得ザル慣習ナリ
- 宗家ニ非ザルモ縁組ニ關シテハ父ノ兄ノ家ハ宗家ニ準ズル慣習ナリ
- 三 往時ニ在リテハ前項ノ慣習ニ反シテ爲シタル縁組ト雖之ヲ有效トシ後日ニ至リ之ヲ取消スガ如キコトナカリシモノナリ

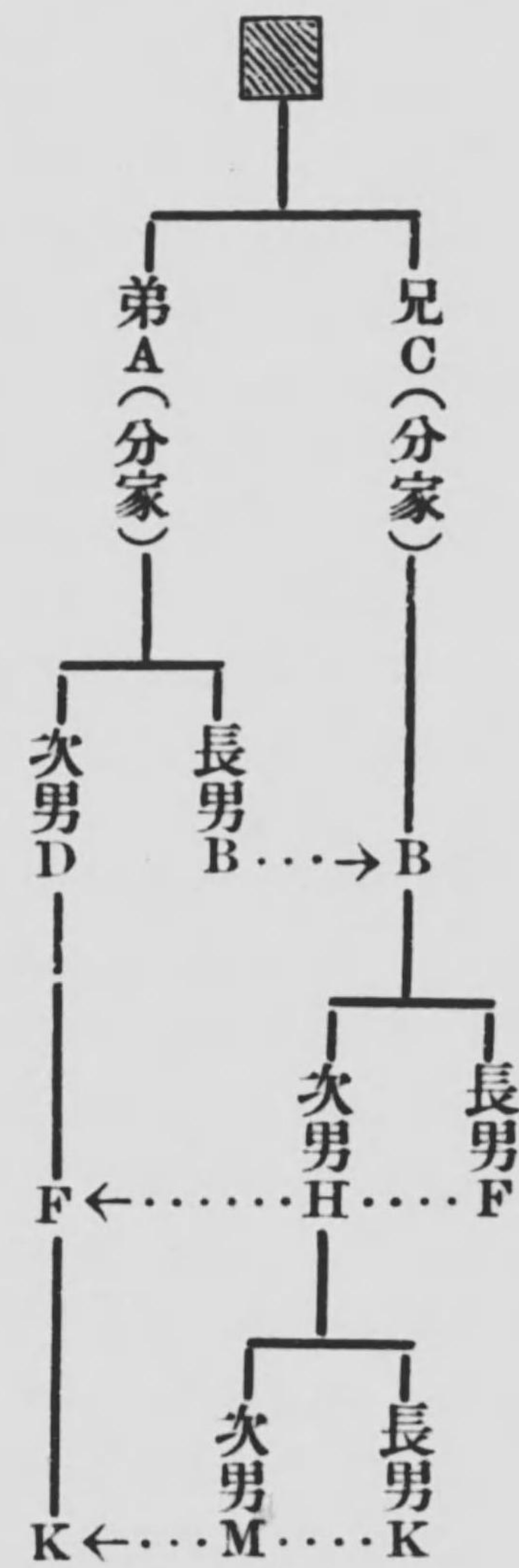
○照會

- 一 左記圖解記載ノ如ク弟A(分家)ノ長男BヲAノ兄C(分家)ノ養子ト爲シタル場合ニ於テ(大正三年六月十八日)第Aノ跡ヲD(Bノ弟)之ヲ相續シDニ嗣子ナキヲ以テBヨリ見テ生家タルA家ヲ本家又ハ宗家ニ準シ生家相續ノ爲メ兄Cノ養子ト爲リタルBノ長男FヲDノ家督相續人トシテ養子ト爲サシメ得ル慣習アリヤ(此ノ場合Bノ跡ヲ次男Hカ相續シタルモノトス)
  - 二 若シ右ハ朝鮮慣習上是認セララルトキハBノ長男F一代ヲ限り養子ト爲シ得ヘキモノナルヤ又ハFヲA家ノ養子ト爲シタル其ノ後更ニA家ニ嗣子ナキ時C家ヲ相續セルHノ系統ノ長男ヲ養子ト爲シ得ヘキヤ(例令ハHノ長男Kヲモ引續キ養子ト爲シ得ルヤ否ヤ)
  - 「即チ第二項ハ結局第一項ノ慣習アリトセハA家ヨリFヲ初度トシテ其ノ後C家系統ノ長男ノミヲ二度三度ニテモ養子ト爲シ得ルヤ否ヤニ歸ス但シ此ノ場合一度二度トハ同一人ノ度ニアラス」
  - 三 若シ第一項ノ如キ朝鮮慣習上是認セラレサルモノトスルモ一度生家相續ノ爲メ養子ト爲シタル者ハ相續ニ關シテハ養子タル身分ヲ取得シ嫡出男子ト同一ノ權利ヲ有スル慣習ニアラスヤ
- 右ノ場合
- (イ) 養子カ慣習上儀式ヲ舉ケ養子ト爲リ且民籍ニ登録サレ居ル場合及
  - (ロ) 養子カ慣習上ノ儀式ヲ舉ケタル場合トニヨリ差異アリヤ否ヤ(養子ヲ爲ス者ニ庶子アル者ハ養子ヲ爲スコトヲ得サルモコノ場合養子ヲ爲シタルトキハ養子ハ相續ニ關シ嫡出男子ト同一權利ヲ有スルモノトス)

記

日政務總監  
 回答參照)





○回 答

一 朝鮮ノ法制ニ於テハ嫡妾俱無子者告官立同宗支子爲後以同宗長子爲後者(中略)竝勿聽(續大典典禮典立後條參照)トシ養子トナルヘキ者ハ支子(次子以下ノ子)ニ限り長子ハ他家ノ養子ト爲ルコトヲ得サルモノトセシカ本家又ハ宗家ヲ重スル結果此等ノ家ニ嗣子ナキトキハ上聞特許(王ニ奏請シ其ノ特許ヲ得ル意)ニ依リ分家又ハ支家ノ長男ヲ養子ト爲セシカ遂ニ之カ例ト爲リ一般ニ之ヲ是認スルニ至リ延テハ本家又ハ宗家ニ非サルモ兄(次兄ノ場合モ含ム)ニ嗣子ナキトキハ(兄ハ弟ヨリ年長ナル理由ニ依リ)弟ノ長男ヲ取りテ養子ト爲スニ至リ遂ニ慣習トシテ是認セラルルニ至リタリ然レトモ右以外ノ場合ニ於テハ如何ナル理由アルモ長男ハ他家ノ養子トナルコトヲ得ストスルヲ一般ノ慣習トセリ

本問ノ場合ニ於テモA家ノ相續人タルDハC家ノ相續人タルBノ弟ナルヲ以テ自己ニ嗣子ナキ場合ニ於テモ慣習上其ノ兄ノ長子ヲ取りテ養子ト爲スコトヲ得サルノミナラスA家トC家トハ何レモ之等シク分家ナルヲ以テ假令A家カBノ生家ナルニモセヨ之ヲ本家又ハ宗家ニ準シ其ノ長子ヲ以テ弟タルDノ養子ト爲スカ如キハ慣習ノ認メサル所ナリ但シ事實ニ於テハ斯ル事例ハ古來ハ京城及地方ヲ通シ相當廣ク行ハレタルモノナリ然レトモ之固ヨリ適法ナル養子縁組ニ非ス

二 前項ノDカ其ノ兄タルBノ長男Fヲ以テ養子トスルハ不適法ナル縁組ナルモDノ養子タルF(Bノ長男)ニ相續人ナキ場合其ノ弟タルHノ長男Kヲ以テFノ養子トスルコトハ前陳ノ通り慣習ノ認ムル所ニシテ敢テA家カBノ生家ナルカ故ニ特ニ之ヲ爲シ得ルト云フニ非ス

三 前述ノ如ク貴問第一項ノ養子縁組ハ朝鮮ノ慣習上是認セラレサルモノナリト雖舊時ニ於テハ一旦養子縁組ヲ爲シタル以上ハ之ニ因リ父子ノ倫定マルト爲シ假令其ノ縁組カ不適法(宗家又ハ本家ニ非スシテ他人ノ長子ヲ取りテ養子ト爲スハ慣習ニ反ス)ナルニセヨ其ノ理由ヲ以テ後日ニ至リ之ヲ取消スカ如キコトナカリシカ如シ(最近ニ於ケル慣例ハ否ラス)從ツテ右ノ如キ不適法ナル縁組ノ場合ニ於テモ養子



ハ縁組ノ日ヨリ養親ノ嫡出子タル身分ヲ取得シ相續ニ關シテモ嫡出子ト同一ノ權利ヲ有スルモノトセリ而シテ右ハ養子縁組ノ儀式ヲ擧ケテ既ニ養家ノ民籍ニ登録サレ居ル場合ト單ニ儀式ヲ擧ケタルノミナル場合トニ因リ異ルコトナシ

### 【三一〇】私生子認知ニ關スル遺言執行者ニ關スル件

(大正十五年六月二十三日法務局長照會  
同年八月九日朝樞第二九三號中樞院議長回答)

#### ○要旨

一 私生子認知ニ關スル遺言アリタル場合ニ於テ遺言者が遺言執行者ヲ指定シタルトキハ其ノ者ニ於テ之ヲ執行ス  
遺言者が戸主ニシテ執行者ノ指定ナキ場合ハ祭祀相續人祖母母妻其ノ他ノ近親ノ順位ニ依リ遺言執行者ト爲リ遺言者が家族ナル場合ハ戸主執行者ト爲ル遺言執行者幼少ナルカ無能力ナルトキハ親權者又ハ後見人ニ於テ之ヲ代行ス遺言執行者ノ故障ニ由リ遺言ヲ執行スルコト能ハザル場合ニハ最近親ニ於テ之ヲ代行スル慣例ナリ

#### ○照會

一 遺言ニ因ル認知アリタル場合ニ於ケル遺言ノ執行ハ何人カ之ニ當ルヘキヤ

#### ○回答

一 私生子認知ニ關スル遺言アリタル場合ニ於テ遺言者カ遺言執行者ヲ指定シタルトキハ指定サレタル者ニ於テ之ヲ執行スル慣習ナルモ否ラサル場合ハ大抵其ノ家ニ在ル親族カ左ノ順位ニ依リ遺言執行者トナルヲ一般ノ慣習トス但シ遺言執行者カ幼少ナルトキ無能力者ナルトキハ親權者又ハ後見人ニ於テ之ヲ代行シ又執行者ノ故障ニ由リ遺言ヲ執行スルコト能ハサル場合ハ最近親ニ於テ之ヲ代行スル慣例ナリ

イ、遺言者カ戸主ナル場合

(一)祭祀相續人 (二)祖母 (三)母 (四)妻 (五)其ノ他ノ近親

ロ、遺言者カ家族ナル場合

(一)戸主



### 【三一】僧侶ノ遺産相續ニ關スル件

(昭和三年九月二十七日京城覆審法院民事第一部裁判長照會)  
(同四年一月十八日朝樞第四五號政務總監回答)

#### ○要旨

一 第一上佐師僧ニ先テ死亡シ師僧遺産ノ處分方法ヲ定メズシテ死亡シタル場合第二上佐ノ外孫上佐アルトキハ奉祀者タル第二上佐ニ於テ一應全財産ヲ相續シ後門會ノ決議ニ從ヒ孫上佐ニ對スル分配等其ノ他ノ處分ヲ爲スベキモノトス

右ノ場合ニ於テ亡師僧ガ第一上佐ノ法師ヲ兼アルトキハ奉祀者タル第二上佐ハ門會ノ決議ニ從ヒ相續財産中亡第一上佐ノ承繼スベキ法番ノ額ヲ定メ之ヲ其ノ法弟タル孫上佐ニ給スベキモノトス

#### ○照會

一 朝鮮ニ於テ師僧ニ第一、第二ノ兩上佐アル場合ニ第一上佐ハ師僧ニ先チテ死亡シタルトキハ其ノ後師僧ノ死亡ノ際師僧ノ遺産ハ第一上佐ノ上佐(法長孫)之ヲ相續スヘキヤ第二上佐之ヲ相續スヘキヤ

#### ○回答

一 朝鮮ニ於テ師僧(恩師)ニ第一、第二ノ兩上佐アル場合ニ第一上佐カ師僧ニ先チ死亡シ其ノ後師僧モ亦死亡シタルトキ第二上佐ノ外孫上佐(第一上佐ノ上佐以下同シ)アル場合ニ於テ師僧カ遺言ヲ以テ遺産ノ處分方法ヲ定メスシテ死亡シタルトキハ亡師僧ノ奉祀者タル第二上佐ニ於テ一應全財産ヲ相續シタル後門會(亡師僧ノ師僧兄弟弟子其ノ他ノ法類ヲ以テ組織シタル法類會議)ノ決議ニ從ヒ相續財産中ヨリ孫上佐ノ相續分、亡師僧ノ祭祀ノ料ニ充當スヘキ祭位及佛供養ノ資トスヘキ佛糧位ヲ定メ孫上佐ノ相續分ハ孫上佐ニ相續セシメ佛糧位ハ寺刹ニ寄附シ殘餘ノ財産ト祭位トハ第二上佐ニ於テ取得スルヲ一般ノ慣習トス

又右ノ場合ニ於テ亡師僧カ第一上佐ノ恩師タルト共ニ其ノ法師ヲ兼スルトキハ師僧ハ第一上佐ニ對シ法番(法師タル師僧カ其ノ法弟ニ給スル田番ニシテ法師法弟間ニ相傳スル田番)ヲ給セサルヘカラサル慣習ナルヲ以テ若シ師僧カ第一上佐ノ生前ニ之ヲ分給セスシテ死亡シタルトキハ亡師僧ノ遺産中第一上佐カ承繼スヘキ法番ニ屬スル部分ハ第一上佐ノ法脈ヲ繼承シタル孫上佐(第一上佐ノ法弟タル場合)ニ給セサルヘカラス又師僧ノ法師カ貧困ナリシ爲師僧ニ法番ヲ傳ヘサリシ場合ニ於テ



モ師僧カ財産ヲ有スルトキハ必ス其ノ財産ノ一部ヲ法番トシテ分給スル慣習ナルヲ以テ亡師僧カ第一上佐ノ生前ニ之ヲ給セスシテ死亡シタルトキハ相續人タル第二上佐ハ門會ノ決議ニ從ヒ第一上佐カ承繼スヘキ法番ノ額ヲ定メ之ヲ孫上佐(第一上佐ノ法弟タル場合)ニ給セサルヘカラサル慣習ナリ

### 【三一二】折半セル賣買文記ニ關スル件

(昭和四年三月四日林野調査委員會照會  
同年三月十九日朝樞第二三八號中樞院書記官長回答)

#### ○要旨

一 賣買文記ノ存スル一筆ノ土地ヲ賣渡スニ當リ右文記ヲ折半シテ買受人ニ交付スルガ如キ慣習ナシ

#### ○照會

一 賣買文記ノ存スル一筆ノ土地ヲ賣渡スルニ當リ右文記ヲ折半シ買受人ニ交付セル事實アリ右ハ朝鮮ノ慣習トシテ認め得ラルルヤ否ヤ

#### ○回答

一 賣買文記ニ二筆以上ノ土地カ記載セラレ居ル場合ニ於テ其ノ中ノ或筆ヲ賣買スル場合ニ於テハ右文記ヲ兩斷シ其ノ一片(賣買ノ目的タル土地ノ記載シアル分)ヲ新文記ト共ニ買受人ニ交付スルコト往々アルモ賣買文記ノ存スル一筆ノ土地ヲ賣渡スニ當リ右文記ヲ折半シ之ヲ買受人ニ交付スルカ如キ慣習ノ有リシコトハ未タ聞カサル所ナリ

### 【三一三】尼僧還俗ノ場合其ノ相續財産ノ歸屬ニ

關スル件 (昭和四年三月二十七日平壤覆審法院長照會  
同年四月十六日朝樞第二六九號政務總監回答)

#### ○要旨

一 師僧ノ死亡ニ依リ相續シタル第一上佐ガ尼僧タル身分ヲ喪失シタルトキハ其ノ相續ニヨリ得タル財産ハ其ノ上佐アルトキハ上佐之無キトキハ其ノ所屬寺院ニ歸屬ス

#### ○照會

一 乙尼僧ハ甲尼僧ノ第一上佐ナリシ處甲尼僧死亡シ乙尼僧ガ甲尼僧ノ財産ヲ相續シタルニ其ノ後乙尼僧ハ任意還俗シ若



ハ本山ヨリ度牒ヲ褫奪セラレ尼僧タル身分ヲ喪失シタルトキハ其ノ相續ニヨリ取得シタル財産ハ依然乙尼僧ノ所有ナリヤ將又其ノ尼僧ノ屬スル寺院ノ所有ニ歸スルヤ

○回 答

- 一 甲尼僧ノ第一上佐タリシ乙尼僧カ甲尼僧ノ死亡ニ因リ其ノ財産ヲ相續シタル後任意還俗シ若ハ本山ヨリ度牒ヲ褫奪セラレ尼僧タル身分ヲ喪失シタルトキハ其ノ相續ニ因リ得タル財産ハ乙尼僧ニ上佐アルトキハ上佐之ヲ相續シ上佐ナキトキハ其ノ所屬寺院ニ歸屬スル慣習ナリ

【三一四】奴名ニ關スル件

(昭和四年六月二十七日林野調査委員會照會) 同年七月三日朝樞第四五〇號中樞院書記官長回答

○要 旨

- 一 舊時兩班家ニ於テ法律行爲又ハ訴訟行爲ヲ爲ス場合ニ使用シタル奴名ハ常ニ一人ノ名ヲ定用シタリ
- 或奴ノ名ヲ以テ買受ケタル土地家屋等ヲ賣却スル場合ニハ實際其ノ奴ノ有無ニ拘ラズ其ノ奴名ヲ以テ賣却スルヲ通例トシタリ

右ノ場合ニ使用スル奴名ハ主人ノ宅號若ハ姓ノ下ニ其ノ名ノミヲ書クヲ通例トシタリ

○照 會

- 一 奴名ハ一種又ハ數種ヲ定メ使用シタリシヤ而シテ戸主又ハ宅號ヲ變更スル場合ト雖之ヲ變更セスシテ依然繼續使用シタリシヤ
- 二 奴名ハ金義興宅奴「全」逸福又ハ宋奴「朴」老味ノ如ク姓名共ニ記載シタル例アリヤ

○回 答

- 一 舊時兩班家ニ於テ法律行爲又ハ訴訟行爲ヲ爲ス場合ニ使用スル奴名ハ其ノ所有奴ノ名ヲ以テスル場合ト假裝ノ奴名ヲ以テスル場合トヲ問ハス常ニ一人ノ名ヲ定用シ豫メ數種ノ奴名ヲ定メ置クカ如キコトナシ
- 右奴名ハ戸主又ハ宅號ノ變更又ハ名義奴ノ存否ニ關係ナク數代ニ互リ繼續使用スルコトアリ或名義奴ノ死亡其ノ他ニ因リ變更スルコトアリテ一定ノ慣習ナシ然レトモ或奴ノ名ヲ以テ買受ケタル土地家屋等ノ不動産ヲ賣却スル場合ニハ實際其ノ奴ノ有無ニ拘ハラズ其ノ奴名ヲ以テ賣却スルヲ通例トセリ
- 二 右ノ場合使用スル奴名ハ金義興宅奴「才得」宋奴「貴金」等ノ如ク主人ノ宅號若クハ姓



ノ下ニ其ノ名ノミヲ書クヲ通例トスルモ姓名ヲ竝記スルカ如キコト絶無ニ非ス

### 【三一五】禮斜ノ效力ニ關スル件

(昭和四年八月二十六日林野調査委員會照會  
同年八月三十一日朝樞第五七二號中樞院回答)

#### ○要旨

- 一 掌禮院ニ於テ發給シタル禮斜ハ家督相續ニ對シテモ其レニ記載シタル文言ニ從ヒ確定判決ト略々同一ノ效力ヲ有シタルモノトス

#### ○照會

一 舊韓國時代掌禮院ニ於テ發給セル禮斜ハ家督相續權ニ對シ如何ナル效力ヲ有スルモノナリヤ

#### ○回答

- 一 韓國時代掌禮院ニ於テ發給シタル禮斜(立案)ハ家督相續祭祀戶主及財産ノ相續ニ對シテモ該禮斜ニ記載シタル文言ニ從ヒ確定判決ト略々同一ノ效力ヲ有スルモノト認ム但シ禮斜ハ後ニ至リ往々取消サルルコトアリ

### 【三一六】上佐ノ身分ニ關スル件

(昭和五年一月十三日學務局長照會  
同年一月三十一日朝樞第二〇號中樞院回答)

#### ○要旨

- 一 師僧(恩師)ト上佐トノ關係ハ親愛ヲ主トスルモノニシテ殆ド養子ト養親トノ關係ニ近キ情誼ヲ生ジ互ニ扶養ノ義務ヲ負ヒ師僧ハ幼少ナル上佐ニ對シ監護及教育ヲ爲スノ權利ヲ有シ義務ヲ負フ
  - 二 師僧死亡ノ場合ニ於テハ上佐ハ奉祀ヲ爲シ斬衰三年ノ喪ニ服シ遺産ヲ承繼ス
  - 三 師僧ト上佐トノ關係ヲ創設スルニハ當事者合意ニ依ル得度ヲ必要トス
- シ得ベク又一定ノ事由存スルトキハ又一方的意思表示ニ依リ若ハ意思表示ヲ待タズシテ當然解消スル場合アリ

#### ○照會

- 一 朝鮮ニ於ケル寺刹ノ師僧ト上佐トノ間ニハ民法上ノ養親ト養子トノ間ニ於ケルカ如キ身分上ノ關係ヲ認メタル慣習アリヤ
- 二 若シアリトセハ右身分關係ヲ創設スルニハ當事者ノ合意表示ニ依ルヤ或ハ師僧ノミノ一方的意思表示ニ依ルヤ



三 右身分關係ヲ解消スルニハ當事者ノ合意ヲ要スルヤ或ハ師僧若ハ上佐ノミノ一方的意思表示ニテ足ルヤ  
 一方の意思表示ニ依リ解消スル場合ニハ如何ナル事項ヲ以テ解消ノ原因トスルヤ  
 四 以上ノ慣習ハ全鮮的ノモノナリヤ或ハ地方的ノモノナリヤ

○回 答

一 朝鮮ニ於ケル師僧(恩師)ト上佐トノ間ニ在リテハ我カ民法上ニ於ケル養子ト養親トノ間ニ於ケルカ如キ身分上ノ關係ヲ生スルコトナシ然レトモ兩者ノ關係ハ法師ト法弟トノ關係ノ如ク求法傳燈ヲ以テ目的トスルモノニ非スシテ親愛ヲ以テ主トスルモノナリ從テ兩者ノ間ニ於テハ殆ト養子ト養親トノ關係ニ近キ情誼ヲ生シ互ニ扶養ノ義務ヲ負ヒ恩師ハ上佐カ幼少ナルトキハ其ノ監護及教育ヲ爲スノ權利ヲ有シ義務ヲ負フ

又恩師死亡ノ場合ニ於テハ上佐ハ俗人ノ其ノ實父又ハ養父ニ對スルカ如ク斬衰三年ノ喪ニ服シ祭祀ヲ奉シ遺產ヲ承繼スルヲ一般ノ慣習トス殊ニ舊時ニ在リテハ恩師上佐ノ關係ヲ結ヒタルトキハ上佐ハ恩師ノ家籍ニ入ルヲ例トセリ然レトモ近來僧侶ニシテ妻帯シ實子ヲ有スル者漸次其ノ數ヲ増スニ至リシヲ以テ斯カル僧侶ニ在リテハ其ノ上佐トノ間ニ於ケル情誼モ昔日ノ如クナラス自然ニ疎薄トナルノ傾

向ヲ生スルニ至レリ

二 恩師ト上佐トノ關係ヲ創設スルニハ當事者合意ノ上得度ヲ必要トス但シ右ノ場合上佐トナル者カ幼少ナルトキハ之ニ代ルヘキ父母若クハ保護者トノ合意ヲ要シ恩師ノ一方的意思表示ノミニテ此ノ關係ヲ創設スルカ如キコトナシ

三 恩師ト上佐トノ關係ノ解消ハ當事者又ハ前項但書ノ場合ニ於テハ其ノ關係者ノ協議ニ依リ何時ニテモ解消シ得ヘク又左ノ場合ニハ當事者ノ一方的意思表示ニ依リテ之ヲ爲シ得ヘシ

(1) 當事者互ニ其ノ一方ヨリ師弟ノ關係ヲ解消シ得ル場合

イ、他ノ一方ヨリ同居ニ堪ヘサル虐待又ハ重大ナル侮辱ヲ受ケタルトキ

ロ、他ノ一方ヨリ惡意ヲ以テ遺棄セラレタルトキ

ハ、他ノ一方カ重罪ヲ犯シ刑ニ處セラレタルトキ

ニ、他ノ一方ニ僧侶タルノ體面ヲ汚スヘキ行爲アリタルトキ

(2) 恩師ヨリ師弟ノ關係ヲ解消シ得ル場合

イ、上佐カ恩師ノ直系能化法類(恩師ノ恩師又ハ祖恩師ノ如キ者)ニ對シ重大ナル侮辱ヲ與ヘ又ハ暴行ヲ加ヘタルトキ



- ロ、上佐カ放蕩ニシテ恩師ノ財産ヲ蕩盡スル虞アルトキ
- ハ、上佐ニ不都合ノ行爲アリテ逃亡シタルトキ
- (3) 上佐ヨリ師弟ノ關係ヲ解消シ得ル場合
  - 恩師ノ直系能化法類カ上佐ニ對シ重大ナル侮辱ヲ與ヘ又ハ同居ニ堪ヘサル虐待ヲ爲シタルトキ
  - 右ノ外恩師又ハ上佐カ度牒ヲ褫奪サレタルトキ又ハ還俗シタルトキハ僧侶タルノ身分ヲ喪失スルヲ以テ恩師上佐ノ關係モ自然解消スルモノトス
- 四 以上ハ朝鮮全道ヲ通シ行ハルル慣習ニシテ特ニ地方ニ依リ異ルル慣習ナシ

### 【三一七】寺刹ノ財産處分ニ關スル件

(昭和五年二月二十五日林野調査委員會照會  
同四年四月十八日朝樞第一三二號中樞院向答)

#### ○要旨

- 一 舊時ニ在リテハ所謂山内末寺ヲ除クノ外各寺刹ハ本末ノ關係ナク皆獨立ノ地位ニ在リタルモノトス

獨立ノ地位ニ在ル寺刹ガ寺有不動産ヲ處分スルニハ其ノ寺刹ニ在住スル僧侶ノミノ協議ニ依ルヲ一般ノ慣習トシタリ

#### ○照會

一 大正二年十二月二十三日附第五十七號ヲ以テ新義州地方法院定州支廳ニ對スル貴院回答ニ依レハ寺刹令施行以前即チ隆熙三年頃ニ於テハ末寺ノ所有ニ屬スル不動産ヲ他ニ賣却スル場合ニハ一山僧侶ノ協議ヲ遂ケ且本寺ノ承認ヲ經ルコトヲ必要トシ若シ本寺ノ承認ヲ經スシテ處分ヲ爲シタルトキハ其ノ效力ナカリシ慣習ナル趣ナルカ前記慣習ハ年代ノ如何ニ拘ラサルモノナリヤ若シ年代ニヨリ慣習ヲ異ニスルトセハ道光十三年壬辰(道光十三年ハ癸巳ナルモ賣買文記ハ壬辰トアリ)年中左記賣買文記ニヨリ慶尙北道禮泉郡平恩面凍月寺一山僧侶カ同寺ノ所有ニ屬スル不動産ヲ賣却セル右年代ニ於テモ本末寺ノ關係存シ本寺ノ承認ヲ要セシヤ否ヤ

#### 記

道光十三年十二月二十三日、安東金參判宅奴石孫前明文 右明文段、凍月寺本以一邑單寺、而官家六房奉役之物、各處院堂納之物、本寺所用之物不少、出債無路、如干佛糧田畝年々賣用、而如許殘寺難爲扶持、罷除良、以至大德尊像絕香火之境、蒙佛諸僧莫不揮淚、其於尊佛像奉供之道、莫之奈何、前已所賣田畝、欲爲還土以奉佛殿香火計、而勢出不已、爛熳相議、以寺前烏帽麓空葬之地、果寺內龍虎四山松楸及十里守護之地、盡爲放賣於安東金參判宅、而價折錢文五百兩乙、依數捧上是遺、永々放賣次成文爲去乎、日後寺中諸僧中有雜談是去等、持此文記告官下正事

頭之僧 寬儀  
和 尙 尙 宇  
葉 瞻 察 察



首	三	筆	諸	僧	性
寶	致	守	幸	信	富
富	富	幸	信	富	幸
潤	活	仁	哲	葉	演
				淳	俊

○回 答

一 寺刹令施行以前ニ於テモ古來ノ關係ニ依リ本末寺ノ關係アル場合ニ於テ末寺ノ不動產ヲ他ニ賣却スル場合ニハ其ノ寺ニ在住スル僧侶ノ協議ヲ遂ケ且本寺ノ承認ヲ得サルヘカラサリシコトハ既ニ政務總監ノ回答セラレシ通ニシテ年代ノ如何ニ依リ慣習ヲ異ニスルコトナシ

然レトモ舊時ニ於テハ寺刹ノ本末關係ヲ定ムヘキ法規ナカリシヲ以テ(光武六年管理署ヨリ國內寺刹現行細則ナルモノヲ配布セシモ實行ニ至ラス)所謂山内末寺(主寺刹ト同一山内ニ在ル附屬寺庵)ヲ除キタル他ノ寺刹ニ在リテハ本末ノ關係ヲ有スル

モノ殆トナク各寺刹ハ皆獨立ノ地位ニアリテ已ムヲ得サル事情ニ依リ其ノ寺有ノ不動產ヲ處分スル場合ニ於テモ其ノ寺刹ニ在住スル僧侶ノミノ協議ニヨリテ之ヲ處分スルヲ一般ノ慣習トシ他寺ヨリ之ヲ干涉スルカ如キコトナカリシカ如シ

【三一八】幼少ノ既婚男子死亡ト其ノ次男ノ身分ニ

關スル件

(昭和五年六月四日京城覆審法院民事第三部裁判長照會  
同年七月二十四日朝樞發第三二四號政務總監回答)

○要 旨

- 一 既婚ノ男子年少ニシテ子ナクシテ死亡シ其ノ寡婦他ニ改嫁シタル場合ト雖之ヲ世代ニ數フルヲ原則トス
- 二 亡既婚長男ノ爲養子ヲ爲スコト能ハザル場合ニ限り兄亡弟及ノ法則ニ依リ次男ハ長男ノ身分ヲ取得スルモ其レハ單ニ昭穆ノ關係上已ムヲ得ザルニ出ズルモノニシテ單獨神主ナルガ故ニ非ズ

○照 會

一 朝鮮ニ於テ從來未婚ノ男子死亡シタル場合ニハ其ノ死亡者ハ代數ニ入レサル慣習アリシカ之レト同様既婚ノ男子ナリ



ト雖年少ニシテ且ツ子女ヲ産マスシテ死亡シ其ノ未亡人改嫁シタル場合ニハ獨神主ナシトノ觀念ニ基キ未婚者ト同一ニ取扱フ慣習アリテ其ノ死亡者カ長男ナル場合ハ次男カ長男ノ身分ヲ取得スルヤ否ヤノ慣習

○回 答

一 朝鮮ノ慣習ニ於テハ既婚ノ男子ナルトキハ假令其ノ者カ年少ニシテ且子女ナクシテ死亡シ其ノ未亡人他ニ改嫁シタル場合ニ於テモ之ヲ未婚者ト同一ニ取扱フコトナク死者カ長男ナルトキハ之ヲ一代トシテ其ノ家ノ世代ニ數フルヲ原則トス從ツテ右ノ場合次男アリト雖次男ハ當然長男ノ身分ヲ取得スルモノニ非ス  
只長男ノ爲養子ヲ爲スコト能ハサル場合ニ限り兄亡弟及ノ法則ニ依リ次男ニ於テ長男ノ身分ヲ取得スルモ右ハ昭穆ノ關係上已ムヲ得ス亡長男ヲ未婚者ト同一ニ取扱フモノニシテ單獨神主ナルカ故ニ然ルニ非ス

【三一九】世襲財産ノ處分ニ關スル件

(昭和五年七月十五日大邱地方法院民事第二部照會) 同年八月十九日朝樞發第四四六號中樞院議長同答)

○要 旨

一 國王ヨリ下賜セラレタル内帑金ニテ建築シタル家屋及之ニ依リ買入レタル敷地等ハ之ヲ讓渡其ノ他ノ處分ヲ爲スヲ得ズトノ慣習ナシ

○照 會

一 舊韓國政府時代ニ於テ國王ヨリ下賜セラレタル内帑金ニテ建築セラレタル家屋及買入レタル其ノ敷地等ノ世襲財産ハ其ノ子孫ニ於テ賣買・讓渡・贈與等處分行爲ヲ禁止セラレタル慣習存在スルヤ否ヤ

○回 答

一 舊韓國政府時代ニ於テ國王ヨリ下賜セラレタル内帑金ニテ建築シタル家屋及之ニ依リ買入レタル敷地等ノ不動産ニ付被給者又ハ其ノ子孫ノ賣買・讓渡・贈與等ノ處分行爲ヲ禁止セラレタル慣習ノ存在セシコトヲ聞カス(但隆熙二年六月二十九日勅令第三九號宮内府所轄及慶善宮所屬財産ノ移屬及帝室債務整理ノ件ノ發布ニ因リ帝室有不動産ノ國有ニ歸屬セララルヤ其ノ變革ノ際ニ乘シ之ヲ冒認シテ自己ノ所有ト爲シ其ノ他該不動産ニ對シ不正行爲行ハルル傾向アリタルヲ以テ之カ防遏ノ方法トシテ漢城府ニ交渉シ該勅令發布後ニ在リテハ國有ト認メラルル不動産ニ對シ所有權ノ移轉若クハ典當ノ證明ヲ與ヘサラシメ又各觀察使ニ通牒シ府尹又ハ郡守ニ對シテ之カ取締上必要ナル訓令ヲ發セシメタル事實アリ)



### 【三二〇】宗中又ハ門中ノ代表者又ハ其ノ財産ノ管理

人選定ニ關スル件(昭和五年九月八日法律局長照會  
同 年九月二十三日朝樞發第五六六號中樞院議長回答)

#### ○要 旨

一 宗中又ハ門中ノ代表者又ハ其ノ財産管理人ノ選定ハ一族又ハ一門ノ成年以上ノ男子ヲ招集セル會議ニ於テ出席者過半數ノ決議ニ依テ爲スヲ一般ノ慣習トス

#### ○照 會

一 宗中又ハ門中ノ代表者又ハ其ノ財産管理人ノ選定方法

#### ○回 答

一 宗中又ハ門中ノ代表者又ハ其ノ財産管理人ノ選定方法ハ宗長(通俗ニハ此ノ場合モ尙門長ト稱ス)又ハ門長ニ於テ一族又ハ一門ノ成年以上ノ男子ヲ招集シ會議ヲ開キ出席者過半數ノ決議ニ依リ宗中又ハ門中ヨリ一人若クハ數人ヲ選定スルヲ一般ノ慣習トス

### 【三二一】白痴戸主ノ護後人ニ關スル件

(昭和六年六月十五日大邱覆審法院民事第三部裁判長照會  
同 年八月一日朝樞發第四二三號中樞院議長回答)

#### ○要 旨

一 大正十一年制令第十三號施行以前ニ於テ戸主白痴ニシテ實母及妻其ノ家ニ在リ祖父伯叔父他家ニ在ル場合ハ母祖父其ノ順位ニ依リ護後人ト爲リシモノトス

右ノ場合ニ於テ母護後人タルコト能ハザル場合ハ祖父祖父亦護後人タルコト能ハザル場合ハ實母ノ指定ニ依リ伯叔父中ノ一人又ハ妻護後人ト爲ル實母之ヲ指定スルコト能ハザレバ祖父ノ指定ニ依ル

#### ○照 會

一 朝鮮ニ於テ大正十一年制令第十三號施行以前ニアリテ白痴者タル成年戸主ニ妻、實母、祖父、伯叔父アル場合ニ其ノ中孰レノ者カ護後人(法定代理人)トナル慣習ナリシヤ  
又其順位ニ付テノ慣習ハ如何ナリシヤ



二 右ノ場合先順位者ニ於テ其ノ地位ヲ辭シ得ル慣習アリシヤ若シアリトセハ辭任者ニ於テ任意次順位者中ノ或ル者又ハ他ノ者ヲ護後人ニ指定シ得ル慣習アリシヤ

○ 回 答

一 大正十一年制令第十三號施行以前ニ在リテハ白痴者タル成年戸主ニ祖父・實母・妻・伯叔父等アル場合ニ於テ右戸主ノ護後人(法定代理人)タル者ノ順位ハ此等ノ親族ト戸主トカ家ヲ同フスルト否トニ依リ異レリ即チ左ノ如シ

(1) 實母及妻ノミカ家族ニシテ祖父及伯叔父ハ他家ニ在ル場合ハ母・祖父ノ順位ニ依リ護後人トナル

(2) 祖父ト孫トカ家ヲ同フスル場合ニ於テ孫カ戸主トナルコトハ慣習ノ認メサル所ナルモ若シ事實上孫カ戸主ニシテ祖父及母カ家族タルコトアリトセハ祖父・母ノ順位ニ依リ護後人トナルヘキモノナラン

二 右ノ場合ニ於テ母又ハ祖父ハ親權者又ハ尊長トシテ護後人トナルモノナルヲ以テ已ムヲ得サル事由アル場合ノ外其ノ任務ヲ辭スルコトヲ得サルモノトス而シテ先順位者タル母カ護後人タルコト能ハサル場合ニ於テハ祖父當然護後人トナリ祖父モ亦護後人タルコト能ハサル場合ハ實母ノ指定ニ依リ伯叔父中ノ一人又ハ妻ニ

於テ護後人トナル若シ實母ニ於テ護後人ヲ指定スルコト能ハサル場合ハ祖父ノ指定ニ依リ上記ノ者ノ中一人護後人トナルヲ一般ノ慣習トス

【三二二】宗約所ニ關スル件

(昭和七年五月三十一日京城地方法院民事第二部裁判長照會) 同年六月十五日朝樞發第二六一號中樞院回答

○ 要 旨

- 一 宗約所トハ宗約ニ依リ成レル團體ヲ指稱ス又單ニ宗約ヲ實行スル爲ニ設ケタル事務所ヲ稱スルコトアリ
- 二 宗約所ハ同一始祖ヨリ出デタル男系血族中ノ男子タル約員ヲ以テ成ル約員タルノ資格及入約手續ハ其ノ規約ヲ以テ定ムルヲ通例トス
- 三 宗約所ノ役員ノ種類及之ガ選定方法ハ各其ノ宗約所規約ニ定ムル所ニ依リ一定セル慣習ナシ
- 四 宗約所ノ目的ハ其ノ規約ニ依リ多少ノ差異アルモ大綱ニ於テハ祖先ノ尊崇・宗族ノ團結・親睦・福利ノ増進等ニアリ



五 宗約所ノ規約ト宗中トノ關係ハ其ノ宗約所ノ性質ニ依リテ異リ或ハ之ニ加  
 盟シタル宗人ノミヲ拘束シ或ハ宗中全員ヲ拘束ス  
 規約ノ變更ハ各其ノ規約ノ定ムル所ニ依ルモノナルヲ以テ手續ハ必シモ一様  
 ナラズ

六 宗約所ガ宗中ト別個ノ宗族團體トシテ存在スル場合ニハ宗約所ハ宗中財産  
 ト關係ナク單獨ニテ財産ヲ所有シ然ラザル場合ニハ別ニ財産ヲ所有スルコト  
 ナシ

七 宗中ノ事務所ヲ宗約所ト呼ブモノニアリテハ宗約所ノ長ハ門長ニ該當スル  
 モ然ラザル場合ハ兩者間ニ殆ド關係ナキヲ普通トス

○照 會

- 一 完約所トハ宗中ノ別名ナリヤ或ハ宗中ノ事務所ヲ執ルニ過キササル事務所ナリヤ又宗中トハ別個ノ團體ニ非サルヤ
- 二 宗約所ハ如何ナル會員ヨリ成立スルヤ宗中一同カ當然其ノ會員トナルヤ又ハ別ニ何等カノ資格アル者カ入會ノ手續ニ  
 ヨリ之ニ加入スルモノナリヤ若シ入會スルモノトセハ何人カ之ヲ許可スルヤ
- 三 宗約所ニハ如何ナル役員アリヤ宗中ノ役員カ當然宗約所ノ役員トナルヤ或ハ又別個ノ方法ニテ其ノ役員ヲ選定スルヤ  
 其ノ選定方法、年限等如何
- 四 宗約所ハ如何ナル目的ヲ有スルヤ

五 宗約所ニハ何等カノ規約アリヤ其ノ規約ハ宗中トハ如何ナル關係ニ立ツヤ其ノ規約變更等ニ付キ如何ナル手續ヲ必要  
 トスルヤ

六 宗約所ハ單獨ニテ財産ヲ所有スルヤ若シ所有スルトセハ右ハ宗中ト別個ノ財産ナリヤ又ハ宗中ノ財産ナリヤ

七 宗約長ト門長トハ同一人ナリヤ別人ナリヤ其ノ關係如何

八 金海金氏宗約所ニ關スル參考資料

○回 答

一 宗約所トハ宗約(宗族間ノ契約)ニ依リ成レル團體ノ稱呼ニシテ從來ノ大宗中ヲ變  
 革シ其ノ代身トシテ生レタルモノト宗中(大宗中ノコト以下同シ)ノ外ニ別ニ設立セ  
 ラレタルモノトアリ又單ニ宗中カ宗約ヲ實行スル爲ニ設ケタル事務所ヲ宗約所ト  
 稱スルモノアリ

二 宗約所ハ同一始祖ヨリ出テタル男系血族中ノ男子タル約員ヲ以テ成立ス是レ各  
 宗約所ヲ通シ共通セル點ナリ而シテ約員タルノ資格及入約手續ハ大抵其ノ規約(規  
 則)宗約又ハ宗憲ト稱スルモノアリ以下同シ)ノ定ムル所ニ依ルヲ通例トシ中ニハ年  
 齡ニ制限ヲ附シ十五歳以上若クハ二十歳以上ナルコトヲ要ストスルモノアリ或全  
 ク年齢ニ制限ヲ附セサルモノアリ或上記ノ資格ヲ具備スル者ハ當然約員トナリ得  
 ルトセルモノアリ或上記ノ資格ヲ有スル者ニシテ入約金ヲ納メ入約ヲ出願シタル



者ニ限り約員トストセルモノアリ(上ノ場合ニ於テハ入約出願者ハ其ノ出願ニ依リ當然約員トナリ特ニ許可ヲ與フルカ如キコトナキヲ通例トス)

三 宗約所ノ役員ハ各其ノ宗約所規約ニ依リ之ヲ定ムルモノナルヲ以テ必スシモ一定セス之ヲ例示セハ左ノ如シ

(1) 總裁・副總裁・宗約長・副約長・都有司・副有司・顧問部長・派有司・各郡有司・各面有司・議長・副議長・代議員・常任議員

(2) 約長・副約長・部長・主任・掌財書記・評議長・評議員

(3) 宗約長・副約長・總務部長・部員・議長・議員・顧問

(4) 所長・副所長・所監・書記・掌財會計・評議長・評議員・顧問

(5) 所長・副所長・總務・掌務・幹務・掌財會計・監查・享祀員・別有司・評議員・長評議員・顧問

(6) 議長・副議長・議長・議事員・京議事員・郷議事員・上有司・有司・京有司・郷有司・顧問・幹事

(7) 約長・副約長・總務・京有司・郷有司・會計書記

上述ノ如ク宗約所ノ役員ハ各其ノ規約ニ依リ之ヲ定ムルモノナルヲ以テ宗中ノ役員カ當然宗約所ノ役員トナルコトナシ(事實ニ於テハ宗中ノ役員タリシモノカ宗約所ノ役員トナルコトナキニ非ス)

四 宗約所ノ役員ノ選定方法及其ノ任期モ亦宗約所規約ノ定ムル所ニ依ルヲ以テ必スシモ同一ナラス或ハ總會ニ於テ選舉スルモノアリ或ハ役員會ニ於テ選任スルモノアリ或ハ宗約所ノ長ニ於テ任命スルモノアリト雖概シテ重要ナル役員ハ大抵總會ニ於テ選舉シ然ラサルモノハ役員會又ハ宗約所ノ長ニ於テ任命スルヲ通例トス又役員ノ任期モ二年トスルモノアリ或ハ三年トスルモノアリ或ハ五年トスルモノアリ或ハ役員ノ種類ニ依リ任期ヲ異ニスルモノアリ

五 宗約所ノ目的ハ宗約所規約ニ依リ之ヲ定ムルヲ通例トスルカ故ニ其ノ目的トスル所モ亦多少ノ差異ナキニ非ス然レトモ其ノ大綱ニ至リテハ殆ト同一ニシテ祖先ヲ尊崇シ宗族ヲ團結シ以テ其ノ親睦ヲ圖リ相互間ノ福利ヲ増進スルニ在リ尙上記ノ外教育及禮俗ノ獎勵殖産興業等ヲ以テ從タル目的トスルモノアリ

六 宗約所ニハ大抵規約(規則・宗約・宗憲ト稱スルモノアルコト上記ノ如シ)アリ宗約所ノ規約ト宗中トノ關係ハ其ノ宗約所ノ性質ニ依リ異リ即チ宗約所カ宗中ト別個ノ宗族團體タル場合ニ於テハ宗約所規約ハ唯之ニ加盟シタル宗人ノミヲ拘束シ宗中トハ何等關係ナシ然レトモ宗中カ宗約ヲ實行スル爲ニ設ケタル事務所ヲ宗約所ト稱スルモノニアリテハ其ノ規約ハ即チ宗中ノ規約ナルヲ以テ當然宗中ヲ拘束スヘ



ク又從來ノ宗中ヲ改變シテ宗約所ト爲シタルモノニアリテハ表面上其ノ規約ハ宗中ト關係ナキカ如キモ實際ニ於テハ宗中ト宗約所トハ同一體ナルヲ以テ宗約所規約ハ事實上宗中ヲ拘束スルモノト謂ハサルヘカラス

又規約ノ變更ニ付テハ各其ノ規約ノ定ムル所ニ依リ之ヲ爲スヲ以テ其ノ手續ハ必スシモ一樣ナラス之ヲ例示セハ左ノ如シ

- (1) 代議員會ノ決議ヲ經タル後總裁ノ決裁ニ因リ之ヲ行フ
- (2) 總會ノ決議ニ依リ之ヲ行フ
- (3) 議事會ノ決議ヲ經タル後總會ニ提出シ出席者三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ之ヲ行フ
- (4) 評議員會ヲ經テ總會ニ提出シ出席員ノ過半數ノ同意ヲ得テ之ヲ行フ
- (5) 評議員會ノ決議ヲ經タル後總會ニ提出シ出席員三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ之ヲ行フ

六 宗約所ニハ單獨ニテ財産ヲ有スルモノト然ラサルモノトアリ即チ宗約所カ宗中ト別個ノ宗族團體トシテ存在スルモノニ在リテハ宗約所ハ宗中財産ト關係ナク單獨ニテ財産ヲ所有スルモ然ラサルモノニ在リテハ宗中ト離レテ宗約所カ財産ヲ所

有スルコトナシ故ニ宗約所設立後ニ於テモ墓位士祭位士ノ如キハ今尙宗中財産トシテ宗中ノ代表者ノ名義ト爲シ居ルモノ多シ殊ニ從來ノ宗中ヲ改變シテ宗約所ト爲シタルモノニ在リテハ宗約所設立後ニ於テハ宗中ニハ別ニ執行機關ヲ有セサルニ至リシヲ以テ此等ノ財産ハ宗約所ニ於テ管理シ其ノ收入ヲ以テ祖先ノ祭祀其ノ他宗中ノ共同費用ニ充當スルヲ通例トス尙右ノ外小宗タル各派ニ於テ宗中財産ヲ有スルモノアルモ宗約所トハ何等關係ナシ

七 宗約所ノ長ト門長トハ同一ナルコトアリ或ハ同一ニアラサルコトアリ即チ宗中ノ事務所ヲ宗約所ト呼フモノニアリテハ其ノ宗中ニ於テ年齢行列德望最モ高キ者ヲ以テ宗約所ノ長トスルヲ以テ斯カル宗約所ニ在リテハ宗約所ノ長ハ即チ門長ニ該當スルモノナリ宗約所ト宗中ト各別ニ存在スル場合ニ於テハ宗約所ノ長ト門長トハ各其ノ立場ヲ異ニスルヲ以テ兩者ノ間ニハ殆ト關係ナキヲ普通トス又從來ノ宗中ヲ改變シテ宗約所ト爲シタルモノニ在リテハ宗約所設立後ニ於テハ宗約所ノ長ハ宗約所規約ノ定ムル所ニ依リ其ノ宗約所(從來ノ宗中)ヲ代表シ一切ノ宗事ヲ處理スルヲ以テ別ニ門長ヲ置カサルヲ通例トス

八 金海金氏宗約所ニ關スル參考資料ナシ



### 【三三三】 祠院ノ人格代表ニ關スル件

(昭和七年五月三十一日學務局長照會  
同年六月三十日朝樞第二七七號中樞院書記官長回答)

#### ○要旨

- 一 祠宇及書院ノ代表者ノ選任方法ニ付テハ其ノ祠宇又ハ書院ニ關係アル儒林ニ於テ選定推戴シ或ハ儒林ノ推薦ニ依リ所轄郡守又ハ府尹ニ於テ任命スルモノアリ一定セズ
- 二 祠宇及書院ノ代表者タル者ノ權限ハ普通事務ニ就テハ之ヲ專行シ重要事務ニ就テハ關係儒林ノ同意ヲ得テ之ヲ爲スヲ普通トス

#### ○照會

一 朝鮮ニ於テ從來特ニ存置ヲ認許セラレタル祠宇及書院ハ民法施行法第二十八條ニ依リ當然法人タルモノト認メラルルニ付テハ之カ代表選任ニ關スル慣習アラハ其方法及權限承知致度何分ノ回答相成タシ

#### ○回答

一 祠宇及書院ノ代表者タル齋長又ハ院長ノ選任方法ニ付テハ慣習ノ一定セルモノ

ナク其ノ祠宇又ハ書院ニ關係アル儒林ニ於テ之ヲ選定推戴スルモノアリ或ハ儒林ノ推薦ニ依リ所轄郡守(府尹)ニ於テ之ヲ任命スルモノアリ

祠宇及書院ノ代表者タル齋長又ハ院長ノ權限ニ就テハ祠宇又ハ書院ニ依リ必スシモ同一ナラスト雖普通齋長又ニ院長ハ部下ノ職員ヲ指揮監督シ普通ノ事務ニ付テハ之ヲ專行シ動産又ハ不動産ノ得喪變更ヲ目的トスル法律行爲又ハ訴訟行爲ヲ爲ス等重要ナル事務ニ就テハ關係儒林ノ同意ヲ得テ之ヲ爲スヲ普通トス

### 【三三四】 相續人ナキ遺産ノ歸屬ニ關スル件

(昭和八年九月七日法務局長照會  
同年同月二十七日朝樞第三七八號中樞院議長回答)

#### ○要旨

- 一 相續人タルベキ直系卑屬ナキ死者ノ遺産ハ(一)父(二)母(三)兄弟姉妹(四)姪姪女(五)從孫從孫女(六)祖父(七)祖母(八)伯叔父姑(九)從兄弟從姉妹其ノ順序ニ依リ之ヲ承繼ス同一順位ニ在ル者二人以上アルトキハ均一ノ割合ヲ以テ共同シテ承繼スルモノトス但シ主祭者ニハ祭祀料トシテ相當ノ加給ヲ爲スベキモノトス



二 寡婦が相続ニ因り取得セシ亡夫ノ遺産ハ寡婦死亡シ亡夫ニ後嗣ナキトキハ  
亡夫ノ本族前項ノ順序ニ依リ之ヲ承繼スルモノトス

○照 會

一 相續人ナキ死者ノ遺産ニシテ近親アルトキハ之ニ歸屬スヘキ慣習ナル處家ヲ異ニスル近親ニシテ卑屬尊屬各數人在ル  
場合又ハ亡夫ノ父母ト實父母ノ如ク同親等ノ近親アル場合ニ於ケル遺産ノ歸屬者若ハ之ヲ定ムル慣習  
参照

本件ノ實際問題ハ左ノ如シ

甲女ハ乙男ト婚姻後乙男ノ分家ニ隨ヒテ其ノ家ニ入り乙男ノ死亡ニ因リ戸主相續及財産相續ヲ爲シタルモ相續人ナ  
クシテ死亡シ三年ヲ經テ乙男ノ立テタル家ハ絶家ト爲レリ甲女ノ近親トシテ乙男ノ本家戸主、乙男ノ實父母、甲女  
ノ實父各家ヲ異ニシテ在リ甲女ノ遺産ハ何人ニ歸屬スヘキヤ

○回 答

一 相續人タルベキ直系卑屬ナキ死者ノ遺産ハ(一)父(二)母(三)兄弟姉妹(四)姪姪女(五)從孫  
從孫女(六)祖父(七)祖母(八)伯叔父姑(九)從兄弟從姉妹其ノ順序ニ依リ之ヲ承繼ス同一順  
位ニ在ル者二人以上アルトキハ均一ノ割合ヲ以テ共同シテ承繼スルモノトス但シ  
主祭者ニハ祭祀料トシテ相當ノ加給ヲ爲スベキモノトス

二 寡婦カ相續ニ因リ取得セシ亡夫ノ遺産ハ寡婦死亡シ亡夫ニ後嗣ナキトキハ亡夫

ノ本族前項ノ順序ニ依リ之ヲ承繼スルモノトス  
理 由

相續人タルベキ直系卑屬ナキ死者ノ遺産ノ歸屬ニ關シテハ從來一般ニ經國大典若  
ハ續大典ノ規定スル所ニ準據セシモノニシテ、斯ル遺産ハ家籍ノ同異ヲ問ハズ、死者  
ノ近親ニ歸屬スルモノナルコトハ論ナキ所ナリ(大正五年三月二日京城地方法院照會。而シテ其ノ  
同 年四月六月書記官長回答)而シテ其ノ  
近親ノ範圍ニ付テハ(續大典)刑典私賤條ニ「班耐人奴婢先給主祭者五分之一、無過十口、  
餘給使孫」トアリ。即チ子女ナキ死者ノ遺産ハ先ヅ祭祀ヲ行フ者ニ相當ノ祭祀料ヲ給  
シ餘ハ使孫ニ給スル趣旨タリ。而シテ所謂使孫トハ死者ノ父ヨリ出デタル(一)兄弟姉  
妹(二)姪姪女(三)從孫從孫女竝祖父ヨリ出デタル(四)伯叔父姑(五)從兄弟從姉妹ノ傍系血  
族ヲ指摘スルモノニシテ、其ガ遺産承繼ノ順位モ亦此ノ序位ニ依リ、同一順位ニ在ル  
モノ數人ナルトキハ男女ヲ問ハズ、均一ノ割合ヲ以テ共同シテ承繼スルモノナリ。父  
母及祖父母ハ所謂使孫ニ屬セザルモ、使孫ガ遺産ヲ承繼シ得ルハ父祖ヲ一ニスルニ  
由來スルモノナレバ、父母又ハ祖父母生存セルトキハ夫々其ノ卑屬ニ優先シテ遺産  
ヲ承繼スルモノト解スベク、慣習亦然ルガ故ニ、父母ハ最先ニ祖父母ハ從孫從孫女ニ  
次デ、遺産ヲ承繼スル順位ニ在ルモノト爲スベキナリ。



前述使孫ハ死者ノ本族ニ付テ謂フモノナルガ故ニ、本問ニ於ケル甲女ノ如キ寡婦ニ付テハ實方ノ親族タルコトヲ要シ夫方ノ親族ハ之ニ該ラズ。從テ其ノ近親ガ亡夫タル乙男ノ本家戸主、乙男ノ實父母、甲女ノ實父ノミナルトキハ、其ノ家籍ノ如何ヲ問ハズ、甲女ノ遺産ハ其ノ實父ニ歸屬スルモノト謂フベシ。然レドモ其ハ甲女固有ノ遺産ニ付テ謂ヘルノミ。若シ甲女ノ遺産ト稱スルモノノ中ニ亡夫乙男ノ遺産ヲ包含セルニ於テハ其ノ歸屬ヲ異ニセザルヲ得ズ。

現今ニ於テハ本問ニ言ヘルガ如ク、甲女ハ相續ニ因リ亡夫ノ遺産ヲ承繼シタリト認めラルルガ如キモ、從前ノ慣習ハ然ラズ。(經國大典)刑典私賤條ニ「無子女夫妻奴婢、雖無傳係、生存者區處、本族外不得與他」ト註セルガ如ク、生存配偶者ハ死者ノ遺産ニ付管理處分ノ權ヲ有スルモ、依然死者ノ遺産トシテ存シ、死者ノ本族外ノ者ニ與フルコトヲ許サザリシモノニシテ、此ノ點ニ於テハ慣習ノ變更ヲ認め難キヲ以テ、亡夫ノ遺産ガ一旦遺妻ノ有ニ歸スルモノト觀ルト否トニ拘ラズ、遺妻死亡シテ亡夫ノ後ナキトキハ、亡夫ニ屬セシ財産ハ前述ノ法則ニ從ヒ亡夫ノ本族ニ歸屬スルノ慣習ナリト解スルヲ相當ト認ム。仍現今ニ於テハ往々遺妻固有ノ財産モ夫方ノ本族ニ歸屬セシムルモノアリ、輕視スベカラザル傾向ナリト認ム。



附錄

舊慣及制度調查委員會決議



# 舊慣及制度調査委員會決議目次

## 第一 親族ニ關スル事項

- 一 親族ノ名稱……………一
- 二 親族ノ範圍……………六
- 三 親等ノ計算……………九
- 四 準親子及出母・嫁母ト實子……………九
  - (一) 準親子……………九
  - (二) 出母・嫁母ト實子……………九
- 五 戸主及家族……………一

## 第二 婚姻ニ關スル事項

- 一 婚姻ノ年齢……………二
- 二 通婚ノ制限……………三
- 三 婚姻ノ方式……………七



二

四	婚姻ノ効力	一八
五	離婚	一九
六	配偶ノ死亡ニ因ル親族關係ノ異動	二〇
七	招婿	二〇
八	婚姻ト姓トノ關係	二一

第三 養子ニ關スル事項

一	養子ノ種類	二一
(一)	養父生前ノ養子	二一
(二)	養父死後ノ養子	二二
(三)	次養子	二二
二	縁組ノ要件	二三
(一)	養親ニ付テノ要件	二三
(二)	養子ニ付テノ要件	二四
三	縁組ノ方式	二六
(一)	養子ノ選定	二七

(一)	實家ノ承諾	二八
(二)	縁組ノ儀式	二八
四	縁組ノ効力	二九
五	離縁	三〇

第四 家ニ關スル事項

一	戸主權	三一
二	家族ノ特有財産	三三
三	分家	三三
四	廢家	三四
五	絶家	三五
六	子ノ入ルベキ家	三六

第五 親子ニ關スル事項

一	實子ノ種別	三六
(一)	嫡子	三六
(二)	庶子	三七



四

- (三) 私生子……………三七
- 二 子ノ認知及否認……………三七
- 三 親權……………三八
- 第六 親族會ニ關スル事項……………三九
- 第七 扶養ニ關スル事項……………四〇
- 第八 相續ニ關スル事項
  - 一 相續ノ種類……………四二
    - (一) 祭祀相續……………四三
    - (二) 戶主相續……………四四
    - (三) 財産相續……………四六
  - 二 相續ノ開始……………四七
    - (一) 祭祀相續ノ開始……………四七
    - (二) 戶主相續ノ開始……………四九
    - (三) 財産相續ノ開始……………五三
- [參 照]……………五七

## 舊慣及制度調査委員會決議

### 第一 親族ニ關スル事項 (大正十年八月六日決議)

#### 一 親族ノ名稱

朝鮮ニ於テ現今最モ普通ニ使用シ慣習上ノ親族名稱ト認ムベキモノヲ舉グレバ左ノ如シ

親 族 名 稱	親 族 關 係
父	實父・養父
母	實母・養母・繼母・嫡母
祖父	父ノ父
祖母	父ノ母
曾祖父	祖父ノ父
曾祖母	祖父ノ母
高祖父	曾祖父ノ父



高祖母  
夫  
妻  
子  
女  
子婦  
孫  
孫女  
孫婦  
曾孫  
曾孫女  
長曾孫婦  
玄孫  
玄孫女  
長玄孫婦

兄弟  
姊妹  
姪  
姪女  
姪婦  
從孫  
從孫女  
從孫婦  
從曾孫  
從曾孫女  
伯叔父  
伯叔母  
姑  
從兄弟  
從姊妹

曾祖父ノ母

男子(實子・養子・夫ノ先妻ノ子・庶子)  
女子(實子・夫ノ先妻ノ子・庶子)  
子ノ妻  
子ノ男  
子ノ女  
孫ノ妻  
孫ノ男  
孫ノ女  
長曾孫ノ妻  
曾孫ノ男  
曾孫ノ女  
長玄孫ノ妻

同父兄弟  
同父姊妹  
同父兄弟ノ男  
同父兄弟ノ女  
姪ノ妻  
姪ノ男  
姪ノ女  
從孫ノ妻  
從孫ノ男  
從孫ノ女  
父ノ同父兄弟  
伯叔父ノ妻  
父ノ同父姊妹  
伯叔父ノ男  
伯叔父ノ女



從姪  
從姪女  
從姪婦  
再從孫  
再從孫女  
從祖父  
從祖母  
大姑  
從伯叔父  
從伯叔母  
從姑  
再從兄弟  
再從姊妹  
再從姪  
再從姪女

從會祖父  
從會祖母  
會大姑  
再從祖父  
再從祖母  
再從大姑  
再從伯叔父  
再從伯叔母  
再從姑  
三從兄弟  
三從姊妹  
外祖父  
外祖母  
外叔父  
外叔母

從兄弟ノ男  
從兄弟ノ女  
從姪ノ妻  
從姪ノ男  
從姪ノ女  
祖父ノ同父兄弟  
從祖父ノ妻  
祖父ノ同父姊妹  
從祖父ノ男  
從伯叔父ノ妻  
從伯叔父ノ女  
再從兄弟ノ男  
再從兄弟ノ女  
再從兄弟ノ女

會祖父ノ同父兄弟  
從會祖父ノ妻  
會祖父ノ同父姊妹  
從會祖父ノ男  
再從祖父ノ妻  
從會祖父ノ女  
再從祖父ノ男  
再從伯叔父ノ妻  
再從祖父ノ女  
再從伯叔父ノ男  
再從伯叔父ノ女  
再從伯叔父ノ女  
再從伯叔父ノ女  
母ノ父  
母ノ母  
母ノ同父兄弟  
外叔父ノ妻



姨母  
 外從兄弟  
 外從姊妹  
 姨從兄弟  
 姨從姊妹  
 女婿  
 外孫  
 外孫女  
 外孫婦  
 甥姪  
 甥姪女  
 甥姪婦  
 內從兄弟  
 內從姊妹

二 親族ノ範圍

母ノ同父姊妹  
 外叔父ノ男  
 外叔父ノ女  
 姨母ノ男  
 姨母ノ女  
 女ノ夫  
 女ノ男  
 女ノ女  
 外孫ノ妻  
 姊妹ノ男  
 姊妹ノ女  
 甥姪ノ妻  
 姑ノ男  
 姑ノ女

朝鮮ニ於テ親族ト稱スルモノノ範圍ハ甚ダ廣汎ナリト雖其ノ中ニ就キ特ニ有服ノ親族ヲ以テ近親トセリ故ニ之ヲ以テ法令ニ親族ト稱スルモノノ範圍ト看做スノ外ナシ慣習上ノ有服親族左ノ如シ

- |          |          |           |          |
|----------|----------|-----------|----------|
| (一)父     | (二)母     | (三)祖父     | (四)祖母    |
| (五)曾祖父   | (六)曾祖母   | (七)高祖父    | (八)高祖母   |
| (九)夫     | (一〇)妻    | (一一)子     | (一二)女    |
| (一三)子婦   | (一四)孫    | (一五)孫女    | (一六)孫婦   |
| (一七)曾孫   | (一八)曾孫女  | (一九)長曾孫婦  | (二〇)玄孫   |
| (二一)玄孫女  | (二二)長玄孫婦 | (二三)兄弟    | (二四)姊妹   |
| (二五)兄弟ノ妻 | (二六)姪    | (二七)姪女    | (二八)姪婦   |
| (二九)從孫   | (三〇)從孫女  | (三一)從孫婦   | (三二)從曾孫  |
| (三三)從曾孫女 | (三四)伯叔父  | (三五)伯叔母   | (三六)姑    |
| (三七)從兄弟  | (三八)從姊妹  | (三九)從兄弟ノ妻 | (四〇)從姪   |
| (四一)從姪女  | (四二)從姪婦  | (四三)再從孫   | (四四)再從孫女 |
| (四五)從祖父  | (四六)從祖母  | (四七)大姑    | (四八)從伯叔父 |



- |            |            |            |            |
|------------|------------|------------|------------|
| (四) 從伯叔母   | (五) 從姑     | (五) 再從兄弟   | (五) 再從姊妹   |
| (五) 再從姪    | (五) 再從姪女   | (五) 從曾祖父   | (五) 從曾祖母   |
| (五) 曾大姑    | (五) 再從祖父   | (五) 再從祖母   | (六) 再從大姑   |
| (六) 再從伯叔父  | (六) 再從伯叔母  | (六) 再從姑    | (六) 再從兄弟   |
| (六) 三從姊妹   | (六) 外祖父    | (六) 外祖母    | (六) 三從兄弟   |
| (六) 外叔母    | (七) 姨母     | (七) 外從兄弟   | (六) 外叔父    |
| (七) 姨從兄弟   | (七) 姨從姊妹   | (七) 女婿     | (七) 外從姊妹   |
| (七) 外孫女    | (七) 外孫婦    | (七) 甥姪     | (七) 外孫     |
| (八) 甥姪婦    | (八) 內從兄弟   | (八) 內從姊妹   | (八) 甥姪女    |
| (八) 妻ノ母    | (八) 夫ノ父    | (八) 夫ノ母    | (八) 妻ノ父    |
| (八) 夫ノ祖母   | (九) 夫ノ曾祖父  | (九) 夫ノ曾祖母  | (八) 夫ノ祖父   |
| (九) 夫ノ高祖母  | (九) 夫ノ兄弟   | (九) 夫ノ姊妹   | (九) 夫ノ高祖父  |
| (九) 夫ノ姪    | (九) 夫ノ姪女   | (九) 夫ノ姪婦   | (九) 夫ノ兄弟ノ妻 |
| (一〇) 夫ノ從孫女 | (一〇) 夫ノ從孫婦 | (一〇) 夫ノ從曾孫 | (一〇) 夫ノ從孫  |
| (一〇) 夫ノ伯叔父 | (一〇) 夫ノ伯叔母 | (一〇) 夫ノ姑   | (一〇) 夫ノ從兄弟 |

- |            |              |             |             |
|------------|--------------|-------------|-------------|
| (一〇) 夫ノ從姊妹 | (一〇) 夫ノ從兄弟ノ妻 | (一一) 夫ノ從姪   | (一二) 夫ノ從姪女  |
| (一一) 夫ノ從姪婦 | (一二) 夫ノ再從孫   | (一二) 夫ノ再從孫女 | (一二) 夫ノ從祖父  |
| (一二) 夫ノ從祖母 | (一二) 夫ノ大姑    | (一二) 夫ノ從伯叔父 | (一三) 夫ノ從伯叔母 |
| (一二) 夫ノ從姑  | (一三) 夫ノ再從姪   | (一三) 夫ノ再從姪女 | (一四) 夫ノ外祖父  |
| (一三) 夫ノ外祖母 | (一四) 夫ノ外叔父   | (一四) 夫ノ姨母   |             |

三 親等ノ計算

朝鮮ノ慣習ニテハ親等ヲ計算スルニハ自己ヲ中心トシ直系ニ在リテハ自己ノ出デタル者ハ順次之ニ遡リ自己ヨリ出デタル者ハ順次之ヲ降リテ計算シ傍系ニ在リテハ同父祖ニ遡リ更ニ其ノ者ニ降リテ計算ス而シテ親等ノ稱呼ハ直系ニ在リテハ世又ハ代ヲ以テシ傍系ニ在リテハ寸ヲ以テシ共ニ一世ヲ一親等トセリ

四 準親子及出母嫁母ト實子

(一) 準 親 子

朝鮮ニ於テハ實親子ニ非ズシテ慣習上親子ト看做スモノ三アリ一ハ養親ト養子ニシテ二ハ繼母ト先妻ノ子、三ハ嫡母ト庶子はナリ

(イ) 養親ト養子



養子ヲ爲スコトヲ得ル者ハ男ニ限ルヲ以テ養親トナル者ハ常ニ男ナリ又死後ニ於テ養子ヲ爲スコトヲ認ムルヲ以テ養親トナル者ガ死者ナルコトアリ而シテ養子トナルコトヲ得ル者ハ男ニ限ルヲ以テ女ノ養子アルコトナシ  
養子ハ養親ニ對シ嫡子タル身分ヲ取得シ養親ノ妻ト養子トノ間ニハ母子ノ關係ヲ生ズ

従前ニ在リテハ收養子ナルモノヲ認メ棄兒其ノ他父母ノ不明ナル幼兒ヲ養育スル爲其ノ家籍ニ入ルルコトヲ許セシモ現今ニ於テハ之ヲ許サズ唯ダ從來收養子タリシ者ニ限り其ノ儘家籍ニ存スルコトトセリ而シテ收養子ハ收養父ノ姓ヲ稱スルモ收養父及其ノ妻ト收養子トノ間ニハ親子ノ關係ヲ認メズ

(ロ) 繼母ト先妻ノ子

繼母ハ先妻ノ子ニ對スル後妻ノ稱ニシテ繼母ト先妻ノ子トハ之ヲ母子ト看做シ單ニ母子ト呼ビ繼母子ノ稱ヲ用ヒズ又養子ト養父ノ後妻トノ間ニモ等シク繼母子ノ關係ヲ生ズ

(ハ) 嫡母ト庶子

妻ノ所生ニ非ザル子ハ之ヲ庶子ト稱シ庶子ヨリ見テ父ノ妻ヲ嫡母ト稱ス而シテ嫡母

ト庶子トハ之ヲ母子ト看做シ呼ブニ母子ヲ以テシ敢テ嫡母庶子ノ稱ヲ用ヒズ又嫡母ト庶子トヲ親子ト認ムル慣習ハ同一家籍ニ在ルト否トヲ問フコトナシ

(二) 出母・嫁母ト實子

朝鮮ニ於テハ夫ニ離婚セラレ其ノ家ヲ出デタル妻ヲ其ノ實子ヨリ見テ出母ト稱シ又夫ノ死後再嫁シタル妻ヲ其ノ實子ヨリ見テ嫁母ト稱ス而シテ出母又ハ嫁母ト子トノ間ニハ親子ノ情誼ヲ絶ツコトナシト雖倫義ヲ重ズル結果母子ノ關係存セザルモノト看做セリ

五 戸主及家族

朝鮮ノ慣習ニテハ家ヲ認メ人ハ必ズ家ニ屬スベキモノトシ家ニハ戸主アリ戸主以外ノ者ヲ家族トセリ

戸主ハ男ナルヲ通例トスルモ戸主トナルベキ男ナキ場合ニハ女ノ戸主タルコトアリ而シテ女戸主ノ入夫婚姻ヲ認メザルヲ以テ女戸主ノ入夫ガ戸主トナル場合アルコトナシ又戸主ノ隱居ヲ認メザルヲ以テ子ガ戸主ニシテ父ガ家族タリ女ガ戸主ニシテ母ガ家族タリ子婦ガ戸主ニシテ夫ノ母ガ家族タル場合アルコトナシ  
家族ノ範圍ハ男戸主ノ場合ニ在リテハ戸主ヲ中心トシテ其ノ直系女尊屬妻直系卑屬



及其ノ妻傍系血族ニシテ未ダ出嫁セズ又ハ分家ヲ爲サザル者其ノ妻及直系卑屬ヲ包含シ女戸主ノ場合ニ在リテハ直系卑屬タル女直系卑屬ノ寡婦傍系血族ニシテ未ダ出嫁セズ又ハ分家ヲ爲サザル者其ノ妻及直系卑屬ヲ包含ス

右ノ外民法ニ於テ入家ヲ認メ戸主ハ其ノ親族又ハ家族ノ親族ヲ自己ノ家籍ニ入ラシムルコトヲ得ルヲ以テ戸主又ハ家族ノ親族ニシテ其ノ家ニ在ル者ハ亦家族ナリトス

收養子及妾ハ従前之ヲ家族ニ加ヘシモ現今ニ於テハ收養子及妾ヲ認メザルヲ以テ新ニ家族ニ加フルコトヲ許サズ唯ダ從來家族タリシ者ハ其ノ儘家族トシテ其ノ家籍ニ在リ

又隆熙三年四月民法施行以來附籍ナルモノヲ認メ一家ノ国籍ニ他ノ家族ノ国籍ヲ附屬セシムルコトトセリ但シ現今ニ於テハ成ルベク附籍ヲ許サザルコトトセリ

### 第二 婚姻ニ關スル事項 (大正十年八月六日及十七日決議)

#### 一 婚姻ノ年齡

婚姻ノ年齡ニ付テハ慣習上定限ナク唯ダ實際ニ於テ十歳以上ニ非ザレバ婚姻ヲ爲サ

ザルヲ普通トスルノミ朝鮮代ニ於ケル法令ノ規定トシテハ經國大典ニ男子十五歳女子十四歳ヲ許婚年齡トシ此ノ規定ハ輒近大典會通編成ノ際ニモ之ヲ改メザリシガ實際ニ於テハ之ヲ嚴行シタル形跡ナク殊ニ中流以上ノ家ニ在リテハ早婚ヲ競ヒ十五歳以下ノ男子ヲシテ婚姻ヲ爲サシムル者多ク法ノ制限ハ全ク空文ニ屬シタリ其ノ後開國五百三年ニ至リ早婚ノ弊ヲ防グ爲許婚年齡ヲ定メ男子二十歳女子十六歳トセシモ行ハレズ隆熙元年ニ至リ更ニ男滿十七年女滿十五年已上ニシテ始メテ嫁娶ヲ許スコトトセシモ一般ニ周知セラレズ之ニ違背シタル婚姻ヲ無効トシタル例ナシ然ルニ併合ノ後大正四年ニ至リ男滿十七歳以上女滿十五歳以上ノ婚姻ニ非ザレバ国籍届ヲ受理スベカラザル旨ノ通牒ヲ發シ其ノ年齡ニ達セザル者ハ實際婚姻ヲ爲スモ其ノ入籍ヲ許サズ又其ノ間ニ生レタル子ハ庶子トシテ国籍ニ入録スルコトトセシモ慣習ハ依然トシテ改マラズ高等法院ニ於テモ先年年齡ニ制限ナシトスル趣旨ノ判決ヲ爲シタルコトアルノミニシテ爾後慣習ガ實際ノ取扱ノ如ク改マリシコトヲ認メタル判例ヲ出サズ

#### 二 通婚ノ制限

朝鮮ニ於テ慣習上通婚ヲ許サザル場合左ノ如シ



(一) 重

婚

配偶者アル者ハ重ネテ婚姻ヲ爲スコトヲ得ズ縱令婚姻ヲ爲スモ無効ナリ

(二) 姦通者間ノ婚姻

妻ガ姦通ニ因リ離婚セラレ又ハ刑ニ處セラレタルトキハ其ノ者ト相姦者トハ婚姻ヲ爲スコトヲ得ズ縱令婚姻ヲ爲スモ無効ナリ

(三) 血・姻間ノ婚姻

朝鮮ニ於テハ男系ノ血族間ニハ婚姻ヲ許サズ又或範圍ノ血族・姻族及姻族ノ血族トノ間ニモ婚姻ヲ許サズ此等ノ者ノ間ニハ婚姻ヲ爲スモ無効ナリ  
慣習上通婚ヲ許サザル血・姻左ノ如シ

男系血族

男系外ノ直系血族

直系姻族

異父姉妹ト異父兄弟

姨母ト姨姪

外從姉妹ト内從兄弟

姨從姉妹ト姨從兄弟

母ノ從姉妹ト從姉妹ノ子

母ノ内從姉妹ト外從姉妹ノ子

母ノ外從姉妹ト内從姉妹ノ子

母ノ姨從姉妹ト姨從姉妹ノ子

母ノ外從姑ト從姉妹ノ外孫

父ノ外從姉妹ト内從姪

父ノ姨從姉妹ト姨從姪

父ノ外從姑ト從姉妹ノ孫

甥姪女ト外叔父

從姉妹ノ女ト外從叔父

内從姉妹ト外從兄弟

大姑ノ女ト外從姪

兄弟ノ妻ト夫ノ兄弟

異父兄弟ノ妻ト夫ノ異父兄弟



姪婦ト夫ノ伯叔父

從孫婦ト夫ノ從祖父

從曾孫婦ト夫ノ從曾祖父

伯叔母ト夫ノ姪

從兄弟ノ妻ト夫ノ從兄弟

從姪婦ト夫ノ從伯叔父

再從孫婦ト夫ノ再從祖父

從祖母ト夫ノ從孫

從伯叔母ト夫ノ從姪

再從兄弟ノ妻ト夫ノ再從兄弟

再從姪婦ト夫ノ再從伯叔父

從曾祖母ト夫ノ從曾孫

再從祖母ト夫ノ再從孫

再從伯叔母ト夫ノ再從姪

三從兄弟ノ妻ト夫ノ三從兄弟

從高祖母ト夫ノ從玄孫

再從曾祖母ト夫ノ再從曾孫

三從祖母ト夫ノ三從孫

三從伯叔母ト夫ノ三從姪

四從兄弟ノ妻ト夫ノ四從兄弟

外叔母ト夫ノ甥姪

外從兄弟ノ妻ト夫ノ內從兄弟

姨從兄弟ノ妻ト夫ノ姨從兄弟

甥姪婦ト夫ノ外叔父

內從兄弟ノ妻ト夫ノ外從兄弟

子婦ノ姉妹ト姉妹ノ夫ノ父

女婿ノ姉妹ト兄弟ノ妻ノ父

孫婦ノ姉妹ト姉妹ノ夫ノ祖父

三 婚姻ノ方式

朝鮮ノ慣習ニテハ婚姻ヲ爲スニハ男女兩家ニ於テ先ヅ主婚者ヲ定ム主婚者ハ祖父在



ラバ祖父之ニ當リ祖父在ラザルトキハ父之ニ當ルベキモノナルモ祖父・父共ニ在ラザルトキハ兄之ニ當リ此等ノ者皆在ラザルトキハ伯叔父之ニ當リ伯叔父亦在ラザルトキハ近親タル男尊屬之ニ當ルモノトス而シテ婚姻ハ主婚者ノ間ニ決定セラレ本人相互ニ意思ノ表示ヲ爲スコトナシ然レドモ伯叔父其ノ他ノ近親ガ主婚者トナル場合ニハ若シ母又ハ祖母アルトキハ實際婚姻ヲ決定スル者ハ母又ハ祖母ニシテ主婚者ハ唯ダ表面其ノ衝ニ當ルノミ又兄ガ主婚者タル場合ニ於テモ母・祖母等ノ意思ニ反シテ婚姻ヲ決定スルコトナシ

婚姻ノ儀式ハ女家ニ於テ行ヒ番禮ヲ以テ婚姻成立ノ證ト爲ス番ハ匏ヲ割リテ作りタル酒杯ニシテ男女各其ノ一ヲ執リテ式酒ヲ飲ム故ニ之ヲ合番ト稱ス然レドモ近來ニ於テハ必ズシモ番ヲ用ヒズ普通ノ酒盃ヲ以テ之ニ代用スルコトアリ而モ尙ホ其ノ名稱ハ改マラズ

右ノ外近年宗教上ノ儀式ニ依リテ婚禮ヲ行フ者アリ慣習上婚姻ノ儀式トシテ之ヲ有效ト認ム

#### 四 婚姻ノ效力

朝鮮ニ於テ慣習上認ムル婚姻ノ效力左ノ如シ

- 一 當事者ノ間ニ夫妻ノ關係ヲ生ズ
- 二 普通ノ婚姻ニ在リテハ妻ハ夫ノ家ニ入り招婚ニ在リテハ夫ハ妻ノ家ニ入ル
- 三 夫ハ妻ノ一族トノ間ニ妻ハ夫ノ一族トノ間ニ或範圍内ニ於テ親族關係ヲ生ズ  
(親族ノ範圍參照)
- 四 妻ハ行爲能力ニ制限ヲ受ケ又營業ヲ爲スニハ夫ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス
- 五 妻ノ居所ハ夫ノ指定ニ從フコトヲ要ス
- 六 婚姻後ノ生活費用ハ夫之ヲ負擔ス
- 七 夫ハ妻ノ財産ヲ管理シ其ノ使用收益ヲ爲スコトヲ得然レドモ夫ハ妻ノ承諾アルニ非ザレバ妻ノ財産ヲ處分スルコトヲ得ズ
- 八 日常ノ家事ニ付テハ妻ノ爲シタル行爲ハ夫ニ對シテ效力ヲ生ズ
- 九 夫妻ハ互ニ同居ヲ爲ス義務アリ
- 十 夫妻ハ互ニ扶養ヲ爲ス義務アリ

#### 五 離 婚

朝鮮ノ慣習ニテハ離婚ハ主トシテ妻ヲ離出スル場合ヲ認メ夫妻ノ協議ニ因ル離婚ニ付テハ稍ヤ明確ヲ缺クト雖敢テ之ヲ認メザルニ非ズ而シテ協議上ノ離婚ニハ父母ノ



同意ヲ要シ父母ナキトキハ祖父母ノ同意ヲ要スルモノトセリ  
 夫妻ノ一方ノ意思ニ依ル離婚ニ付テハ從前ニ在リテハ一定ノ原因ニ依リ夫ノ意思ヲ以テ妻ヲ離婚スルコトヲ認メシモ妻ヨリ夫ニ對シ離婚ヲ求ムルコトヲ許サズ唯ダ近年ニ至リ離婚ノ訴ヲ提起スル者往々ニシテアリ裁判所ニ於テモ相當ノ理由アル場合ハ其ノ要求ヲ是認シ裁判ヲ以テ離婚ヲ宣告スルコトトセリ一般ノ觀念ニ於テハ妻ニ盜癖アリ重婚又ハ姦通ヲ爲シ或ハ逃亡シ祖父母父母等夫ノ直系尊屬ニ對シ不孝ノ所爲アリタル場合ノ如キハ夫ヨリ離婚ヲ爲スコトヲ得ルモノトシ夫ガ妻ヲ遺棄シ妻ノ直系尊屬ニ對シ甚シキ虐待又ハ侮辱ヲ加ヘタル場合ノ如キハ妻ヨリ離婚ヲ求ムルコトヲ得ルモノトセリ而シテ父母祖父母等ノ同意ヲ必要トスルコト協議離婚ノ場合ニ同ジ

六 配偶ノ死亡ニ因ル親族關係ノ異動

朝鮮ノ慣習ニテハ夫ノ死亡ニ因リ妻ト夫ノ一族トノ親族關係ニ異動ヲ生ズルコトナシ然レドモ妻ガ再嫁シタルトキハ其ノ親族關係ハ消滅ス又妻ノ死亡ハ夫ト妻ノ一族トノ親族關係ニ影響ナシ

七 招 婿

朝鮮ニ於テハ嫁娶ヲ婚姻ノ本旨トシ婚姻ニ因リテ妻ガ夫ノ家ニ入ルヲ通例トスルモ夫ガ妻ノ家ニ入ルコトナシトセズ一般ニ之ヲ卑シミ女子ノミ在ル下流ノ家ニ於テ稀ニ見ル事例ニ過ギズト雖慣習ノ認ムル所ニシテ之ヲ招婿ト稱ス

八 婚姻ト姓トノ關係

朝鮮人ハ皆姓ヲ稱ス而シテ各人ノ姓ハ父ノ姓ニ依リテ定マリ終生變更スルコトナシ唯ダ他人ニ收養セラレ收養者ノ姓ヲ稱スル者ハ父判明セバ本姓ニ復スルノミ此ノ如ク姓ハ終生變更セザルモノナルヲ以テ婚姻ニ因リ他家ニ入ルモ敢テ姓ヲ變更スルコトナク夫妻姓ヲ異ニシ母子異姓ヲ稱スルハ寧ロ通例ニシテ一家ノ内ニ在リテ數姓ヲ見ルコト稀ナリトセズ

第三 養子ニ關スル事項 (大正十年十月十三日決議)

一 養子ノ種類

朝鮮ニ於テ從來行ハルル養子ニハ養父生前ノ養子、養父死後ノ養子、次養子等アリ

(一) 養父生前ノ養子



養父生前ノ養子ハ養父トナル者ニ男子ナク或ハ男子アリタルモ其ノ男子ガ婚姻ヲ爲サズシテ死亡セル場合ニ於テ既ニ老年ニ及ビ又ハ其ノ他ノ事情ニ因リ男子ノ生ルル見込ナキトキニ之ヲ爲スモノナリ

(二) 養父死後ノ養子

養父死後ノ養子ハ養父トナル者ガ男子ナクシテ死亡シ或ハ男子アリタルモ其ノ男子ガ婚姻ヲ爲サズシテ先ニ死亡セル場合ニ於テ之ヲ爲スモノナリ而シテ其ノ名稱ハ單ニ養子ト稱シ養父生前ノ養子ト區別スベキ名稱ヲ用ヒズ

(三) 次 養 子

既婚ノ長男又ハ養子死亡シ其ノ者ニ男子ナク且他ニ自己ノ男子ナキ場合ニ於テ其ノ長男又ハ養子ニ養子ヲ爲サズ之ト同列ニ當ル者ヲ自己ノ養子ト爲シ其ノ養子ニ男子出生スルヲ待チテ亡長男又ハ亡養子ノ養子ト爲スコトアリ俗ニ之ヲ次養子ト稱ス而シテ此ノ種ノ養子ハ養父トナル者ノ死後ニ於テモ亦之ヲ爲スコトアリ但シ現今民籍ノ取扱ニ於テハ之ヲ養子ト稱シ次養子ノ稱ヲ用ヒズ  
以上ノ外生養家奉祀ト稱スル場合アリ養子トナリタル者ガ實家ノ祭祀ヲ行フ者ナキ爲養家ノ祭祀ヲ行フト同時ニ實家ノ祭祀ヲ行フ場合ニシテ往々其ノ事例アリト雖其

ノ養子タル点ニ於テハ普通ノ養子ニ異ラズ

又收養子ナルモノアリト雖慣習上之ヲ養子ト認メズ

二 縁 組 ノ 要 件

(一) 養親ニ付テノ要件

養子ヲ爲スニハ其ノ者ガ男ナルコト、既婚者ナルコト、男子ナキコト、又ハ男子アリタルモ婚姻ヲ爲サズシテ死亡セシコトヲ必要トシ養子ハ常ニ一人ニ限ル

一 男ナルコト

朝鮮ニ於テハ養子ヲ爲ス目的ハ後繼者ヲ得テ血統ノ斷絶ヲ防グニ在リ而シテ血統ハ男系ノミヲ認メ女系ヲ認メザルヲ以テ養子ヲ爲スコトヲ得ル者ハ男ニ限り女ハ養子ヲ爲スコトヲ得ズ

二 既婚者ナルコト

朝鮮ニ於テ親族慣習ノ基礎ヲ爲セル觀念ニ據レバ夫妻アリテ始メテ子アリ未ダ婚姻ヲ爲サザル者ハ子ヲ有スル資格ナキモノトセリ故ニ未ダ婚姻ヲ爲サザル者ハ其ノ生前ト死後トヲ問ハズ養子ヲ爲スコトヲ許サズ養子ヲ爲スコトヲ得ル者ハ常ニ既婚者ニ限ル而シテ其ノ年齢ニハ定限ナシ



三 男子ナキコト又ハ男子アリタルモ婚姻ヲ爲サズシテ死亡セシコト  
 養子ハ男子ナキ爲他人ノ子ヲ養ヒテ子ト爲スモノナリ故ニ若シ男子アレバ更ニ  
 養子ヲ爲スコトヲ許サズ而シテ其ノ男子ガ嫡子タルト庶子タルトハ敢テ問フコ  
 トナシ又既婚ノ男子アリタル者ハ其ノ男子ニ養子ヲ爲シ後ヲ繼ガシムルコトヲ  
 得ルヲ以テ亦養子ヲ許サズ

(備考)

従前ニ在リテハ一般ニ庶子ノ系統ヲ卑シム風アリシヲ以テ庶子タル男子ア  
 ルニ拘ラズ養子ヲ爲スコトアリシガ現今ニ於テハ嫡子タルト庶子タルトヲ  
 問ハズ子アル者ノ養子ヲ認メズ

四 養子ハ一人ニ限ル

養子ノ目的ハ後繼者タルベキ男子ヲ得ルニ在ルヲ以テ既ニ養子ヲ爲シタル者ハ  
 男子アル者ニ養子ヲ許サザルト同一ノ理由ニ因リ更ニ養子ヲ爲スコトヲ許サズ

(二) 養子ニ付テノ要件

養子トナルニハ其ノ者ガ男ナルコト、養父ヨリ年少ナルコト、養父トナル者ノ男系血族  
 ナルコト、養父トナル者ニ對シ卑屬ナルコト、養父トナル者ト昭穆ノ關係アルコトヲ要

ス

一 男ナルコト

養子ヲ爲ス目的ハ血統ノ連續及祭祀ノ爲ニ後繼者ヲ得ルニ在リ而シテ男ニ非ザ  
 レバ血統ヲ傳フルコトヲ得ズ又祭祀者タルコトヲ得ザルヲ以テ養子トナルコト  
 ヲ得ル者ハ男ノミニシテ女ノ養子タルコトヲ認メズ

二 年少者ナルコト

養子ハ養父ヨリ年少ナルコトヲ要ス是レ親子トナル關係上當然ノ理ナリ然レド  
 モ其ノ年齢ノ差ニ付テハ別ニ定限アルコトナシ唯ダ實際ニ於テハ父子トシテ相  
 當年齡ノ者ヲ擇ブヲ例トスルノミ

三 男系血族ナルコト

朝鮮ニ於ケル養子ノ制ハ血統ノ連續ヲ基礎トセリ而シテ血統ハ男系ノミヲ認メ  
 女系ヲ認メザルヲ以テ養子トナルコトヲ得ル者ハ男系ノ血族ニ限レリ

(備考)

男系ノ血族タルト否トハ事實ニ據リテ之ヲ決スベキモノナリト雖朝鮮ニ於  
 テハ人ハ皆姓及本ヲ稱シ同本同姓ハ大抵男系血族ナルヲ以テ姓及本ニ據リ



テ男系血族ナルヤ否ヤヲ知ルコトヲ得ベシ

四 卑屬ナルコト

尊屬ヲ卑屬ト爲シ卑屬ヲ尊屬ト爲スコトハ倫序ヲ紊ルヲ以テ養子ハ常ニ養親トナル者ノ卑屬タルコトヲ要ス

五 昭穆ニ當ルコト

朝鮮ニ於テハ自己ト同列ニ在ル男ノ子ニ非ザレバ養子ト爲スコトヲ得ズ而シテ同列ノ男ハ兄弟從兄弟再從兄弟等ニシテ其ノ子ハ即チ姪從姪再從姪等ナリ昭穆ハ父子ノ序ニシテ姪ト伯叔父從姪ト從伯叔父再從姪ト再從伯叔父トハ昭穆ノ關係アルモノトセリ

(備考)

養子トナルコトヲ得ル者ハ次男以下ノ男子ナルヲ通例トス蓋シ長男ハ其ノ家ノ祭祀ヲ行フベキ者ナルヲ以テ他家ニ入ルコトヲ許サザルナリ然レドモ宗家ヲ重シトスル結果宗家ニ男子ナキトキハ支家ノ長男ヲ養子ト爲スコトアリ

三 縁組ノ方式

(一) 養子ノ選定

養子ノ選定ハ養父トナル者之ヲ爲スヲ本則トス而シテ養父トナル者ニ父母在ルトキハ父母ノ同意ヲ得ルコトヲ要シ祖父母亦在ルトキハ其ノ同意ヲ得ザルベカラズ若養父トナル者が家族ニシテ尊屬ガ戸主タル場合ニハ戸主ノ同意ヲモ得ルコトヲ必要トス

養子ノ選定ハ遺言ヲ以テスルコトヲ得ベク養父トナル者ノ遺言アルトキハ養子ハ其ノ遺言ニ依リテ其ノ選定アリタルモノトス然レドモ其ノ配偶者ハ亡夫ノ父母祖父母ノ同意アルトキハ之ヲ變更スルコトヲ得ザルニ非ズ又父母祖父母等ナキ場合ニハ門會ノ同意ヲ得テ之ヲ變更スルコトヲ得ベシ

養父死後ノ養子ヲ選定スベキ場合ニ於テハ養父トナルベキ者ノ配偶者之ヲ選定スベキモノニシテ亡夫ノ父母祖父母在ルトキハ其ノ同意ヲ得ルコトヲ要シ其ノ配偶者が家族ニシテ尊屬ガ戸主ナルトキハ戸主ノ同意ヲ必要トスルコト養父トナル者ガ之ヲ選定スル場合ト異ル所ナシ而シテ配偶者在ラザルトキハ父亦在ラザルトキハ母父母共ニ在ラザルトキハ祖父祖父亦在ラザルトキハ祖母祖母亦在ラザルトキハ兄之ヲ選定シ兄亦在ラザルトキハ伯叔父之ヲ選定シ此等ノ者皆在ラザルトキハ門會ニ於テ



之ヲ選定ス

養子ヲ選定スベキ配偶者ガ選定ヲ爲サザルトキハ父母・祖父・祖母・兄・伯叔父等順次之ガ選定ヲ爲スコトヲ得ベク此等ノ者皆在ラザルトキハ門會ニ於テモ亦之ヲ選定スルコトヲ得ベシ

#### (二) 實家ノ承諾

朝鮮ニ於テハ養子縁組ハ養親トナル者ト實親トガ之ヲ決定スルヲ本則トシ養子トナル者ニ付テハ父在ルトキハ父・父ナキトキハ母之ヲ決定スルモノトス然レドモ若父母ナキトキハ祖父之ヲ決定シ祖父亦ナキトキハ祖母之ヲ決定シ祖母亦ナキトキハ兄之ヲ決定シ此等ノ者皆ナキトキハ伯叔父之ヲ決定ス而シテ其ノ決定者ニ父母・祖父等アルトキハ其ノ同意ヲ得ルコトヲ要シ又其ノ者ガ家族ニシテ尊屬タル戸主アルトキハ其ノ同意ヲモ得ルコトヲ要ス

#### (三) 縁組ノ儀式

養子縁組ノ儀式トシテハ唯ダ養家ニ於テ之ヲ祖先ノ祠堂ニ報告スル慣例ナリ

(備考)

往時ニ在リテハ禮曹ニ請願シ禮斜ヲ受クル成規ナリシヲ以テ其ノ方式ヲ履ミ

シモ數十年以來漸次行ハレザルニ至レリ

#### 四 縁組ノ效力

- 一 養子トナリタル者ハ養父ノ嫡長子タル身分ヲ取得シ又養父ノ親族トノ間ニ實子ト同一ノ親族關係ヲ生ズ
- 二 養子ハ縁組ニ因リ直ニ養家ニ入り其ノ妻直系卑屬及其ノ妻等アルトキハ此等ノ者モ亦隨ヒテ其ノ家ニ入ル  
次養子ハ縁組ニ因リ直ニ養家ニ入り其ノ者ニ妻及直系卑屬アルトキハ此等ノ者モ亦隨ヒテ其ノ家ニ入ル
- 三 養父死後ノ養子ハ養父ガ戸主タリシトキハ其ノ家ニ入ルト同時ニ戸主トナリ次養子ノ場合ニ於テモ養父ガ既ニ死亡シ且戸主タリシトキハ次養子ハ其ノ家ニ入ルト同時ニ戸主トナル

(備考)

次養子ノ場合ニ於テ其ノ者ニ男子出生シタルトキハ實家ニ復歸シ又ハ分家ヲ爲スコトアリ而シテ其ノ男子ハ養家ノ亡長子又ハ亡養子ノ養子トナルモノトス



養子トナリタル者ハ實父母ニ對シ喪服一等ヲ減ジ宛モ伯叔父母ニ對スル如キ  
關係ニ立ツモノトス

### 五 離 縁

従前ニ在リテハ養子ハ養家ニ於テノミ離縁ヲ爲スコトヲ認メ之ヲ罷養ト稱シ又實家  
絶嗣ノ場合ニ限り養子ノ復歸ヲ許ス成規アリタリ

(備考)

近來ニ於テハ協議離縁ヲ認メ且養子又ハ養子ノ實家ヨリ離縁ヲ求ムル者アル  
傾向ヲ生ジタリ

離縁ノ原因トシテハ養子ガ養家ノ直系尊屬ニ對シ不孝ノ行爲アリタル場合及親族間  
ニ姦淫ヲ爲シタル場合ヲ以テ其ノ著シキモノトセリ又家名ヲ汚スベキ重大ナル罪ヲ  
犯シ若ハ家産ヲ傾クベキ浪費ヲ爲シタルトキハ事情已ムヲ得ザル場合ニ限り離縁ノ  
原因アルモノトセリ  
離縁ヲ爲スコトヲ得ル者ハ養家ノ父ナルヲ本則トシ父ナキトキハ祖父、祖父亦ナキト  
キハ母、母亦ナキトキハ祖母ニシテ此等ノ者ガ離縁ヲ爲スニハ父母、祖父母等アルトキ  
ハ其ノ同意ヲ得ルコトヲ要シ尊屬タル戸主アルトキハ其ノ同意ヲ得ルコトヲ必要ト

シ母又ハ祖母ガ離縁ヲ爲スニハ門會ノ同意ヲ得ルコトヲ必要トセリ又此等ノ者皆在  
ラザルトキハ門會ニ於テモ離縁ヲ爲スコトヲ得ベシ而シテ離縁ハ養子ガ戸主タルト  
否トニ拘ルコトナシ  
離縁ノ方式トシテハ祠堂ニ報告シ又ハ養子ガ事實、實家ニ復歸スルノミニシテ特ニ定  
マリタル形式ナシ

(備考)

往時ハ禮斜ヲ受ケ縁組ヲ爲シタル者ハ離縁ノ場合ニモ亦禮斜ヲ受ケタルモノ  
トス

## 第四 家ニ關スル事項 (大正十年十二月一日及五日決議)

### 一 戸 主 權

朝鮮ニ於テハ一面ニ戸主ノ家族ニ對スル權利ヲ認ムト雖又一面ニ尊卑ノ序ヲ重スル  
ヲ以テ戸主ノ權利ハ家族ガ卑屬ナル場合ニノミ行ハレ家族ガ尊屬ナル場合ニハ行ハ  
レズ

戸主ノ家族ニ對スル權利ヲ擧グレバ概ネ左ノ如シ



- (一) 家族ノ養子縁組又ハ離縁ニ付テノ同意
  - (二) 家族ノ分家ニ付テノ決定又ハ同意
  - (三) 家族ノ居所ノ指定
  - (四) 家族ノ職業ノ指定
  - (五) 家族ノ財産ノ管理及收益
  - (六) 家族ノ財産處分ニ付テノ許諾
  - (七) 家族ノ教育
  - (八) 家族ノ監護
  - (九) 家族ノ懲戒
- 家族ガ獨立ノ生計ヲ營ム場合ニハ戸主ハ(四)(五)(六)ノ權利ヲ行使セズ  
 戸主ガ幼年ナルトキ又ハ身體精神ノ異常ニ因リ自ラ戸主權ヲ行使スルコト能ハザル  
 場合ハ其ノ家ニ祖母アルトキハ祖母、祖母ナキトキハ母代リテ之ヲ行ヒ此等ノ者ナキ  
 トキハ近親中ヨリ保護者ヲ定メ其ノ保護者代リテ戸主權ヲ行使ス  
 戸主ハ家族ノ居所ヲ指定スルコトヲ得ルモ家族ガ之ニ從ハザル場合ニ於テ之ヲ離籍  
 シ又ハ扶養ノ義務ヲ免ルルガ如キ慣習ナシ

### 二 家族ノ特有財産

朝鮮ニ於テハ一家ノ財産ハ戸主ノ所有ニ屬シ而シテ戸主ハ當然家族ヲ養フコトナ  
 レルヲ以テ家族ハ大抵財産ヲ有セズ家族ノ得タル財産ト雖之ヲ戸主ニ歸セシムルヲ  
 通例トスルモ又家族ガ特ニ財産ヲ有スルコトアリ此ノ場合ニ在リテハ之ヲ戸主ノ財  
 産ト區別セリ

家族ノ財産ハ家族ガ獨立ノ生計ヲ立ツルトキハ其ノ家族自ラ之ヲ管理シ戸主ハ之ニ  
 對シ干涉ヲ爲サズ然レドモ家族ガ戸主ニ養ハルル場合ニ在リテハ家族ノ財産ハ其ノ  
 家族ガ相當年齢ニ達シ戸主ガ特ニ其ノ管理ヲ許シタル場合ノ外戸主之ヲ管理シ其ノ  
 收益ニ付テモ特ニ家族ノ所得トシテ之ヲ區分セズ自然戸主ノ所得ニ歸セシムルコト  
 アリ而シテ家族ガ不動産其ノ他重要ナル財産ヲ處分スルニ戸主ノ許諾ヲ受クベキモ  
 ノトセリ

### 三 分家

朝鮮ノ慣習ニテハ家ヲ繼グベキ者ハ長系ノ長男子ナルヲ本則トシ其ノ他ノ男子ハ分  
 家ヲ爲シ女子ハ他家ニ嫁スベキモノトセルヲ以テ長系ノ長男子ニ非ザル男子ハ早晚  
 分家ヲ爲スベキ境遇ニ在ルモノナリ



分家ヲ爲ス者ハ既婚者ナルコトヲ必要トシ未婚者ノ分家ヲ認メズ而シテ女子ハ他家ニ嫁スベキモノトセルヲ以テ女子ノ分家ヲ認メズ  
 家族ノ分家ハ分家ヲ爲ス者ニ對シ尊屬タル戸主之ヲ決定スルヲ通例トスルモ又本人ノ意思ニ因リテ分家ヲ爲スコトアリ而シテ本人ノ意思ニ因リ分家ヲ爲ス場合ニハ尊屬タル戸主ノ同意ヲ得ザルベカラズ  
 分家ヲ爲シタル者ノ配偶者及直系卑屬ハ其ノ者ニ隨ヒテ分家ニ入ル慣習ニシテ若シ直系卑屬ノ配偶者アルトキハ其ノ者モ亦共ニ分家ニ入ルモノトス  
 分家ヲ爲スニ付テハ慣習上定マレル手續ナク唯ダ民法ニ於テ分家ヲ爲シタル場合ノ届出ヲ規定セルノミ

四 廢 家

朝鮮ノ慣習ニテハ隨意ニ家ヲ廢スルコトヲ許サズ然レドモ戸主ガ他家ニ養子トナル場合ニ於テ其ノ家ニ祭ルベキ祖先ナキトキハ相續人ヲ定メズ其ノ家族ハ戸主ト共ニ養家ニ入ルヲ以テ其ノ家ハ自ラ廢家トナリ又分家ヲ爲シタル者ガ本家ノ絶嗣ニ因リ本家ノ相續ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ分家ハ自ラ廢家トナルモノトス而シテ民法ニ於テモ廢家ノ事實ヲ届出デシムルニ止マリ廢家ヲ爲スニ付テノ手續ヲ規定セズ

廢家ノ再興ハ慣習ニ於テ認メズ

五 絶 家

朝鮮ノ慣習ニテハ戸主死亡シ又ハ戸主ガ他家ニ入リタル場合ニ於テ其ノ家ニ戸主トナルベキモノナキトキハ養子ヲ爲シ之ヲ戸主ト爲ス例ナルモ養子ト爲スベキ者ナキトキハ其ノ家ハ自然絶家トナルモノトス然レドモ戸主ノ死後又ハ他家ニ入リタル後直チニ養子ヲ爲スコトヲ得ザル場合アリ此ノ如キ場合ニ於テハ其ノ家ヲ絶家ト認メザルヲ以テ全然養子ヲ爲ス見込ナキ時ニ至リ始メテ絶家ヲ生ズルモノト解スル外ナシ

絶家ノ場合ニ於テハ家族ハ從來近親ノ家ニ寄食シ家籍ヲ有セザル者アリシガ現今民籍ノ取扱ニテハ一家ヲ創立スルモノトセリ

絶家ノ遺産ハ家族之ヲ承繼シ家族ナキトキハ親族ニ於テ之ヲ處分シ親族亦ナキトキハ其ノ所在部落ノ有ニ歸ス

絶家トナリタル後最後ノ既婚ノ亡男戸主ニ養子ヲ爲シ其ノ家系ヲ繼續スルコトアリ此ノ場合ニハ其ノ家ハ再興セラルルモノニシテ亦慣習ノ認ムル所ナルモ之ヲ外ニシテハ親族タルト否ラザルトヲ問ハズ絶家ヲ再興スルコトヲ許サズ



## 六 子ノ入ルベキ家

三六

朝鮮ノ慣習ニテハ子ハ父ノ家ニ入ルベキモノトシ母ノ家ニ入ルコトヲ認メズ隨テ嫡子ト庶子トヲ問ハズ苟モ父ノ定マレル子ハ當然父ノ家ニ入り戸主ハ家族ノ庶子ト雖其ノ入籍ヲ拒ムコトヲ得ズ然レドモ事實父ノ定マラザル子ハ入ルベキ家ナキヲ以テ近年民籍ノ取扱ニ於テハ之ヲ母ノ家ニ入籍セシメ又父母共ニ知レザル子ハ一家ヲ創立スルモノトセリ

## 第五 親子ニ關スル事項 (大正十年十二月一日及五日決議)

### 一 實子ノ種別

實子ハ從來嫡子庶子姦生子ノ三種ニ區別セシガ近來姦生子ノ稱ヲ用ヒズ私生子ノ稱ヲ用フルニ至レリ

#### (一) 嫡子

妻ノ所生ヲ嫡子ト稱ス而シテ妻ガ婚姻中ニ懐胎シタル子ハ苟モ姦通ニ因リテ懐胎シタル事蹟ナキ限リハ夫ノ子ト推定ス

婚姻前ニ懐胎シタル子ハ婚姻中ニ出生シ且夫ノ子ナルコト明ナル場合ト雖之ヲ

嫡子ト看做ス慣習ナカリシガ近年民籍ノ取扱ニ於テハ之ヲ嫡出子トセリ

又父母ノ婚姻ニ因リ當然嫡子トナル慣習ナカリシモ是レ亦民籍ノ取扱ニ於テ之ヲ嫡出子トセリ

#### (二) 庶子

妾ノ所生及父ノ認メタル婚姻外ノ子ハ之ヲ庶子ト稱ス而シテ現今民籍ノ取扱ニ於テハ男十七年女十五年未滿ノ者ノ婚姻ヲ認メザル結果其ノ間ニ生レタル子ヲ庶子トセリ

#### (三) 私生子

従前ニ於テハ私通又ハ姦通ニ因リテ生レタル子ヲ姦生子ト稱セシガ近來ハ之ヲ私生子ト稱シ嫡子庶子以外ノ子ハ皆之ヲ私生子中ニ包含セシムルコトトセリ

### 二 子ノ認知及否認

子ノ認知ニ付テハ定マリタル方式ナキヲ以テ自己ノ子ト認メ又ハ之ヲ認メタリト視ルベキ事實アリシ場合ニ於テ認知アリタルモノト看做スノ外ナシ而シテ之ヲ認ムルニハ遺言ヲ以テスルコトアリ又胎内ノ子ト雖之ヲ認ムルコトアリ但シ胎内ノ子ヲ認ムルニハ母ノ同意ヲ必要トセリ

三七



夫ガ妻ノ生ミタル子ヲ否認スルコトハ慣習ノ認ムル所ナリト雖實際ニ於テハ多ク其ノ例ヲ見ズ

三 親 權

朝鮮ニ於テ慣習上認ムル親ノ子ニ對スル權利ハ概ネ左ノ如シ

- (一) 子ノ教育
- (二) 子ノ監護
- (三) 子ノ懲戒
- (四) 子ノ居所ノ指定
- (五) 子ノ職業ノ指定
- (六) 子ノ財産ノ管理
- (七) 子ノ婚姻ノ決定又ハ離婚ノ同意
- (八) 子ノ養子縁組ノ決定同意又ハ離縁ノ同意

親ノ子ニ對スル權利ハ其ノ家ニ在ル父之ヲ行フヲ本則トシ父ナキトキハ母之ヲ行フ又父ガ此ノ權利ヲ行フ場合ト雖懲戒離婚ノ同意養子縁組及離縁ノ同意ニ付テハ母モ亦其ノ權利ヲ行フモノトス但シ分家シタル子ニ對シテハ(七)(八)ニ付テハ本家ノ父母亦

同様ナリ而シテ母ガ此ノ權利ヲ行フ場合ニ於テハ重要ナル事項ニ付テハ子ノ伯叔父ニ協議スルヲ通例トスルモ敢テ之ヲ必要トスルニ非ズ又其ノ母ガ實母ナルト繼母ナルト嫡母ナルトニ因リ其ノ權利ニ毫モ差異アルコトナシ  
子ガ獨立ノ生計ヲ營ム場合ニ於テハ(五)(六)ノ權利ヲ行使セズ  
親ノ子ニ對スル權利ハ慣習上之ガ喪失ヲ認メズ然レドモ母ガ子ノ財産ヲ危クスル虞アルトキハ門會ノ決議ヲ以テ其ノ管理ヲ制限シ又ハ之ヲ爲サシメザルコトヲ得ベシ

第六 親族會ニ關スル事項 (大正十年十二月一日及五日決議)

朝鮮ニ於テ從來行ハルル親族會ニハ二種アリ一ヲ門會ト稱シ一ヲ宗會ト稱ス  
門會ハ一門ノ會合ニシテ有服親ノ範圍ヲ以テ其ノ範圍トシ一門ノ男ノミ之ニ列席シ女ハ列席セズ男ト雖從來ハ未冠者ハ列席セザリシモノトス門會ニ於テ議スベキ事項ハ一門ニ關スル事項ニシテ一門ノ祭祀墳墓門中財産養子幼者又ハ身體精神ニ異狀アル者ノ保護等其ノ著シキモノナリ而シテ門會ノ招集ハ門長之ヲ行ヒ一門中行列年齢共ニ最モ高キ男之ニ任ズルモノトス  
宗會ハ一族ノ會合ニシテ男系ノ血族ヲ一族ト稱シ本及姓ヲ同ジクスル者ハ即チ男系



ノ血族ナリ宗會ニ付議スル事項ハ宗中ニ關スル事項ニシテ宗中ノ祭祀宗山宗中財産・宗家ノ養子等其ノ主タルモノトス而シテ會議ニ列席スル者ハ其ノ會議事項ニ關係アル宗中ノ男ノミニシテ女ハ列席セズ且從來未冠者ノ列席セザリシコト門會ノ場合ニ異ナラズ又宗會ノ招集ハ一族中行列年齡最モ高キ男之ヲ爲スモノトス

第七 扶養ニ關スル事項(大正十年十二月一日及五日決議)

朝鮮ニ於テ慣習上扶養ヲ認ムル範圍ハ其ノ限界明確ナラズト雖大體ニ於テ左記ノ者ニ對シテハ扶養ヲ爲スベキモノトセリ

- (一) 本宗直系尊屬
- (二) 夫ノ本宗直系尊屬
- (三) 本生(實家)直系尊屬
- (四) 夫ノ本生(實家)直系尊屬
- (五) 配偶者
- (六) 本宗直系卑屬並其ノ妻
- (七) 出繼子孫

- (八) 本宗兄弟姊妹並其ノ妻
- (九) 夫ノ本宗兄弟姊妹並其ノ妻
- (一〇) 本生兄弟姊妹並其ノ妻
- (一一) 出繼兄弟
- (一二) 本宗伯叔父母姑
- (一三) 夫ノ本宗伯叔父母姑
- (一四) 本宗姪姪女姪婦
- (一五) 夫ノ本宗姪姪女姪婦
- (一六) 本宗從兄弟姊妹
- (一七) 本宗ニ於ケル外祖父母
- (一八) 本宗從祖父母大姑
- (一九) 妻ノ父母
- (二〇) 外孫外孫女
- (二一) 本宗從孫從孫女
- (二二) 女婿



右ノ中孫女以下ノ直系卑屬タル女・姑・姪女・從姊妹・大姑・外孫女・從孫女ハ出嫁前ニ限リ妻ノ父母・女婿ハ妻又ハ女ノ生存中ニ限リ、嫁シタル者ノ扶養ヲ爲スベキ本宗ノ範圍ハ父母兄弟姊妹ニ限ル

扶養ハ之ヲ受クル者ノ必要ト其ノ程度トニ應ジ扶養ヲ爲ス者ノ資力ニ依リ之ヲ爲スモノニシテ其ノ順序ハ大體ニ於テ扶養ヲ受クル者ハ本宗ト姻戚トノ間ニ在リテハ本宗ヲ先ニシ本宗中ニ在リテハ直系尊屬配偶者直系卑屬兄弟姊妹伯叔父母其ノ他ノ傍系親族ノ順序ニ依リ扶養ヲ爲ス者ノ間ニ在リテハ配偶者直系卑屬直系尊屬兄弟姊妹伯叔父母ノ順序ニ依ルベキモノトセルモ確タル慣習アルニ非ズ又戸主ハ當然家族ヲ養フベキモノトセルヲ以テ他ニ扶養ヲ爲スモノアルト否トニ拘ラズ其ノ家族ヲ扶養スベキモノトセリ

### 第八 相續ニ關スル事項 (大正十二年一月二十五日決議)

#### 一 相續ノ種類

朝鮮ニ於テハ從前相續ノ語ヲ用ヒズ之ヲ用フルニ至リシハ輒近ノコトナリ (參照文ハ

末尾ニ)ト雖今日ニ於テハ法令及裁判上ノ用語トシテ一般ニ認メラルルノミナラズ日常談話ノ間ニモ之ヲ通用スルニ至レリ

朝鮮ニ於テ認ムル相續ニハ祖先ノ祭祀者タル地位ヲ承繼スルモノト一家ノ戸主タル地位ヲ承繼スルモノト被相續人ニ屬セシ財産ヲ承繼スルモノトノ三種アリ而シテ其ノ名稱ニ付テハ從前ヨリ用ヒ來レル奉祀ノ語アリ (參照)祖先ノ祭祀者タル地位ヲ承繼スル場合ニ之ヲ充用スルコトアリト雖奉祀ハ祖先ノ祭祀者トナルノ意ニシテ特ニ承繼ノ義ヲ含マズ隨テ此ノ語ヲ以テ祭祀者タル地位ノ相續ニ當ツルハ適切ナラズ又戸主タル地位ノ相續及財産ノ相續ニ付テハ之ニ當ツベキ名稱全ク存セズ故ニ三種ノ相續ニ付在來ノ用語ヲ以テ其ノ名稱ヲ示スコトヲ得ズ又民法ニ用ヒタル家督相續及遺産相續ノ語ハ下ニ記ス如ク其ノ内容ニ於テ朝鮮ニ行ハルル相續ト多少異ル所アルヲ以テ民法ノ用語ヲ直チニ之ニ當ツルコトヲ得ズ是ヲ以テ從來ノ調査ニ於テハ其ノ實質ニ依リ祭祀者タル地位ノ承繼ヲ祭祀相續、戸主タル地位ノ承繼ヲ戸主相續、財産ノ承繼ヲ財産相續ト稱シ裁判所ニ於テモ此ノ如キ名稱ヲ使用セル例アリ

#### (一) 祭祀相續



朝鮮ニ於テハ祖先ノ祭祀ヲ以テ最大重要事ト爲シ(三參照)長子孫(長男又ハ長男系ノ長男孫)祭祀者タル地位ニ立チ(二參照)若シ其ノ地位ニ立ツベキ子孫ナキトキハ養子(限ルニ男子ニ)ヲ爲シテ其ノ斷絶ヲ防グコトトセリ(四參照)之ヲ奉祀ト稱ス而シテ奉祀者ハ通常祖先ノ奉祀者タリシ者ノ地位ヲ承繼シ同時ニ先代ノ奉祀者トナルモノナルモ祖先ノ奉祀者タル地位ヲ承繼スルニ非ズシテ單ニ先代ノ奉祀者トナルニ過ギザルコトアリ例ヘバ既ニ代數ヲ經タル家ニ在リテハ奉祀者ハ常ニ先代ノ有セシ祖先ノ奉祀者タル地位ヲ承繼シ同時ニ先代ノ奉祀者トナルモノナルモ分家ヲ爲シタル家ノ初代ノ死亡ニ因リ其ノ子孫ガ奉祀者トナル場合ニハ先代ガ祖先ノ奉祀者タル地位ニ在ラザリシ結果單ニ先代ノ奉祀者トナルニ過ギズ又家族ガ死亡シ其ノ子孫ガ奉祀者トナル場合ニ在リテハ大抵死者ガ祖先ノ奉祀者タル地位ニ立タザルヲ以テ(奉祀者タルコトアリ得ベシ)子孫ハ單ニ父祖ノ奉祀者トナルニ過ギザルヲ通例トス

祭祀者タル地位ノ相續ハ戸主タル地位ノ相續ヲ伴フヲ普通トスルモ家族ガ祭祀者タル地位ヲ承繼スル場合(父祖ノ奉祀者タル家族死亡シ其ノ子ガ奉祀者トナルトキノ如シ)ハ否ラズ又祭祀者タル地位ノ相續ハ常ニ財産ノ相續ヲ伴フモノトス

(二) 戸主相續

朝鮮ニ於テハ戸主ノ死亡其ノ他ノ事由ニ因リ家ニ戸主ナキニ至リタルトキハ其ノ家ニ於ケル祖先ノ祭祀者タル地位ヲ承繼スル者(限ルニ男子ニ)戸主ノ地位ヲ承繼シ若祭祀者タル地位ヲ承繼スル者ナキトキハ特例ノ場合(次養子ア)ヲ除キ其ノ家ニ在ル女ノ中最モ先順位ニ在ル者戸主ノ地位ヲ承繼ス(五參照)然レドモ祭祀者タル地位ノ承繼ハ常ニ戸主タル地位ノ承繼ヲ伴フモノニ非ズ(家族ガ奉祀者タル場合ノ如シ)戸主タル地位ノ承繼モ亦必ズシモ祭祀者タル地位ノ承繼ヲ伴ハズ(次養子又ハ女ガ戸主タル場合ノ如シ)此ノ點ニ於テ祭祀者タル地位ノ承繼ト戸主タル地位ノ承繼トハ之ヲ別箇ノ相續ト看做スノ外ナシ唯ダ其ノ家ノ祭祀者トナルコトヲ得ザル者ガ戸主トナルハ變則ニシテ一家ノ祭祀ハ戸主之ヲ行フヲ本則トスルヲ以テ根本ノ觀念ヨリスレバ祭祀相續ト戸主相續トハ本來一體ノモノナリト云フコトヲ得ベシ

民法ニ規定セル家督相續ハ戸主タル地位ヲ相續スルモノナルヲ以テ此ノ點ニ於テハ朝鮮ニ於ケル戸主ノ地位ノ承繼ニ相當スト雖家督相續ニ在リテハ戸主ノ地位ヲ承繼スルト同時ニ戸主ノ有セシ全財産ヲモ併セテ承繼シ其ノ財産ニ付テハ他ニ相續人アルコトナシ而シテ朝鮮ニ於ケル戸主相續モ亦戸主ノ地位ヲ承繼スルト同時ニ戸主ノ有セシ財産ヲ承繼スルモノナリト雖或場合ニハ其ノ全財産ヲ承繼シ(獨子又ハ女ノ戸主相續ノ場合ノ如シ)



或場合ニハ二分ノ一ヲ承繼シ(相續人ガ長男ニシテ男以下ニ)或ハ三分ノ二ヲ承繼スル(相續人ガ長男ニシテ次男)等區々ニシテ民法ノ家督相續ガ財産ニ付全産相續ノ主義ヲ採レルニ對シ朝鮮ノ戸主相續ハ財産ニ付分割相續ノ主義(參照七、八、九)ニ依レルヲ以テ全然之ヲ同一ニ視ルコトヲ得ズ隨テ其ノ名稱ニ付テモ家督相續ノ稱ヲ用フルハ内容ニ付誤解ヲ惹ク虞ナシトセズ

(三) 財産相續

朝鮮ニ於テハ戸主ガ死亡其ノ他ノ事由ニ因リ變更シタルトキハ前戸主ニ屬セシ財産ハ其ノ全部又ハ幾分ヲ新戸主ニ於テ承繼シ又家族ノ死亡離縁等ノ場合ニ於テモ相續人其ノ遺産ヲ承繼スル例ニシテ祭祀相續ノ場合ニ在リテハ常ニ財産相續ヲ伴ヒ戸主相續ノ場合ニ在リテモ亦常ニ財産相續ヲ伴フモノトス然レドモ財産相續ハ祭祀相續又ハ戸主相續ト全然別箇ノ相續人ニ於テ其ノ相續ヲ爲スコトアリ例ヘバ長男ガ祭祀相續ヲ爲シタル場合ニ於テ次男以下ノ者ガ亡父ノ遺産ニ就キ其ノ幾分ヲ承繼スル場合ノ如キハ次男以下ノ者ハ財産ノミヲ相續シ祭祀ノ相續ヲ爲スコトナシ故ニ財産相續ハ全然祭祀相續ニ包含セラルルモノト云フコトヲ得ズ又家族死亡ノ場合ニ於ケル遺産ノ相續ノ如キハ戸主相續ト關係ナキヲ以テ財産相續ト戸主相續トハ之ヲ區別シ

テ觀察セザルベカラズ

民法ニ規定セル遺産相續ハ財産ノ相續タル點ニ於テ朝鮮ノ財産相續ト同一ナリト雖遺産相續ハ家族死亡ノ場合ニノミ之ヲ認メ戸主死亡ノ場合ニハ之ヲ認メズ然ルニ朝鮮ニ於ケル財産相續ハ家族死亡ノ場合ノ外戸主死亡ノ場合ニモ生ズル相續ナルヲ以テ此ノ點ニ於テ互ニ異ル所アリ殊ニ朝鮮ニ於ケル財産相續ハ被相續人死亡ノ場合ノミニ見ル相續ニ非ズ戸主ノ更迭又ハ其ノ地位ヲ去ルニ因リ財産相續ノ開始スルコトアルヲ以テ(女戸主ガ其ノ家ニ養子ヲ爲シ又ハ出嫁シタル場合ノ如シ)其ノ名稱ニ付テモ二者ヲ區別スル必要アリ

二 相續ノ開始

(一) 祭祀相續ノ開始

祭祀相續ハ祖先ノ祭祀者タル地位ニ在ル者ガ死亡シ又ハ其ノ地位ヲ去リタル場合ニ開始ス即チ左ノ如シ

一 奉祀者ノ死亡

祖先ノ祭祀者タル地位ニ在ル者ヲ稱シテ奉祀者ト云フ而シテ奉祀者ハ戸主ナルヲ普通トスルモ家族ガ奉祀者タルコトアリ例ヘバ家族タル父死亡シ家族タル子ガ其ノ奉祀者トナリタル場合ノ如シ又奉祀者タルコトヲ得ル者ハ男ニ限り女ノ奉祀ヲ



認メズ故ニ奉祀者ハ常ニ男ニシテ女ノ奉祀者アルコトナシ  
奉祀者死亡スルトキハ其ノ者ノ祭祀ヲ爲シ及祖先ノ祭祀ヲ爲スタメ奉祀者ノ必要  
ヲ生ズ而シテ此ノ場合ニ於テハ長子孫奉祀者トナル慣習ニシテ茲ニ祭祀相續ノ開  
始ヲ見ルモノトス

二 奉祀者ノ出繼

奉祀者タル者ハ戸主タルト家族タルトヲ問ハズ其ノ家ニ在リテ祖先ノ祭祀ヲ爲ス  
ベキ者ナルヲ以テ他家ニ入ルコトヲ得ザルヲ本則トス然レドモ本分家ノ關係ニ於  
テハ本家ヲ重シトスル結果分家ノ奉祀者ガ本家ニ入りテ奉祀者トナルコトアリ(參照)  
十)即チ分家ノ奉祀者ガ本家ニ養子トナル場合ニシテ分家ニ在リテハ常ニ祭祀相續  
ノ開始ヲ見ルモノトス

三 奉祀者ノ離縁

奉祀者ガ養子ナルトキハ離縁ニ因リ奉祀者タル地位ヲ去ルヲ以テ此場合ニモ亦祭  
祀相續ノ開始アルモノトス而シテ養子ガ奉祀者タル場合ハ養父ノ死亡セル場合ニ  
限ルモ朝鮮ニ於テハ養父死後ノ養子縁組ヲ認ムルヲ以テ奉祀者タル養子ノ離縁ヲ  
見ルコトアリ

(二) 戸主相續ノ開始

戸主相續ハ戸主ノ死亡及戸主ガ其ノ地位ヲ去ルニ因リテ開始シ又新ニ戸主トナル者  
アルニ至リタル場合ニ開始ス即チ左ノ如シ

一 戸主ノ死亡

戸主ノ死亡ハ戸主相續開始ノ最モ普通ノ場合ニシテ家族中戸主ノ地位ヲ承繼スベ  
キ順位ニ在ル者之ガ相續ヲ爲シ或ハ養子ヲ爲シテ之ヲ相續セシムルヲ例トス  
戸主相續ハ祭祀相續ト同時ニ行ハレ相續人モ亦同一人ナルヲ普通トシ戸主ガ其ノ  
家ノ奉祀者タルヲ本則トスルモ家族ガ其ノ父祖ノ奉祀者タルコトアルヲ以テ奉祀  
者ハ常ニ戸主ナリト云フコトヲ得ズ又女ガ戸主タル場合アルヲ以テ戸主ハ常ニ奉  
祀者ナリト云フコトヲ得ズ隨テ戸主相續ト祭祀相續トハ必ズシモ常ニ同時ニ行ハ  
ルルモノニ非ズ其ノ開始原因ニ付テモ之ヲ別箇ニ觀察スルノ外ナシ

二 戸主ノ出繼

本家ニ戸主タル奉祀者ナキタメ分家ノ戸主ガ本家ニ養子トナルコトアリ此ノ場合  
ニ於テ若其ノ分家ガ初代ナルトキハ其ノ家ハ自然廢家トナルモ若二代以上ヲ經タ  
ル家ナルトキハ之ヲ廢スルコトヲ得ザルヲ以テ戸主相續ノ開始ヲ見ルモノトス而



シテ此ノ場合ニハ常ニ財産相續ノ開始ヲ伴フコト勿論ナリ  
三 戸主ノ離縁

戸主ガ養子ナル場合ニ於テ離縁ヲ爲ストキハ養子ハ離縁ノ結果戸主ノ地位ヲ去ル  
ヲ以テ常ニ戸主相續開始ス而シテ朝鮮ニ於テハ養父ノ死後ニ養子ヲ爲ス例少カラ  
ズ此ノ場合ニ在リテハ養子ハ常ニ戸主トナルモノニシテ此ノ種ノ養子ハ其ノ家ノ  
奉祀者タリ又戸主タルニ拘ラズ離縁ヲ爲スコトヲ得ル慣習ナルヲ以テ戸主ノ離縁  
ニ因ル戸主相續開始ノ例往往ニシテアリ

四 女ガ戸主タル家ノ養子縁組

女ガ戸主トナルハ其ノ家ニ男ノ戸主トナル者ナキ場合ニシテ此ノ如キ家ニ在リテ  
ハ最後ノ亡男戸主(但シ未婚ノ儘死亡)ノ養子トナルベキ者ヲ求メ之ヲシテ其ノ家ノ祭  
祀者タル地位ヲ繼ガシムル慣習ニシテ其ノ養子ハ同時ニ戸主トナルヲ以テ女戸主  
ハ養子縁組ト同時ニ其ノ地位ヲ去ルモノトス而シテ此ノ場合ハ新ニ戸主トナル者  
アルニ至リタルタメ戸主ノ變更ヲ生ズルモノニシテ普通ニ見ル戸主相續ノ場合ト  
其ノ關係ヲ異ニセリ

女ガ戸主タル場合ニハ其ノ家ノ祖先祭祀ハ或ハ其ノ女戸主ガ權リニ之ヲ行ヒ或ハ

近親タル男其ノ祭祀ヲ攝行シ(之ヲ攝祀ト稱ス)祭祀者タル地位ハ相續開始シ相續人ナキ狀  
態ニ在ルヲ以テ其ノ家ニ養子ヲ爲ストキハ養子ハ戸主トナルト同時ニ又奉祀者ト  
ナリ祭祀相續ヲ爲スモノトス

五 女ガ戸主タル家ノ男子出生

女ガ戸主タル場合ニ於テ其ノ女戸主又ハ其ノ子婦ガ亡男戸主ノ妻ニシテ夫ノ死亡  
前ヨリ懐胎セルコトアリ而シテ其ノ懐胎中ノ子ガ出生シ若男子ナルトキハ其ノ子  
ハ出生ト同時ニ其ノ家ノ祭祀者トナリ且戸主トナル慣習ナルヲ以テ女戸主ハ其ノ  
地位ヲ退キ茲ニ戸主相續ノ開始ヲ見ルモノトス即チ此ノ場合モ亦新ニ戸主トナル  
者アルニ至リタルタメ戸主ノ變更ヲ生ズルモノニシテ普通ノ場合ト其ノ關係ヲ異  
ニスルコト女ガ戸主タル家ニ養子ヲ爲シタル場合ニ同ジ

六 女戸主ノ出嫁

朝鮮ニテハ従前ニハ未嫁ノ女ガ戸主タルコトナカリシモ輒近ニ至リテハ未嫁ノ女  
ト雖其ノ家ニ他ニ戸主トナル者ナキトキハ當然戸主ノ地位ニ立ツコトトナレリ而  
シテ戸主タル未嫁ノ女ガ婚嫁ヲ爲シ他家ニ入ルコトハ慣習上妨ナキ所ニシテ此ノ  
場合ニハ其ノ家ニ戸主トナル者ナク隨テ戸主ヲ缺ク結果ヲ生ズルモ其ノ婚嫁ヲ爲



スコトヲ得ルニ付テハ戸主タラザル未嫁ノ女ト敢テ異ルコトナシ  
七 女戸主ノ去家

朝鮮ニ於テハ寡女ノ再婚ヲ以テ倫常ニ反スルモノト爲シ久シク之ヲ禁ゼシモ(參照十一)  
開國五百三年其ノ禁ヲ解ケリ(參照十二)然レドモ寡女ガ婚家ヨリ再嫁ヲ爲スコトハ慣習  
ノ認メザル所ニシテ(參照十三)一應其ノ家ヲ去リタル上ニ非ザレバ再嫁ヲ爲スコトヲ得  
ズ而シテ戸主タル寡女ガ婚家ヲ出デタルトキハ其ノ戸主ノ地位ヲ去ルコト勿論ニ  
シテ婚家ニ於テハ戸主相續ノ開始ヲ見ルモノトス

八 次養子ノ男子出生

次養子ハ自己ノ男子出生スルトキハ之ヲ養家ニ於ケル亡長男ノ養子ト爲シ其ノ家  
ノ祭祀者タル地位ヲ繼ガシムルモノナルヲ以テ其ノ次養子ガ戸主ナルトキハ其ノ  
生子ガ戸主トナルト同時ニ次養子ハ戸主ノ地位ヲ退クモノトス故ニ戸主タル次養  
子ニ男子出生スルトキハ戸主ノ變更ヲ生ジ隨テ戸主相續開始ス而シテ此ノ場合ニ  
於テハ新ニ戸主トナル者アルニ至リタルタメ戸主相續開始スルモノニシテ普通ノ  
場合ト其ノ關係ヲ異ニスルコト女戸主ノ場合ニ於ケル養子縁組ト同一ナリ

九 次養子ガ戸主タル家ノ養子縁組

次養子ガ戸主タル場合ニ於テ自己ニ男子出生セザルトキハ時トシテ養家ノ亡長男  
ニ養子ヲ爲スコトアリ此ノ場合ニ於テハ其ノ養子ハ養家ノ奉祀者トナルト同時ニ  
戸主トナル慣習ナルヲ以テ茲ニ戸主相續ノ開始ヲ見ルモノトス而シテ此ノ場合ニ  
在リテハ次養子ニ男子出生シタルトキト同ジク戸主相續ヲ爲ス者アルニ至リタル  
タメ戸主ノ更迭ヲ生ジ隨テ戸主相續ノ開始アルモノトス

(三) 財産相續ノ開始

財産相續ハ戸主又ハ家族ノ死亡ニ離縁ニ因リテ生ジ又戸主ガ其ノ地位ヲ去リ或ハ更迭  
スルニ因リテ生ズルモノトス即チ左ノ如シ

一 戸主ノ死亡

戸主死亡スルトキハ戸主ノ遺産ハ戸主相續ヲ爲ス者ニ於テ其ノ全部又ハ一部ヲ承  
繼シ同時ニ他ニ相續人アルトキハ其ノ一部ヲ承繼ス而シテ此ノ場合ニ在リテハ其  
ノ財産相續ハ祭祀相續及戸主相續ト同時ニ行ハルルヲ通例トスルモ祭祀相續ヲ爲  
ス者ナキトキ(男子ナク又養子ト爲ス)又ハ戸主ガ女ナルトキ(此ノ場合ニ於テハ相續ハ戸  
主相續ノミ同時ニ行ハルルモノトス而シテ朝鮮ニ在リテハ家族ガ財産ヲ有スルコ  
ト寧ロ稀ナルヲ以テ戸主ノ死亡ハ財産相續開始ノ原因中最モ普通ナルモノトス



二 戸主ノ出繼

分家ノ戸主ガ本家ニ養子トナリタル場合ニ於テ若其ノ分家ガ初代ニ非ザルトキハ其ノ家ヲ廢スルコトヲ得ズ次男以下ノ者ヲシテ其ノ家ヲ繼ガシメ又ハ養子ヲ爲シテ之ヲ繼ガシムルコトヲ要スルヲ以テ茲ニ祭祀相續及戸主相續ノ開始ヲ見ルト同時ニ又財産相續ノ開始ヲ見ルモノトス

三 戸主ノ離縁

戸主ノ離縁ハ常ニ戸主ノ地位ヲ去ラシムル結果ヲ生ズ而シテ戸主ガ離縁ニ因リ其ノ地位ヲ去ルトキハ其ノ財産ハ新ニ戸主トナル者ニ於テ之ヲ承繼スル慣習ニシテ此ノ場合ニ於テハ新ニ戸主トナル者ハ戸主ノ地位及前戸主ノ財産ヲ承繼スルト同時ニ祭祀相續ヲ爲スモノナリ然レドモ其ノ被相續人ハ戸主ノ地位及財産ニ付テハ前戸主即チ離縁シタル養子ナルモ祭祀相續ニ付テハ新ニ戸主トナル者ガ前戸主ニ代リ祭祀者タル地位ニ立ツモノナルヲ以テ被相續人ハ即チ最後ノ亡男戸主即チ養父ナリトス

四 戸主ノ更迭

戸主ガ死亡ニ因ラズシテ變更スルトキハ常ニ新戸主ニ於テ前戸主ノ財産ヲ承繼ス

ル慣習ナルヲ以テ此ノ場合ニモ亦財産相續ノ開始アルモノトス而シテ其ノ場合ハ女ガ戸主タル家ノ男子出生又ハ養子縁組、戸主タル次養子ノ男子出生、次養子ガ戸主タル家ノ養子縁組等ナリ

戸主ノ更迭ニ因ル財産相續ハ常ニ戸主相續ト同時ニ行ハルルコト勿論ナリト雖或ハ祭祀相續ト同時ニ行ハルルコトアリ(養子ヲ爲ス場合ノ如シ)或ハ否ラザルコトアリ(女戸主出嫁ノ場合ノ如シ此ノ場合ニハ祭祀相續ヲ爲ス者ナシ)

五 女戸主ノ出嫁

女戸主ガ出嫁シタルトキハ其ノ財産ハ新ニ戸主トナル者ニ於テ相續スル慣習ニシテ女戸主ノ出嫁ト同時ニ其ノ財産ニ付財産相續ノ開始アルモノトス

六 女戸主ノ去家

女戸主ガ婚家ヲ去リタル場合ニ於テハ其ノ家ニ於ケル戸主タル地位ヲ去ルコト勿論ニシテ其ノ財産ハ女戸主出嫁ノ場合ト同ジク新ニ戸主トナル者ニ於テ之ヲ相續スル慣習ナリ故ニ此ノ場合ニモ亦財産相續ノ開始ヲ見ルモノトス

七 家族ノ死亡

家族ガ死亡シ若遺産アルトキハ慣習上定マレル承繼者ニ於テ之ヲ承繼ス隨テ此ノ



場合ニモ亦財産相續ノ開始アリ而シテ家族ノ死亡ニ因ル財産相續ハ稀ニ祭祀相續ト同時ニ行ハルルコトアリト雖(死者ガ父祖ノ奉祀者ナルトキノ如シ)通例財産相續ノミ行ハルルモノトス

八 家族ノ離縁

父祖ノ奉祀者タル家族ガ養子ニシテ離縁シタル場合ニ於テ若父祖ヨリ相續シタル財産アルトキハ其ノ財産ハ新ニ其ノ父祖ノ奉祀者トナル者ニ於テ之ヲ相續スル慣習ナルヲ以テ此ノ場合ニモ亦財産相續ノ開始ヲ見ルモノトス

(備考)

奉祀者失踪ノ場合ニ事實上祭祀相續ノ開始ヲ見ルコトアリ即チ奉祀者ガ踪跡ヲ失ヒ長年月ヲ經テ生死不明ノ場合ニ其ノ者ヲ死者ト看做シ其ノ子ヲシテ祭祀相續ヲ爲サシムルコトアリト雖朝鮮ニ於テハ従前失踪ニ付テノ制度確立セズ又之ニ關スル一定ノ慣習ナク唯ダ事實ニ於テ失踪後長年月ヲ經タル者ヲ死者ト看做スコトアリ慣習上之ヲ認容セルニ過ギザリシヲ以テ此ノ場合ニ於ケル祭祀相續ノ開始ハ失踪ニ因ルニ非ズシテ死亡ニ因ル祭祀相續開始ノ一變例ト解スベキナリ然レドモ朝鮮民事令施行以後ニ在リテハ民法ノ規定ニ從ヒ失

踪ノ宣告ヲ爲スベキモノタルト同時ニ其ノ宣告アリタルトキハ所定ノ期間満了ノ時ニ死亡シタルモノト看做スコト勿論ナリ  
右ハ戸主相續及財産相續ニ付テモ同一ニシテ戸主又ハ財産相續ノ場合ニ於ケル被相續人ノ死亡ニ當然包含セララルモノトス

(參照一) 光武十年五月家契發給規則

(家契請求様式)

家契請求書

- 一 所在 坊契里 統 戸
- 一 瓦家 間草家 間空堡 間

計 間

- 一 賣買價值 舊文券 張板券 張立旨 張
- 右ニ賣買 新築 相續 當 賣 買 合 官契發給 望喜

光武 年 月 日

賣主 買主



備考 築等言時に家主斗保證人の連署を以相續言時に相續人斗保證人の連署を以開失毀損時を亦同

(右ハ韓國時代ニ相續ノ語ヲ法令ニ用ヒタル一例ナリ)

(參照二) 大典會通(禮典)

(奉祀) 若嫡長子無後則衆子衆子無後則妾子奉祀長子死無後更立他子奉祀凡無子立後者既已呈出立案雖或生子當爲第二子以立後者奉祀

(右ハ從前ノ法令ニ見エタル奉祀ノ語ノ用例ニシテ祀ヲ奉ズルコト即チ祭祀者トナル意味ニ使用セリ而シテ若嫡長子後無ケレバト云ヒ長子死シテ後無ケレバト云ヘルハ孰レモ長子ノ奉祀者タルコトヲ前提トセルモノニシテ特ニ嫡長子ト云ヘルハ妾ノ子ニ對シテ嫡子タル長子ヲ指セルナリ)

(參照三) 大典會通(禮典)

(奉祀) 文武官六品以上祭三代七品以下祭二代庶人則只祭考妣

(右ノ規定ハ單ニ祠堂ニ於テ神主ヲ祭ル代數ヲ示シタルモノニシテ直接ニ祖先祭祀ノ重要ナルコトヲ示シタルモノニ非ザルモ祠祭ノコトヲ特ニ法典ニ規定セル

點ヨリ見テ祖先ノ祭祀ヲ重要事トシタルコトヲ窺ヒ得ベシ)

(參照四) 大典會通(禮典)

(立後) 嫡妾俱無子者告官立同宗支子爲後

(右ハ妻妾共ニ子無キ者ニ養子ヲ許シタル規定ニシテ(一)ニ錄シタル立後者ヲ以テ祀ヲ奉ゼシムト云ヘル規定ニ照ラシ祭祀ノ斷絶ヲ防グ趣旨ナルコトヲ知り得ベシ)

(參照五) 癸卯式(朝鮮顯宗四年)漢城府帳籍

合掌里契(北部)

第四戸 私婢獨女禮成介年五十三上典幼學李德根父私奴朴龍母班婢己丑賤不准印

末屹山契(北部)

第五戸 故學生嚴衡考妻許氏年四十一籍陽川父展力副尉洙祖禦侮將軍行忠武衛副司果宏曾祖折衝將軍行龍驤衛副司直璫外祖贈正義大夫恩陽君彰善大夫恩陽君諒率奴起奉年二十八婢難春年三十六玉泰年三十四奴士男年三十二外方奴趙金榜叱乙屎婢連玉分香代一今令代逃亡奴大立大生丙子逃亡婢春合許弄介許弄



春、二月舊遠逃亡、顯賤不准印。

(參照六) 庚午式(朝鮮宣祖三年)慶尙道山陰縣帳籍

月音洞里(北面)

戶

故幼學金鐵堅妻閔氏、年伍拾陸、乙亥生、籍驪興、父通政大夫克誠、祖贈通政大夫晉州牧使希

載斗本 妾金召史、逃亡婢目丁代、年肆拾參、戊子生、父私奴秋男、同婢壹所生、婢弓音介、年

貳拾參、戊申生、父吳、奴行得、年陸拾陸、乙丑生、父奴孫、奴從難、年肆拾玖、壬午生、父同、婢

毛老介、年伍拾柒、甲戌生、父同、逃亡同婢壹所生、奴順伊、年參拾伍、丙申生、父記官、宋禮男、貳所

生、婢恩進、年參拾壹、庚子生、參所生、奴恩伊、年參拾、辛丑生、肆所生、婢恩每、年貳拾捌、癸

卯生、伍所生、奴順難、年貳拾陸、乙巳生、父同、等逃亡奴文生、年伍拾捌、癸酉生、父百姓白世、

逃亡同奴壹所生、婢里春、故奴允生、年伍拾貳、己卯生、被擄加現奴、士男、年貳拾參、戊申

生、父李斤慎、母婢末叱介

戶

故沙器匠許孫妻吳召史、年柒拾陸、乙巳生、本咸陽、父多勿沙里、祖仁孫、曾祖

(參照七) 大典會通(禮典)

(奉祀) 田民、依衆子例、分給立廟家舍、傳給於主祭子孫

(右ハ田地及奴婢ハ衆子即チ次男以下ノ者ト同一ノ割合ヲ以テ分チ與ヘ唯ダ廟ア

ル家屋ハ奉祀者トナリシ子孫ノミニ與フルコトヲ規定シタルモノニシテ被相續

人ノ遺産ニ付分割相續ノ主義ヲ採レルコトヲ推知シ得ベシ

(參照八) 大典續錄(戶典)

(田宅) 父母未分家舍財產、依奴婢田地分數分給

(右ハ父母ガ生前ニ子ニ分チ與ヘザリシ家屋其ノ他ノ財產ハ奴婢、田宅ノ例ニ依リ

分チ與フルコトヲ規定シタルモノニシテ分割相續ナルコトヲ最モ明ニ示セリ)

(參照九) 大典會通(刑典)

(私賤) 未分奴婢、勿論子女存沒分給者、不在此限、未滿分數者、均給嫡子女、若有餘數、先給

承重子、又有餘、則以長幼次序給之、嫡無子女、則良妾子女、無良妾子女、則賤妾子女、同、

田地

(右ハ父母ノ奴婢及田地ニ付子女ノ相續分ヲ示シタルモノニシテ大典會通中遺產

分割ニ關スル最モ主要ナル規定ナリ)

(參照十) 大典會通(禮典)

(立後) 以同宗之長子爲後者、及一邊父母俱沒者、並勿聽言、本曹回啓、許令立後、二邊或兩邊父



母俱死、而拘於常規、不得  
登聞者、本書論理草記

(右ハ同宗即チ同本同姓ノ長男ヲ養子ト爲シタル場合ノ規定ニシテ長男ハ常ニ其ノ家ノ奉祀者タリ又ハ奉祀者タルベキ地位ニ在ルモノナリ隨テ此ノ規定ニ依リ奉祀者タル者ガ他家ニ養子トナル場合アルコトヲ推知シ得ベシ)

(參照十一) 文獻備考(禮考、私婚禮)

成宗八年、命禁婦女再嫁、其再嫁人子孫、勿許授官赴舉、著爲令

(參照十二) 開國五百三年六月二十八日議案 寡女ノ再嫁ヲ自由ナラシムル件

一 寡女再嫁、無論貴賤、任其自由事

(參照十三) 大正五年七月官通牒第一一九號 女戶主ノ廢家ニ關スル件

女戶主ガ寡婦ナル場合ニハ一旦實家ニ入りタル後ニ非ザレバ再嫁ヲ爲スコトヲ得ズ

昭和八年十二月二十日印刷  
昭和八年十二月二十五日發行

### 朝鮮總督府中樞院

京城府蓬萊町三丁目六二・三番地

印刷所 朝鮮印刷株式會社



